取扱説明書

緊急地震速報 受信装置

型番：DN-SH700J

BLACK なまず

緊急地震速報のリーディングカンパニー

株式会社 Jコーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F

https://www.jcorp.co.jp fax 0742-53-7795

目次

1 ご利用になる前に

・ ご利用になる前の重要事項 3
・ 梱包内容の確認 6

2 各部の名称と機能

・ 各部の名称（前面） 7
・ 各部の名称（側面） 8
・ 各部の名称（背面） 9

3 機器の設置と接続

・ 設置する前に 10
・ 本機器の設置方法 10
・ 動作確認 11
・ 本機器の接続方法 12

4 ウェブブラウザ接続及び設定

・ 本機器の初期設定 13
・ ウェブブラウザログイン 17
・ 基本設定 18
・ ネットワーク設定 20
・ 告知サウンド設定 21
・ 入出力設定（DO , DI） 24
・ 津波設定 28
・ その他（時報・スリープ） 31
・ 地震受信履歴 32
・ 津波受信履歴 34
・ 端末管理 35

5 画面の表示

・ 画面の操作方法 37
・ 「基本画面」表示内容 38
・ 「地震予報」表示内容① 39
・ 「地震予報」表示内容② 40
・ 「津波予報・津波注意報・津波警報・大津波警報」表示内容 41
・ 「地震履歴」表示内容 42
・ 「設定情報」表示内容 43
・ その他の表示内容 45
・ メインメニュー表示 46
・ サブメニュー表示 48

6 本機器の操作

・「地震履歴」&「設定情報」の参照操作の画面遷移図 61
・「設定画面」のメインメニューの遷移図 62
・「報知テスト」の操作 63
・「報知震度」の設定 64
・「訓練報」の設定 65
・「通過地震」の設定 66
・「深発地震」の設定 67
・子機への送信設定（「RF」の設定） 68
・「地震警報」の設定 69
・「キャンセル報」の設定 70
・「電文の確からしさ」の設定 71
・固定 IP 設定（DHCP OFF） 72
・外部接続端子について 73
・定期点検 74

7 子機（オプション）

・BLACK なまず 子機　型番：DN-KOKI700 75

8 仕様

・仕様書 76

9 困ったときは

・トラブルシューティング 78

➢ 保証書

1 ご利用になる前に

本取扱説明書は本装置の取扱い上の注意、操作方法、製品仕様について説明しています。
本取扱説明書をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。
お読みになった後も、大切に保管してください。

本装置を安全にお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防ぐために守っていただきたい事項が、本取扱説明書の「警告」と「注意」に記載されています。
安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

本取扱説明書の内容の一部を性能や機能の向上などにより、予告なく変更することがあります。
本取扱説明書の内容を無断で転載、複製することを禁止します。
本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例、または規則に従ってください。
本装置に対するお問合せなどがございましたら、弊社までご連絡ください。

ご利用になる前の重要事項

緊急地震速報の特性や限界により、次のようなおそれがあります。これにより、本装置が発報しない、発報が間に合わない、または震度・到達猶予時間などの予測演算数値に誤差が生じることがございますので、予めご了承ください。

1. 緊急地震速報の発表から大きな揺れが到達するまでの時間は、長くても十数秒から数十秒と極めて短い時間です。
2. 震源に近いところでは地震到達までに緊急地震速報が間に合わないことがあります。(直下型)
3. ごく短い時間のデータだけを使った情報であることから、予測結果に誤差を伴う場合があります。
4. 震源の深さが 150km 以上深い場合（深発地震）は予測結果に大きな誤差を含む事があります。
5. 短い間隔で複数の地震が発生した場合、震源の特定が困難となり予測結果に大きな誤差を含んだり予測できない事があります。
6. 落雷、事故、機器の故障等により、誤報が発生する可能性があります。
7. 緊急地震速報は、サービス品質、及び正確性（地震発生時に必ず情報が伝達、及び発表されること、情報の伝達が地震の到達の前に必ず間に合うこと、誤報、誤差が生じないことを含む）について一切保証されません。

※気象庁が実施する訓練報に関しては、お客様自身が訓練の内容、及び配信日時等を確認の上対応してください。
※緊急地震速報について十分理解し、日頃から地震を想定した行動マニュアルの整備や、定期的な避難・防災訓練の実施に努めてください。
※緊急地震速報で使用される NHK 報知音(チャイム音)は、NHK に帰属しています。

◆警　告

誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、または重傷を負う可能性があります。

爆発性のガスがある場所で使用しないでください。
周囲に爆発性のガスがある場所で使用すると、爆発の原因になります。

煙が出る、異臭、または異音がする場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になりますので、弊社に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

水が入らないよう、また、濡らさないようご注意ください。
濡らしたまま使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になります。
水などが入った場合は、弊社に修理をご依頼ください。

濡れた手で電源コネクターやケーブルにさわらないでください。
濡れた手でさわると、感電の原因になります。

ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に本装置を設置しないでください。
落ちたり、倒れたりすると、感電・火災・故障・けがの原因になります。
本装置のカバーが破損した場合は、弊社に修理をご依頼ください。

規定の AC アダプターを使用してください。
規定の AC アダプター以外を使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

隙間などから金属や燃えやすい異物を入れないでください。
隙間などから異物を入れると、感電・火災・故障・けがの原因になります。
異物が入った場合、電源プラグをコンセントから抜き、弊社に修理をご依頼ください。

本装置のカバーやパネルを外さないでください。
内部には電圧の高い部分がありますので、さわると感電の原因になります。
点検、または修理を行う場合は、弊社にご依頼ください。

改造しないでください。
改造すると、感電・火災・故障・けがの原因になります。
改造した場合は、修理に応じられないことがあります。

電源コード、接続ケーブルの取扱いについては以下の事項を厳守してください。
電源コード及び接続ケーブルは、束ねない、加工しない、引っ張らない、加熱しない、濡らさない、ねじらないでください。

◆注　意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害が発生する可能性があります。

人命に関わるような外部機器の作動・制御には使用しないでください。

長時間ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントより抜いてください。

コネクターに規定外の端子を接続したり、電圧を加えたりしないでください。
コネクターに規定外の端子を接続したり、電圧を加えたりすると、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

本装置の上に物を置かないでください。
上に物を置くと、カバーが内部回路に接触し、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

故障したまま使用しないでください。
故障したまま使用すると、感電・火災・けがの原因になることがあります。
弊社に修理をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
湿気やほこりの多い場所に置くと、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

規定の動作範囲内でご使用ください。
動作範囲外で使用すると、故障の原因になることがあります。
使用できる温度範囲及び湿度範囲は製品仕様に明記してあります。

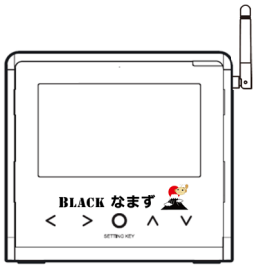
損傷したケーブルや AC アダプターを使用しないでください。
損傷した物を使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

本装置を輸送する場合は、ご購入時の包装材料か同等以上の包装材料をご使用ください。
輸送中に本装置にかかる振動や衝撃が大きいと、故障や火災の原因になることがあります。
業者に輸送を依頼するときは、包装箱のすべての面に「精密機械在中」などの表示をしてください。

室内でご使用ください。
本装置は防水仕様及び防滴仕様ではありません。
室内でご利用ください。
直射日光の当たる場所は避けてください。

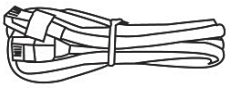
■ 梱包内容の確認

開封時に下記梱包品がすべて揃っているかを確認してください。



●本体×１台

●ＡＣアダプター×１個



●LAN ケーブル２ｍ×１本

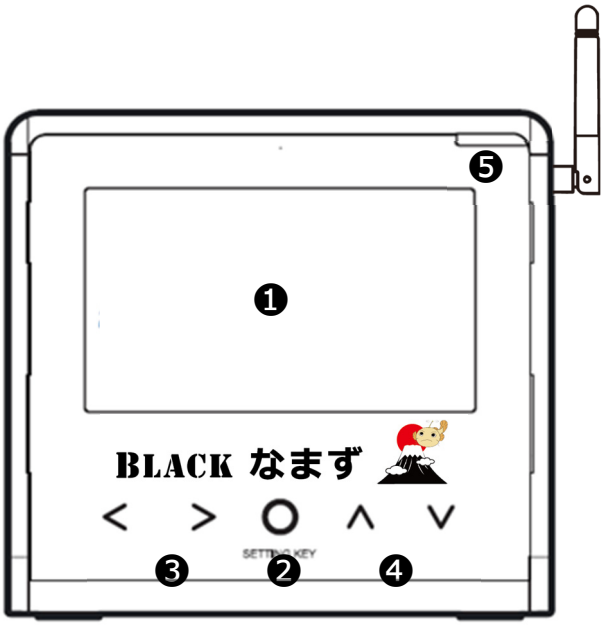
●手元スイッチ×１本

●延長コード×１本

AC アダプターと手元スイッチ、手元スイッチと延長コードを接続して利用します。

2 各部の名称と機能

各部の名称（前面）



❶ LCD ディスプレイ

各種の情報を表示します。
（時計、地震情報、設定情報、通信状態、動作状況など）

❷ ホーム・決定ボタン

約２秒長押しすることで設定画面に移動します。
選択した項目、及び選択した設定内容を確定する際の「決定」ボタンとして使用します。

❸ 左「<」／ 右「>」ボタン

設定メニューで「<」「>」を押すことで左右にスクロールし各項目を選択することができます。
通常の待ち受け画面では、左「<」ボタンで地震速報の発報履歴が表示され、右「>」ボタンで受信端末の設定内容が表示されます。

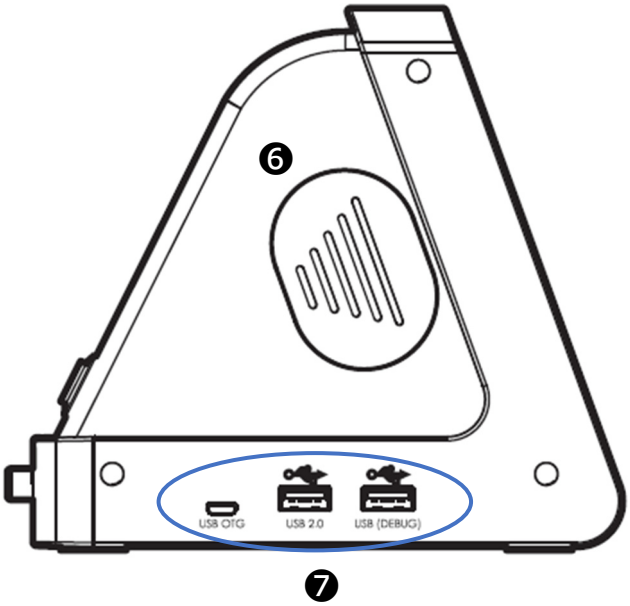
❹ 上「∧」／ 下「∨」ボタン

設定メニューで「∧」「∨」を押すことで上下にスクロールし各項目を選択することができます。

❺動作表示ランプ　赤（POWER）／ 緑（STATUS）

地震速報端末の動作状況を表示します。
正常待ち受け時は、赤（POWER）、緑（STATUS）とも点灯。端末起動時、またはネットワーク異常時など地震速報を受信できない状態の場合は、緑（STATUS）点滅となります。

■ 各部の名称（側面）



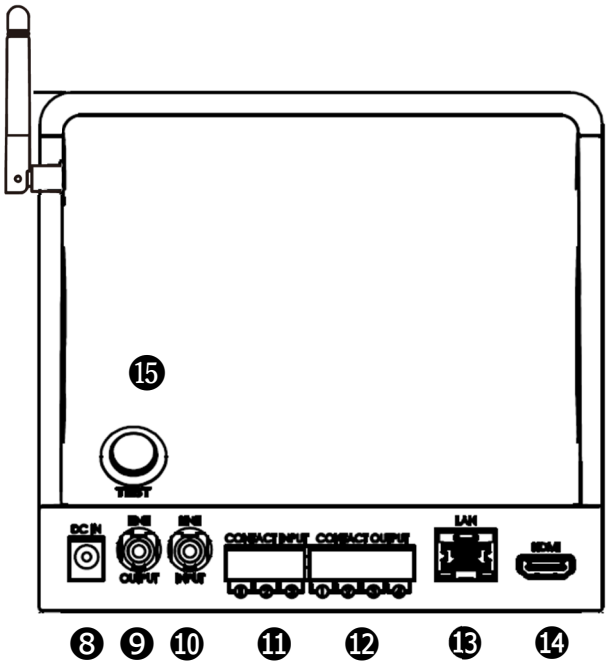
❻ 内蔵スピーカー

報知音を出します。（左右２つのスピーカーが内蔵されています。）

❼ 診断用コネクター

本機器を診断するための端子です。（お客様はご利用できません）
※診断用コネクターには何も挿入しないでください。故障の原因となるおそれがあります。

各部の名称（背面）



❽ DC コネクター

付属の AC アダプターを接続します。

❾ LINE OUT コネクター

内蔵スピーカーと同様の音声、及び外部入力音声を出力します。（放送設備などへ）

❿ LINE IN コネクター（音声スルー機能）

有線放送などの外部機器から音声入力ができます。通常待ち受け状態のときは入力された音声は LINE OUT から出力されます。

⓫ 外部接点入力端子（CONTACT INPUT）

スイッチなどの外部機器から機器端末を制御する際に接続する端子です。

⓬ 外部接点出力端子（CONTACT OUTPUT）

外部連動制御する機器を接続する端子です。

⓭ LAN コネクター

LAN ケーブルを接続します。

⓮ HDMI 端子

端末の表示画面をＴＶなどの外部モニターに表示させる際に接続する端子です。

⓯ テスト＆クリアボタン

約２秒長押しで、訓練報のメッセージを流します。（震度７　震度５強　を繰り返し）
津波情報、訓練報のメッセージ送出中に約２秒長押しで、メッセージの送出を中止します。

3 機器の設置と接続

設置する前に

本機器はお客様が購入された機器の ID と住所などの情報がサーバーに登録されないと正常に動作（地震予報を報知）しませんので、必ず端末登録を行ってください。

◆端末登録方法

端末登録方法（登録用紙など）に関しては、弊社までお問い合わせください。

※ 登録の際必要となる通信費用につきましてはお客様のご負担となります。

※ バーコードを貼付した保証書と登録用紙は大切に保管してください。

※ サーバーへの端末登録が完了しますと、情報受信ができるようになります。登録完了の通知はいたしかねます。

本機器の設置方法

端末登録の手続きが完了しましたら、本機器を起動してください。

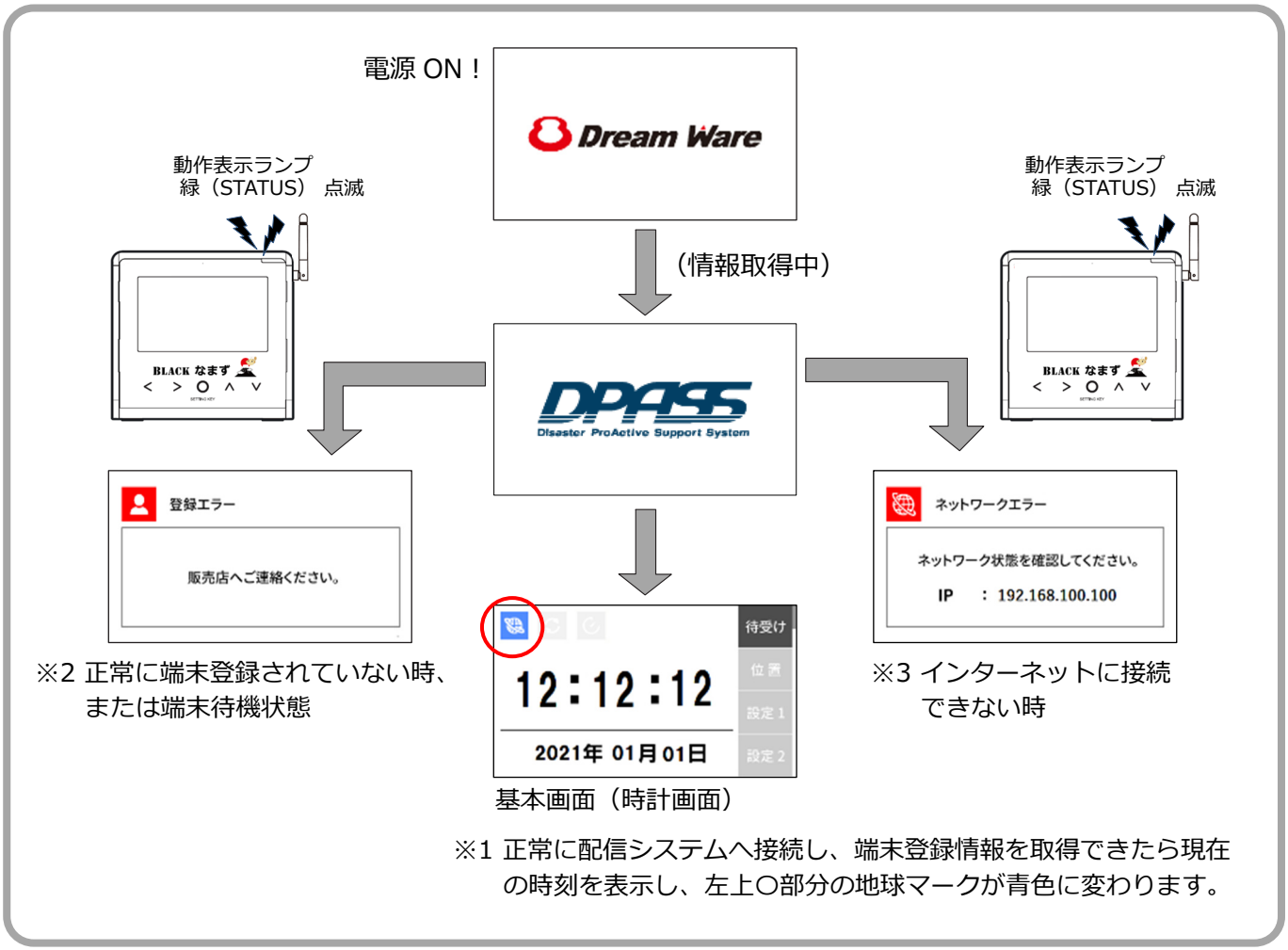
◆接続・起動

1.お客様が用意されたルーターまたはハブと本体を、LAN ケーブルで接続してください。
※電源を入れる前に、必ず LAN ケーブルを接続してください。

2.付属の AC アダプターを接続してください。
電源投入後の画面は、動作確認（P.11）を参照してください。

■ 動作確認

電源投入後、次のような画面の流れを確認してください。
基本画面（時計画面）が表示されない場合は、弊社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。

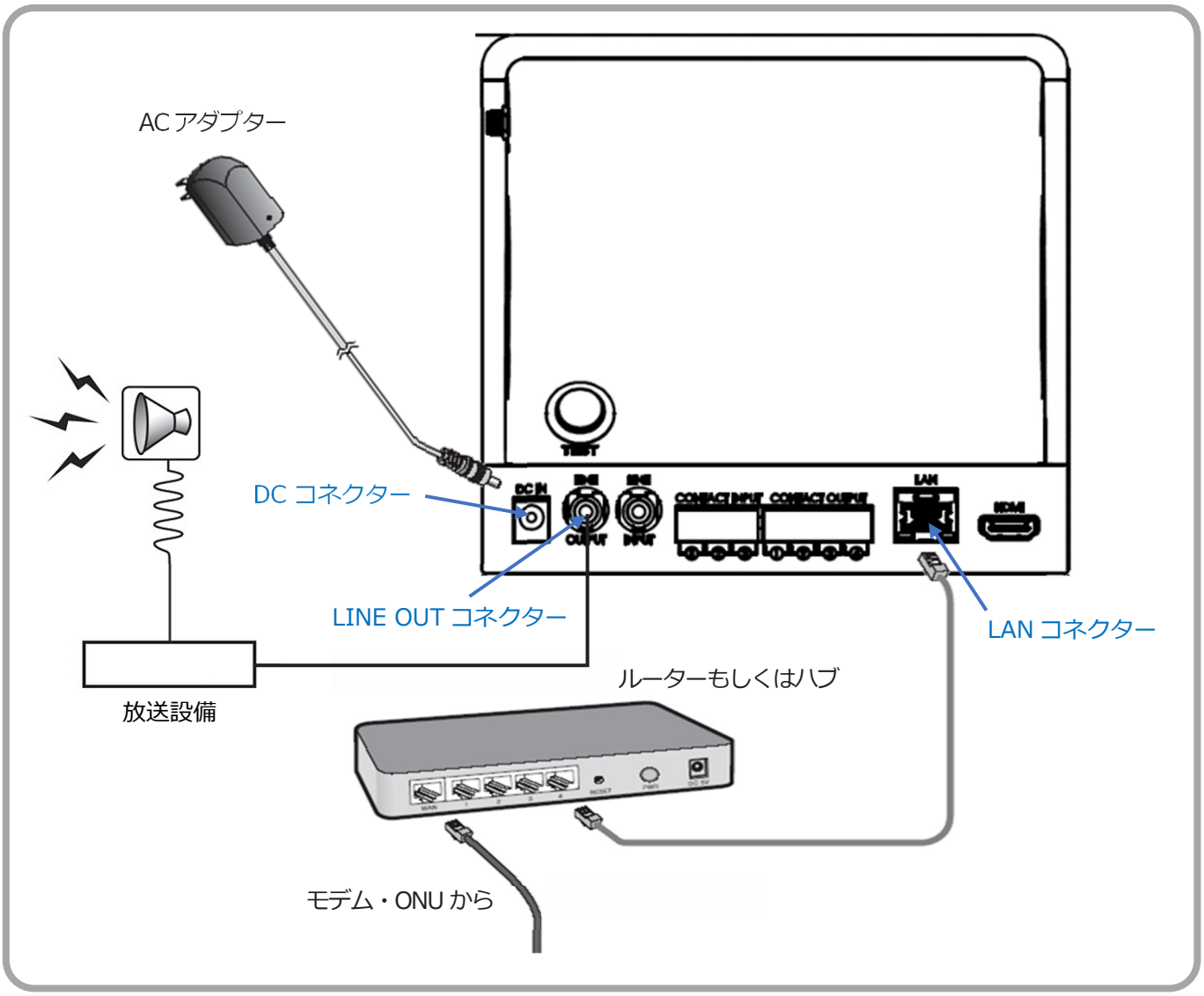


電源が入ると動作表示ランプ 緑（STATUS）が点滅し、約 30 秒で現在時刻が表示され、（※１）左上部の〇部分の地球マークが青色になると動作表示ランプも点灯状態になります。ここまで正常に立ち上がると機器は問題なく動作していますので、本書の説明に従ってお客様の好みの設定に合わせてお使いください。

※2…お客様の端末登録手続きが正常に完了していない可能性があります。また、長時間の切断により、端末待機状態の場合も同様の画面表示となります。弊社までお問い合わせください。

※3…お客様のネットワーク環境のチェックが必要となります。ルーターや LAN ケーブル等のネットワーク機器の接続状態、及び設定内容をご確認（P.76 仕様書「入力：ネットワーク」参照）ください。

■ 本機器の接続方法



※外部入力・出力を利用し別の機器と連携（音声スルー）する際は、弊社までお問い合わせください。

お客様が直接取り付けされた場合は、それに伴う機器の破損、故障などについて、弊社及び販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

4 ウェブブラウザ接続及び設定

本機器の初期設定

◆ DHCP 環境で利用する場合

DHCP 環境の場合、IP アドレスにつきましては何も設定する必要はありません。
出荷時、IP 設定は自動取得（DHCP）に設定されていますので、LAN ケーブルを接続し、AC アダプターを接続すると本機器は自動的に IP を取得します。IP の自動取得完了後には基本画面（時計画面）が表示されます。（P.38 待ち受け画面参照）基本画面が表示されると、本機器の設定が可能になります。

ウェブブラウザからの設定方法 → P.17 参照
本体からの設定方法 → P.52 参照（一部設定不可の項目があります）

◆ 固定 IP で利用する場合（DHCP を利用しない場合）

ネットワーク環境が固定 IP の場合、パソコンから本機器のウェブブラウザにログインして、ネットワーク設定をする必要があります。
本機器には IP アドレス「192.168.100.100」が適用されていますので、次の手順で固定 IP を設定してください。

【手順】

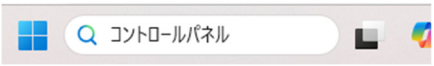
1. 本機器とパソコンの IP を合わせる （P.14 参照）
2. 本機器のウェブブラウザへアクセスする
   ①LAN 環境の場合（P.15 参照）
   ②クロス LAN ケーブル利用の場合（P.16 参照）
3. 固定 IP を設定する（P.20 参照）

1. 本機器のウェブブラウザから固定 IP を設定するためには、先にパソコンの IP 変更が必要です。
※パソコンに設定する IP は 192.168.100.xxx になります。（xxx は任意）

【パソコンの IP 設定方法】

・Windows10 の場合 ：
「スタート」⇒「⚙設定」を開く⇒ ①へ進む

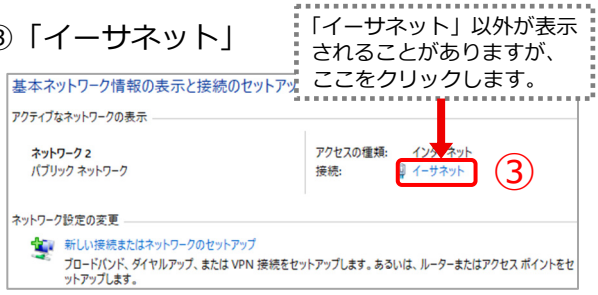
・Windows11 の場合 ：
「コントロールパネル」を開く⇒ ①へ進む
└ タスクバーの検索ボックスで検索



① 「ネットワークとインターネット」

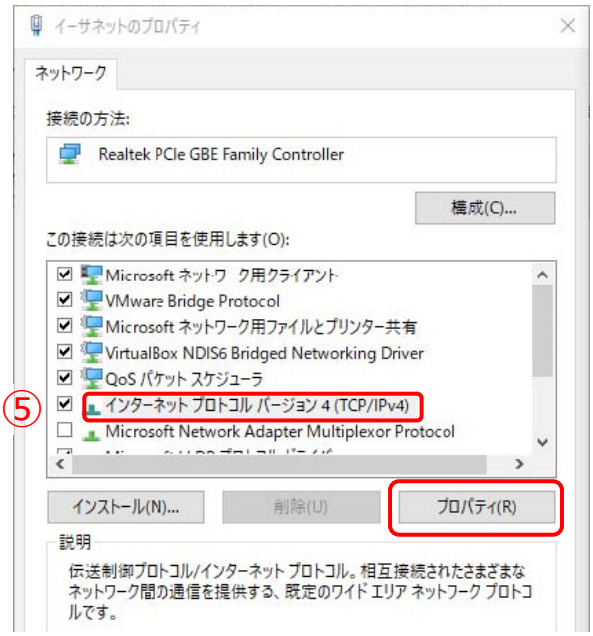
② 「ネットワークと共有センター」

③ 「イーサネット」



④ 「プロパティ」

⑤ 「インターネットプロトコルバージョン TCPIP v 4」の「プロパティ」



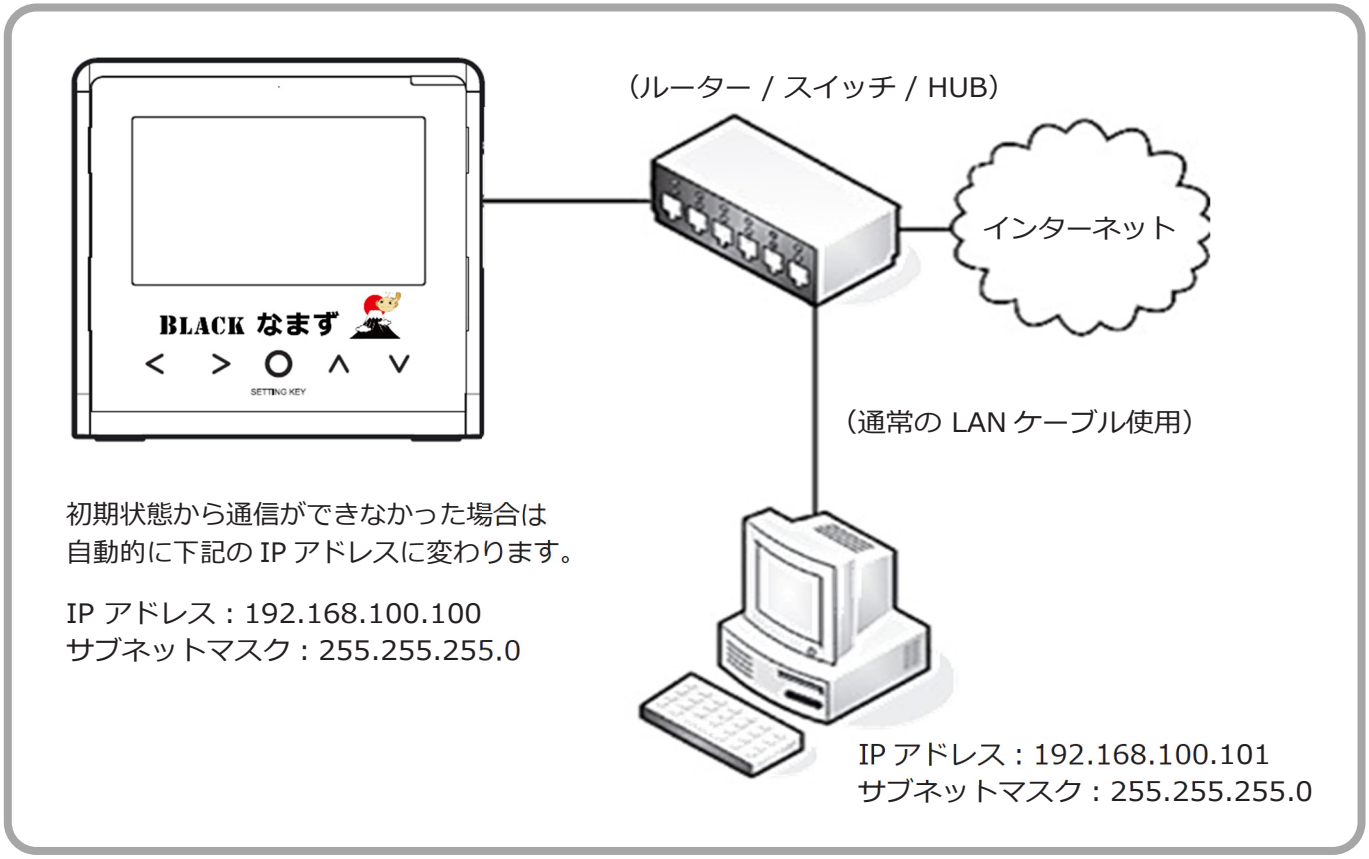
⑥ 「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスを入力

⑦ 「次の DNS サーバーのアドレスを使う」を選択し、★のアドレス欄を空白にする。

⑧ 「OK」をクリックするとパソコンと本機器の IP が同じになり、ウェブブラウザにアクセスが可能になります。

2.　本機器のウェブブラウザへのアクセス方法

① 固定 IP 変更設定方法 1 （LAN 環境での本機器固定 IP 設定）

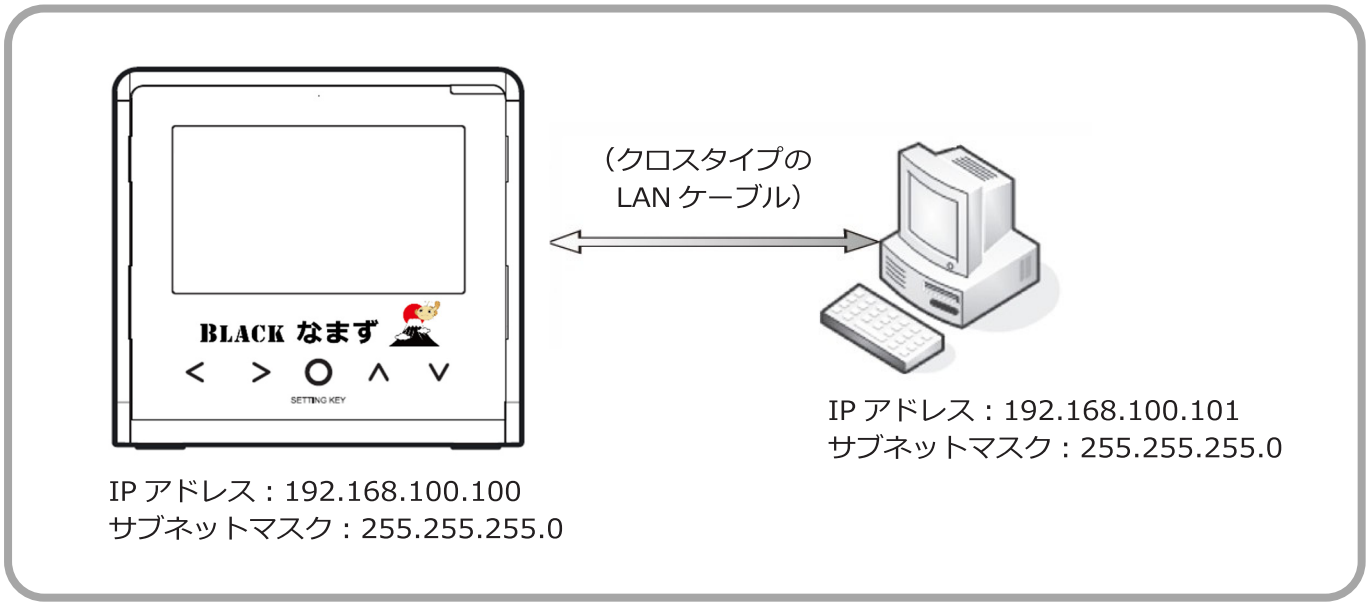


本機器とパソコンを同じネットワーク機器（ルーター / スイッチ / HUB 等）に差込、上の図のようにしてください。
上記のように準備が完了した後は、本機器のウェブブラウザにアクセスすることができます。

パソコンのウェブブラウザを立ち上げ、アドレスバーのところに IP アドレス「**192.168.100.100**」を入力して Enter キーを押すとログイン画面に移動します。（P.17 参照）

設定ページにログインし、お客様のネットワーク環境に合わせて IP 設定を変更してください。
（P.20 固定 IP 設定参照）

② 固定 IP 変更設定方法 2（クロス LAN ケーブル）



クロスタイプの LAN ケーブルを利用しての設定が可能です。（クロスタイプの LAN ケーブルは別途ご用意ください。）

パソコンの IP 設定変更（P.14 参照）の上、機器とパソコンをクロスタイプの LAN ケーブルで接続し、パソコンのウェブブラウザを立ち上げ、アドレスバーに IP アドレス「**192.168.100.100**」を入力して Enter キーを押すとログイン画面に移動します。（P.17 参照）

設定ページにログインし、お客様のネットワーク環境に合わせて IP 設定を変更してください。
（P.20 固定 IP 設定参照）

■ ウェブブラウザログイン

※初めてログインする場合は、P.13～P.16 を参照してください。

◆ウェブブラウザ ログイン方法

① パソコンのウェブブラウザを立ち上げ、アドレスバーに機器に設定されている IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。　例）192.168.xxx.xxx

●機器に設定されている IP アドレスの確認方法
基本画面（時計画面）で「＞」を押し、次に「∧」を押して機器のネットワーク情報を表示
→ 上から 2 行目の IP アドレス（P.44 参照）
※スリープ画面の場合は、画面に表示されている IP アドレス（P.45 参照）

② ログイン画面が表示されたらログインパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。
工場出荷時のログインパスワード「admin」（変更可能）

※機器のネットワークアドレス、またはウェブブラウザログインパスワードの変更の際には、必ず取扱説明書、または保証書などにメモをしてください。
万が一パスワードを忘れた場合は、端末を初期化する必要があります。初期化すると、**端末の設定内容が工場出荷時の状態に戻り、履歴が全件消去**されてしまいます。

■ 基本設定

報知震度、及び各種緊急地震速報の受信条件設定ができます。また端末識別 ID 情報、位置情報の確認ができます。

① 端末 ID

端末識別 ID（QAK から始まる 10 桁の英数字）です。

② バージョン

端末のバージョン情報を表示します。

③ 位置情報

端末の設置場所情報（緯度・経度・増幅度）が確認できます。

④ 設定震度

報知震度の設定ができます。

設定震度以上の地震のみ報知動作を行います。（詳細は P.48 参照）

⑤ 受信設定

地震警報・訓練報・キャンセル報・通過地震・深発地震

「受信する / 受信しない」設定を行います。（詳細は P.49～51 参照）

⑥ RF 出力設定

子機（DN-KOKI700）へ「出力する / 出力しない」設定を行います。（詳細は P.50 参照）

⑦ 確からしさ

気象庁から配信される電文のうち、いくつの観測点から確認された電文で報知動作させるかを選択します。

「全電文を報知 /2 点以上の観測点の電文を報知」のどちらかを設定を行います。

- 全電文：気象庁から配信された電文を全て演算し、報知動作を行います。
  ※一番初めに気象庁から配信された電文（観測点 1 点目）から演算し、報知動作を行います。
- 2 点以上の観測点の電文
  ：気象庁から配信された電文の中から 2 点以上の観測点情報が確認された電文を演算し、報知動作を行います。

⑧ 音量：画面の明るさ設定

基本音量　　：端末本体の音量を 0 ～100 の値で設定できます。

LINE OUT 音量：放送設備などへの外部機器への出力音量を 0 ～100 の値で設定できます。

画面の明るさ　：端末本体の表示画面の明るさを 0 ～100 の値で設定できます。

待ち受け画面の明るさ：無操作で一定時間経過後に、画面の明るさを自動的に変更することができ、 0 ～100 の値で設定できます。

待ち受け画面の変更時間：無操作時に自動的に待ち受け画面状態となる時間を、10 秒～100 秒の値で設定できます。

⑨ HDMI 設定

TV モニターなどに発報時の端末の映像・音声の出力を設定します。

HDMI 出力　：「出力しない」「地震・津波」「地震」「津波」から選択できます。

HDMI の音量：出力音量を 0 ～100 の値で設定できます。

⑩ テロップ

地震速報・津波情報発報時（訓練発報含む）に、本体表示画面に 4 ヶ国語の文字でテロップ表示ができます。

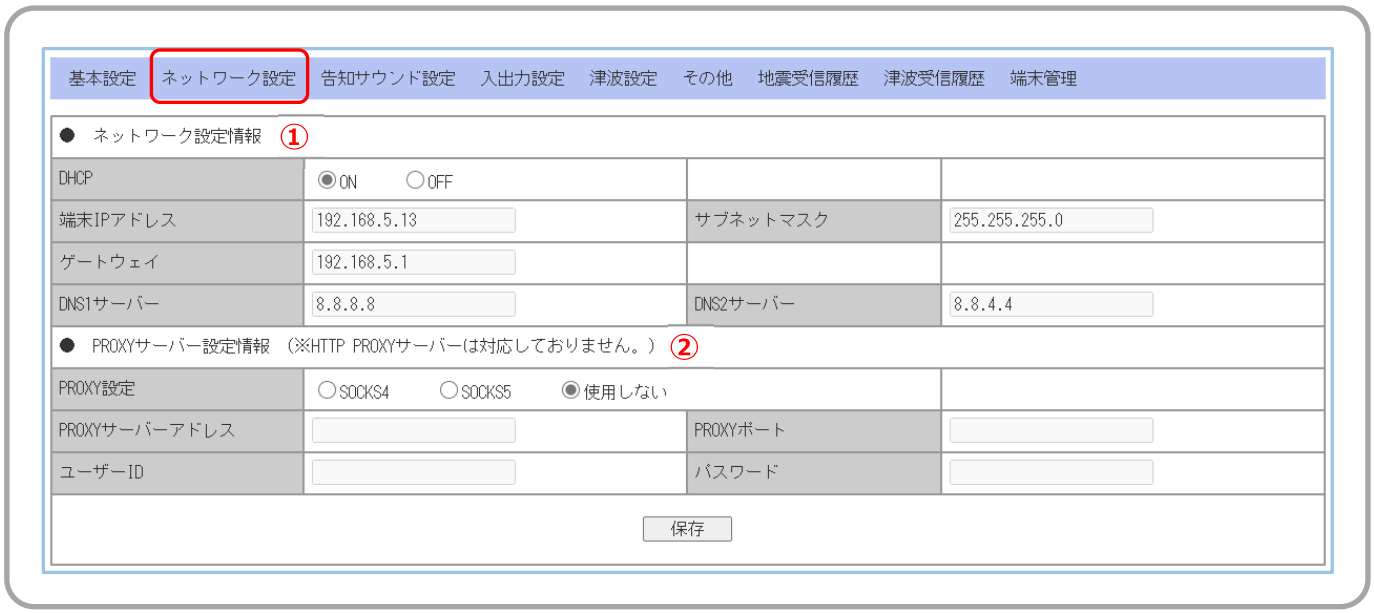
⑪ 告知アナウンス言語設定

「日本語」「英語」「中国語」「韓国語」「フランス語」「スペイン語」の 6 ヶ国語から音声案内を選択できます。

※ 地震報知中には設定変更 / 保存されても反映されません。

■ ネットワーク設定

ウェブブラウザにログインし、ネットワーク情報、及び PROXY 設定を行うことができます。



① ネットワーク設定情報

- DHCP ON

  ：DHCP ON に設定した場合、ネットワーク環境のルーターから IP アドレスを自動取得します。

- DHCP OFF（固定 IP アドレス）

  ：DHCP OFF に設定した場合、固定 IP アドレス情報を入力してください。

② PROXY サーバー設定情報　※HTTP プロキシの対応はできません。

ご利用中の PROXY サーバー接続方法を選択してください。

- SOCKS4

  ：PROXY サーバーのアクセス情報 (認証無し) を入力してください。

- SOCKS5

  ：PROXY サーバーのアクセス情報、及び認証情報 (ID / PASS) を入力してください。

- 使用しない

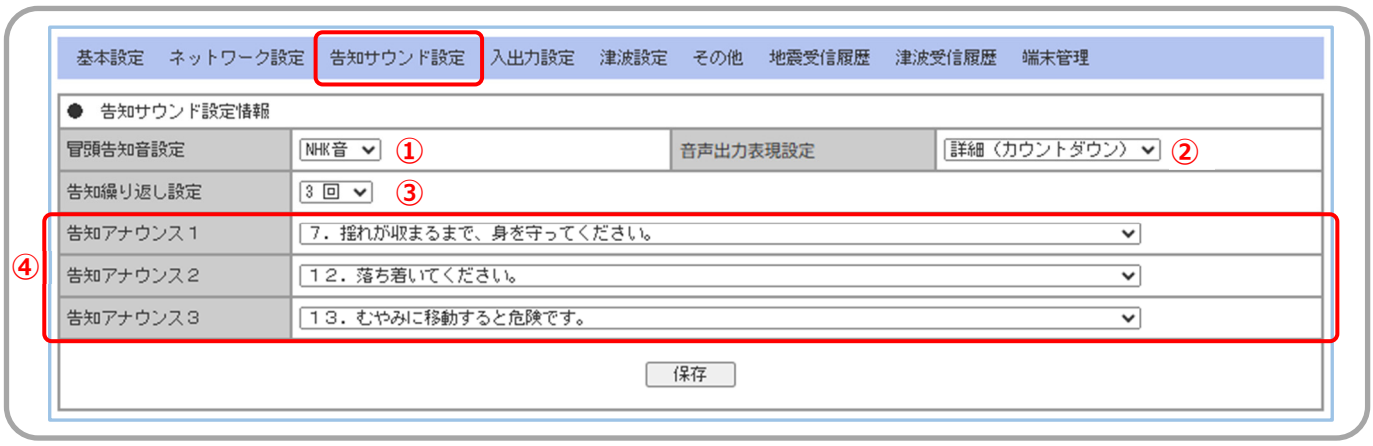
  ：PROXY サーバーを使用していないネットワーク環境では「使用しない」を選択してください。

※ 地震報知中には設定変更 / 保存されても反映されません。

※ 設定した情報を適用するには端末の再起動が必要になります。
再起動には 30 分以上かかる場合があり、その間は緊急地震速報を受信することができませんのでご注意ください。

■ 告知サウンド設定

告知サウンドの詳細設定ができます。



①冒頭告知音設定　：無音・NHK・REIC から選択ができます。
NHK チャイムは震度 5 弱以上の地震を予測した時のみ報知されるため、震度 1～4 まではオリジナル報知音が鳴ります。（P.22 参照）

②音声出力表現設定　：詳細（猶予時間 + カウントダウン）・曖昧 1 （10 秒以下でカウントダウン）・曖昧 2 から選択ができます。（P.22 参照）

③告知繰り返し設定　：告知アナウンスの繰り返し回数の選択ができます。（1～10 回）

④告知アナウンス 1.2.3 ：43 種類の告知アナウンスから選択ができます。（P.23 参照）
設置場所の状況に合わせてアナウンスを選択してください。

※告知アナウンス 1 は「7 .揺れが収まるまで身を守ってください。」、2 は「12.落ち着いてください。」3 は「13.むやみに移動すると危険です。」に初期設定されています。

※選択表現別音声内容（P.22）と告知アナウンスの音声リスト（P.23）を参照し、お客様に一番適した音声出力設定行ってください。

例 1 ）緊急地震速報震度 4 の猶予時間 15 秒
NHK / 詳細 / 告知 4 回 / アナウンス 1「7」、2「12」、3「13」
「オリジナル報知音 3 回　地震震度 4　12 秒後 10.9.8.7.6.5.4.3.2.1
揺れが収まるまで身を守ってください。落ち着いてください。むやみに移動すると危険です。
揺れが収まるまで身を守ってください。落ち着いてください。むやみに移動すると危険です。
揺れが収まるまで身を守ってください。落ち着いてください。むやみに移動すると危険です。」

例 2 ）緊急地震速報震度 5 弱の猶予時間 2 5 秒
NHK / 曖昧 1 / 告知 2 回 / アナウンス 1「1」、2「無音」、3「無音」
「NHK チャイム 2 回　地震「物が倒れるぐらいの揺れが」「まもなく来ます。」「ピ・ピ」
地震「物が倒れるぐらいの揺れが」「すぐに来ます。」「ピ・ピ」
地震「物が倒れるぐらいの揺れが」「すぐに来ます。」10.9.8.7.6.5.4.3.2.1
安全が確認できるまで外には出ないでください。
安全が確認できるまで外には出ないでください。」

●選択表現別音声内容（※記号については、下記【略称表示説明】参照）

冒頭音	音声出力表現	開始音声及び繰り返し音声	最終音声
無音	詳細	「地震 _ 震度● _ △秒後」 「地震警報 _ 震度● _ 秒後」※	カウントダウン
	曖昧 1	「地震 _ ◆ _ ◎」+「★オリジナル報知音」	カウントダウン
	曖昧 2	「地震 _ ◎」+「★オリジナル報知音」	「★オリジナル報知音」
REIC	詳細	「地震 _ 震度● _ △秒後」 「地震警報 _ 震度● _ 秒後」※	カウントダウン
	曖昧 1	「地震 _ ◆ _ ◎」+「★オリジナル報知音」	カウントダウン
	曖昧 2	「地震 _ ◎」+「★オリジナル報知音」	「★オリジナル報知音」
NHK	詳細	「地震 _ 震度● _ △秒後」 「地震警報 _ 震度● _ 秒後」※	カウントダウン
	曖昧 1	「地震 _ ◆ _ ◎」+「★オリジナル報知音」	カウントダウン
	曖昧 2	「地震 _ ◎」+「★オリジナル報知音」	「★オリジナル報知音」

※地震警報を受信した場合は、通常の「地震」の代わりに「地震警報」の音声が挿入されます。

●：気象庁震度階級の「震度 1 ～ 7」	△：猶予時間 (※最大読み上げ音声 50 秒)
◆：震度階級あいまい表現 ・震度１～３の場合「小さな揺れが」 ・震度４～５強の場合「物が倒れるぐらいの揺れが」 ・震度６弱～７の場合「命にかかわるほどの揺れが」	◎：猶予時間あいまい表現 ・０～１９秒の場合「すぐに来ます」 ・２０～２９秒の場合「まもなく来ます」 ・３０秒以上の場合「もうまもなく来ます」
★：「オリジナル報知音」 ・震度１～３の場合「ビ」 ・震度４～５強の場合「ビ・ビ」 ・震度６弱～７の場合「ビ・ビ・ビ」	REIC：REIC 報知音 ・震度 / 時間にかかわらず同一 NHK：NHK 報知音 ・震度１～４　オリジナル音 ・震度 5 弱～7　NHK チャイム音

※気象庁から訓練報を受信した場合や、ウェブブラウザ及びテスト＆クリアボタンから訓練を実施した場合は、冒頭に「地震」の代わりに「訓練です」を挿入します。

※冒頭音の途中で地震が来てしまった場合（猶予時間が短い 4 秒、3 秒、2 秒、1 秒）でも最後まで震度情報を報知し終了します。（猶予時間：地震が発生してから、揺れが設置場所まで到達する時間）

例）緊急地震速報 震度 5 弱の猶予時間 2 秒（NHK2 回設定）⇒チャイムの途中地震到達（揺れている）

詳細　：　NHK チャイム 2 回、「地震震度 5 弱」

曖昧１　：　NHK チャイム 2 回、「物が倒れるぐらいの揺れがすぐに来ます」

曖昧２　：　NHK チャイム 2 回、「地震すぐに来ます」

●告知アナウンスの音声リスト

０．無音
１．安全が確認されるまで外には出ないでください。
２．安全な姿勢で身構えてください。
３．安全に備えてください。
４．安全確認のため皆様に、一旦この場所から外へご退場いただきます。
５．身の安全を確保してください。
６．揺れが収まるまで安全な場所にいてください。
７．揺れが収まるまで身を守ってください。
８．揺れが収まってから火の始末をしてください。
９．揺れがくるまで僅かな時間しかありません。
１０．強い揺れに警戒してください。
１１．強い揺れに備えてください。
１２．落ち着いてください。
１３．むやみに移動すると危険です。
１４．お座りになってお待ちください。
１５．机の下に隠れて身を守ってください。
１６．テーブルや机の下に隠れてください。
１７．窓やドアを開け避難経路を確保してください。
１８．避難経路を確保してください。
１９．指定の避難場所に避難してください。
２０．火の元の確認をしてください。
２１．倒れやすいものに近づかないでください。
２２．周りを確認してください。
２３．ガスの元栓を閉めてください。
２４．倒れやすい家具などから離れてください。
２５．落下物に注意してください。
２６．上から落ちてくるもの倒れてくるものから身を守ってください。
２７．大変危険です。
２８．海岸沿いから離れてください。
２９．震源が海底・海岸沿いの場合、津波が発生する可能性があります。
３０．皆様の安全に問題はありません。
３１．皆様のご理解、ご協力に感謝いたします。
３２．本日、催しを中止せざるを得ない事態となり、誠に申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。
３３．指示が出るまでそのまま待機してください。
３４．係員の誘導に従ってゆっくりとご退場をお願いいたします。
３５．前の人を押したりしないでください。
３６．地盤が緩んでいる場所では、土砂災害に注意してください。
３７．地滑り、土砂災害に注意してください。
３８．がけ崩れに注意してください。
３９．テレビやラジオの電源をいれ、災害情報を確認してください。
４０．テレビ・ラジオから最新の情報を入手してください。
４１．気象庁のホームページから最新の情報を入手してください。
４２．走らないでください。
４３．余震に十分注意してください。

■ 入出力設定（DO , DI）

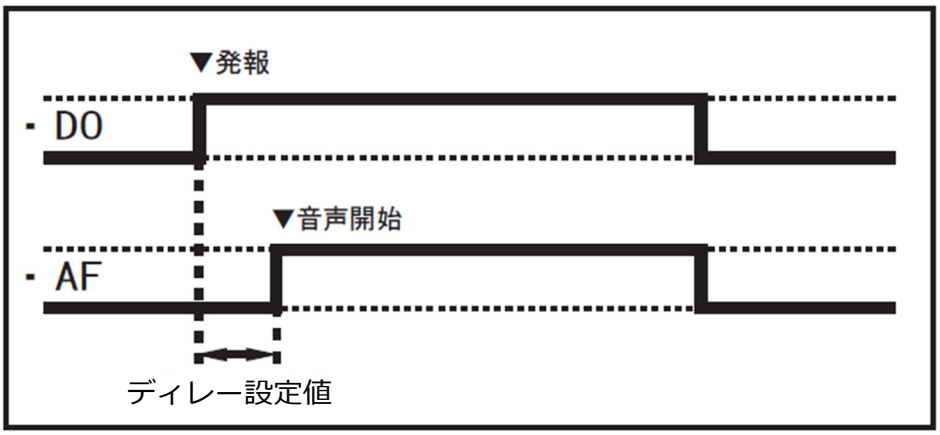
1． 出力設定（DO）

外部出力の設定ができます。

① AF 出力ディレー

DO の出力タイミングに対して音声出力開始のタイミングを遅らせたい場合に設定します。
「1～10 秒」「ディレー無し」の選択ができます。

例）2 秒選択の場合、地震を受信した 2 秒後から音声出力が開始されます。



② DO 設定情報

地震 / 津波 / DI から選択し、接点を出力します。 3 つ選択も可能です。

※ DO 出力条件を複数選択した場合、緊急地震速報に関する出力が最優先されます。地震関連発報中に津波を受信した際には緊急地震速報の報知終了後、津波情報が報知されます。

※ DI を選択した場合は、⑥で「AF 連動」及び「発報後、出力」を選択することはできません。

③ 震度レベル

設定震度レベル以上の地震のみ、接点を出力します。

例）本体動作の設定震度が 3 、DO1 の設定震度が 5 弱の場合

震度 3 以上の地震を受信し、その地震が震度 5 弱以上の場合のみ DO1 から接点を出力します。

④ 津波出力

津波情報の接点出力について設定します。

「出力無し」「出力する」「津波解除・取消のみ出力」の選択ができます。

※一つの DO から地震と津波を同時に出力させたい場合は、②の DO 設定情報を地震出力と津波出力の両方を選択してください。そのあと津波出力を「出力する」に設定してください。

※DO で津波出力を設定しても、本体津波設定の発報を ON にしていないと出力しません。

（P.28 参照）

⑤ ディレー設定

接点出力開始のタイミングを遅らせることができます。

「100～900 ミリ秒、1～10 秒」「ディレー無し」の選択ができます。

⑥ 出力時間

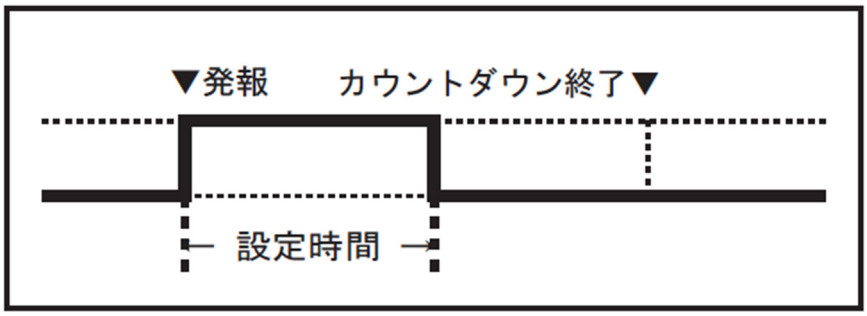
「発報時、出力」、または「発報後、出力（カウントダウン終了後）」のどちらの時点から DO を動作させるかを選択し、DO 出力時間を設定します。

「200～900 ミリ秒、1～300 秒」、「連続」、「AF 連動」の選択ができます。

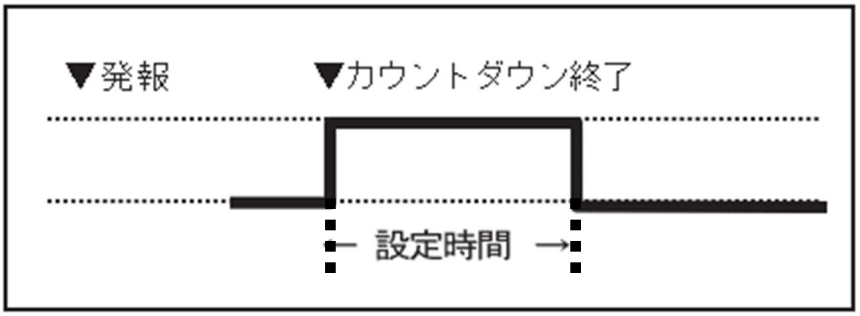
※「発報後、出力」を選択した場合は、「AF 連動」の設定はできません。

ア）「200～900 ミリ秒、1～300 秒」を選択すると、設定した時間のみ出力します。

●発報時、出力



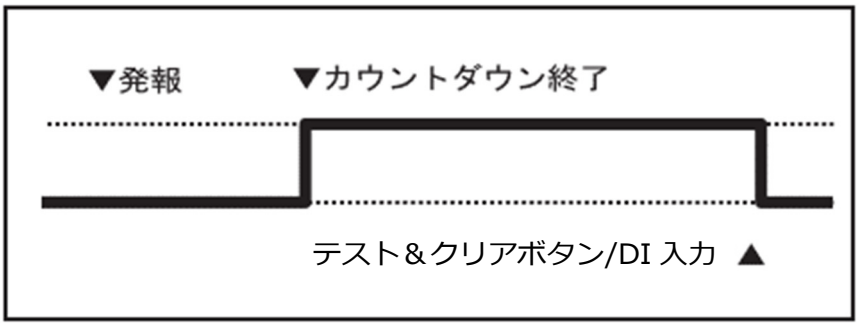
●発報後、出力



イ）「連続」を選択すると、キャンセル報受信、もしくは DI での入力、テスト＆クリアボタンを長押しするまで、出力 ON の状態を維持します。

●発報時、出力

●発報後、出力



ウ）「AF 連動」を選択すると、発報と同時に出力動作を開始します。
音声出力（カウントダウン終了後、告知アナウンスを設定している場合は告知音声終了時）が終了すると接点出力も同時に終了します。

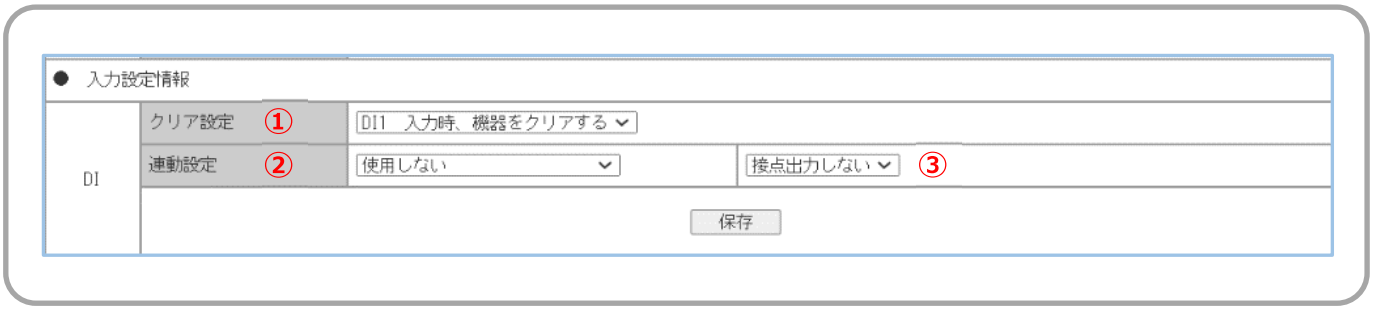
●発報時、出力

⑦ 出力タイプ
DO1～DO3 はＡ接点（Normal Open）、DO4 はＢ接点（Normal Close）で固定となります。
設定による変更はできません。

※ 地震報知中には設定変更 / 保存されても反映されません。

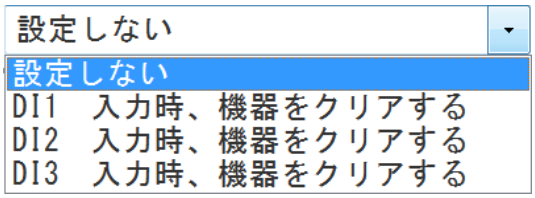
2．入力設定（DI）

入力の設定を行います。



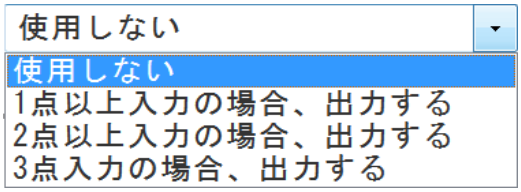
① クリア設定

外部接点入力端子（DI1、DI2、DI3）から入力された信号を利用し、出力中の接点をクリアさせます。



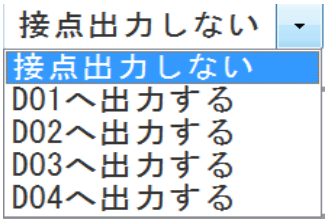
② DI 連動設定

外部接点入力端子（DI1、DI2、DI3）からトリガー設定（1 点、2 点、3 点）以上の接点入力があった場合、指定した接点出力ポート（DO1,2,3,4 ）から接点を出すことができます。



③ 連動動作

上記② DI 連動設定により、接点出力ポート（DO）を選択することができます。



※外部に接続している地震計（P 波計）または他の連動機器からの入力を活用することができます。
※地震報知中には設定変更 / 保存されても反映されません。

津波設定

1．津波設定

津波情報受信、及び受信地域の設定を行います。
津波情報が発報されると、気象庁から津波解除、あるいは取消が発表されるまで、長時間にわたり報知を続ける場合があります。途中で報知を止めたい場合は、本機器背面のテスト＆クリアボタンを 2 秒長押しすると止まります。

① 津波警報・注意報受信設定
津波警報・注意報の種類の選択ができます。

津波注意報	：	予想される津波の高さが高いところで 0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害の恐れがある場合
津波警報	：	予想される津波の高さが高いところで 1m超え、3m以下の場合
大津波警報	：	予想される津波の高さが高いところで 3m超える場合

- 受信しない ： 津波情報に対して端末は報知動作しません。
- 津波注意報以上発報 ： 津波注意報・津波警報・大津波警報に対して報知します。
- 津波警報以上発報 ： 津波警報・大津波警報に対して報知します。
- 大津波警報のみ発報 ： 大津波警報に対してのみ報知します。

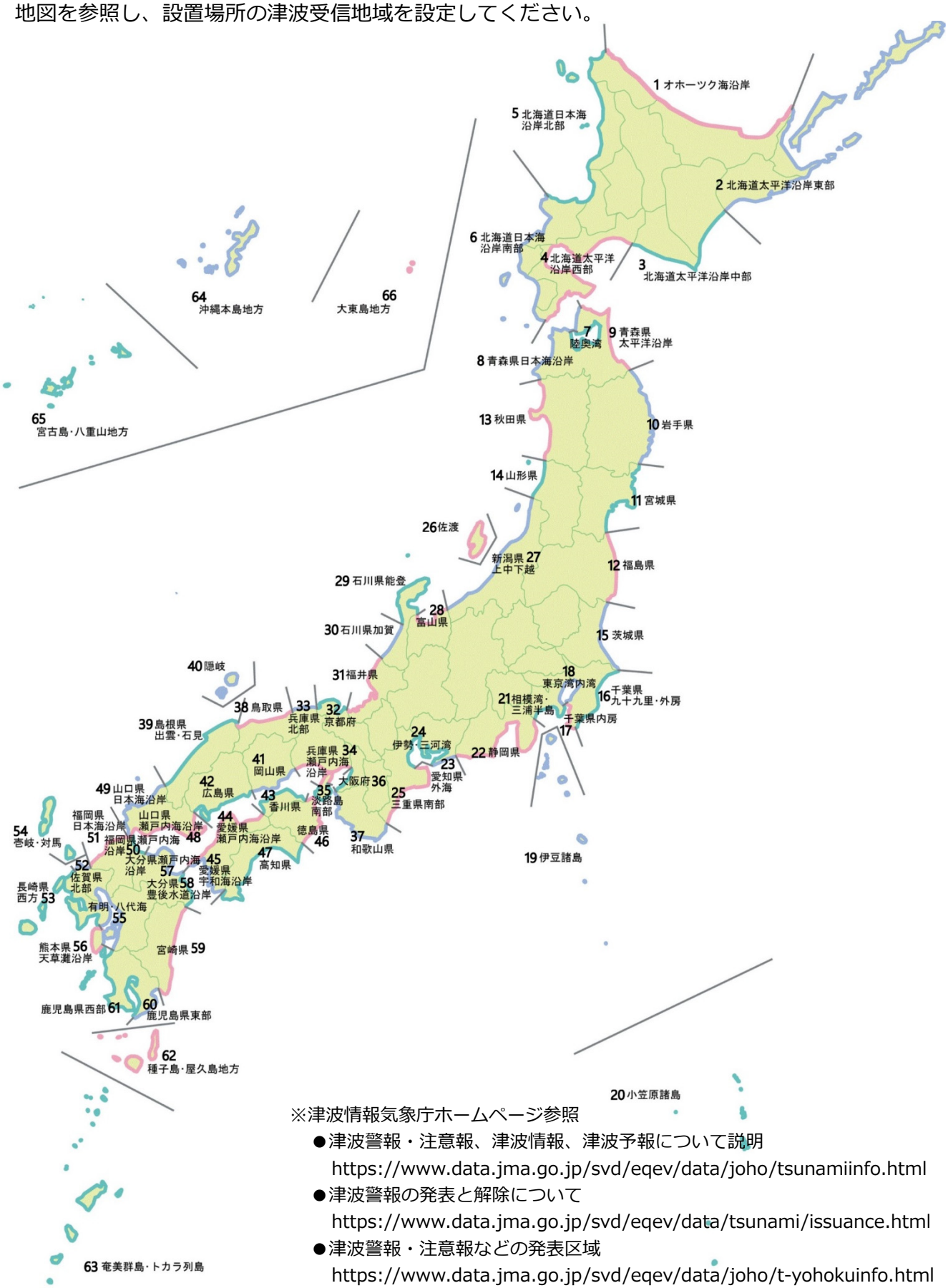
② 津波警報・注意報受信地域
気象庁が決めた津波警報・注意報などの発表区域です。機器の設置場所に一番近い海岸沿いを設定してください。（P.29～30 参照）

③ 津波警報・注意報音声出力
音声出力は連続設定に固定されています。
津波受信時には、津波解除・取消が発表されるまで津波音声「津波警報・注意報発令」の報知を続けます。（P.41 参照）

※ 地震・津波報知中には設定変更 / 保存されても反映されません。

2．津波予報区

気象庁では、津波の影響を受ける地域を予報区として区分けしています。
地図を参照し、設置場所の津波受信地域を設定してください。



※津波情報気象庁ホームページ参照

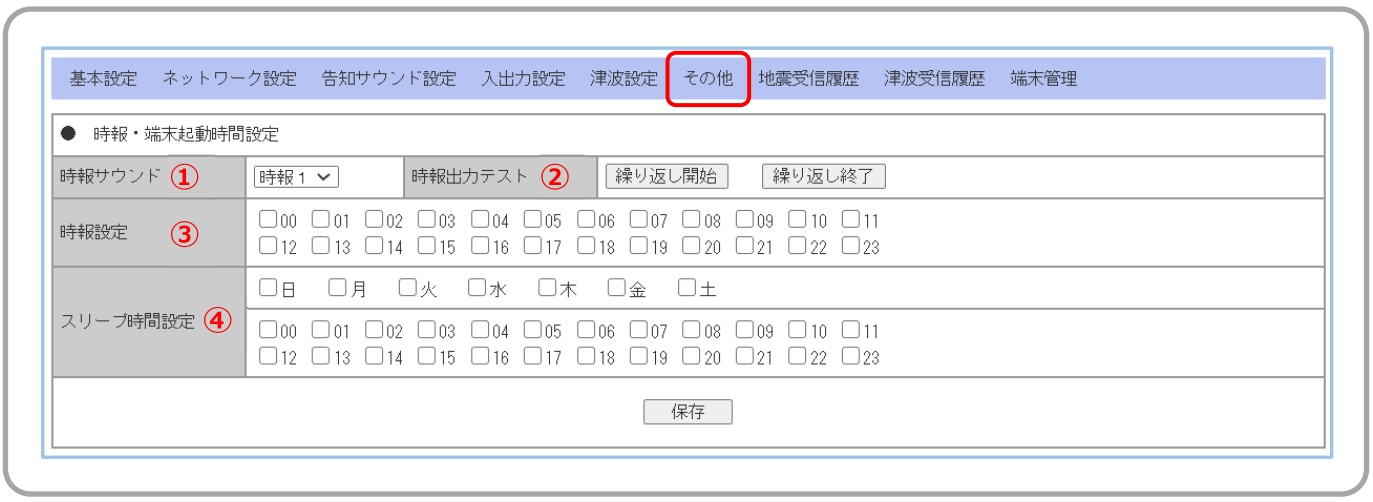
- 津波警報・注意報、津波情報、津波予報について説明
  https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html
- 津波警報の発表と解除について
  https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami/issuance.html
- 津波警報・注意報などの発表区域
  https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/t-yohokuinfo.html

津波エリア予報区コード一覧

地図番号	予報区		地図番号	予報区	
	コード	地域名		コード	地域名
1	120	オホーツク海沿岸	34	521	兵庫県瀬戸内海沿岸
2	100	北海道太平洋沿岸東部	35	522	淡路島南部
3	101	北海道太平洋沿岸中部	36	510	大阪府
4	102	北海道太平洋沿岸西部	37	530	和歌山県
5	110	北海道日本海沿岸北部	38	540	鳥取県
6	111	北海道日本海沿岸南部	39	550	島根県出雲・石見
7	202	陸奥湾	40	551	隠岐
8	200	青森県日本海沿岸	41	560	岡山県
9	201	青森県太平洋沿岸	42	570	広島県
10	210	岩手県	43	590	香川県
11	220	宮城県	44	601	愛媛県瀬戸内海沿岸
12	250	福島県	45	600	愛媛県宇和海沿岸
13	230	秋田県	46	580	徳島県
14	240	山形県	47	610	高知県
15	300	茨城県	48	701	山口県瀬戸内海沿岸
16	310	千葉県九十九里・外房	49	700	山口県日本海沿岸
17	311	千葉県内房	50	710	福岡県瀬戸内海沿岸
18	312	東京湾内湾	51	711	福岡県日本海沿岸
19	320	伊豆諸島	52	720	佐賀県北部
20	321	小笠原諸島	53	730	長崎県西方
21	330	相模湾・三浦半島	54	731	壱岐・対馬
22	380	静岡県	55	712	有明・八代海
23	390	愛知県外海	56	740	熊本県天草灘沿岸
24	391	伊勢・三河湾	57	750	大分県瀬戸内海沿岸
25	400	三重県南部	58	751	大分県豊後水道沿岸
26	341	佐渡	59	760	宮崎県
27	340	新潟県上中下越	60	770	鹿児島県東部
28	350	富山県	61	773	鹿児島県西部
29	360	石川県能登	62	771	種子島・屋久島地方
30	361	石川県加賀	63	772	奄美諸島・トカラ列島
31	370	福井県	64	800	沖縄本島地方
32	500	京都府	65	802	宮古島・八重山地方
33	520	兵庫県北部	66	801	大東島地方

■ その他（時報・スリープ）

選択した時刻に時報を鳴らしたり、機器の報知動作を停止させることができます。



① 時報サウンド

「時報１」、「時報２」、「時報３」、「時報４」から選択できます。

② 時報出力テスト

時報音を鳴らして確認をします。

③ 時報設定

選択した時刻に時報が鳴ります。（複数選択可）

④ スリープ時間設定

選択した曜日、時刻には機器の報知動作が止まります。

緊急地震速報、及び津波電文が受信されても報知しません。

「曜日」と「時間」両方を必ず設定してください。「曜日」のみ、「時間」のみを設定してもスリープモード機能は動作しません。

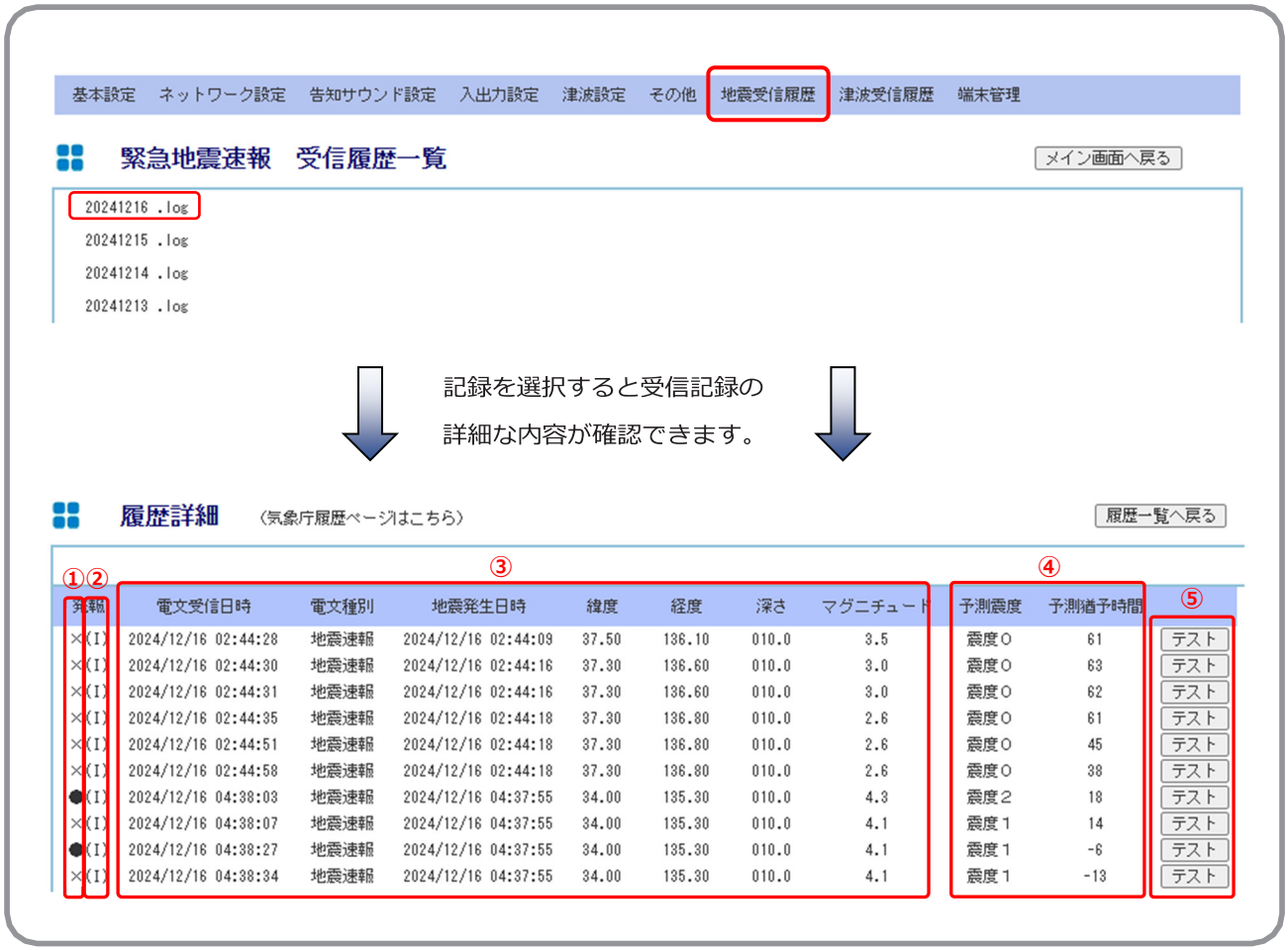
※スリープモードの画面については P.45 を参照ください。

※地震報知中には設定変更 / 保存されても反映されません。

■ 地震受信履歴

緊急地震速報の受信履歴が確認できます。
緊急地震速報を受信すると画面のように記録が残ります。緊急地震速報受信がない場合は記録に残りません。

例：20241216.log （2024 年 12 月 16 日の記録）



① 発報

緊急地震速報を受信し、機器が報知動作をしたかどうかが確認できます。

●： 設定震度以上であり報知した場合

×： 報知動作条件に満たない、もしくは設定震度以下であり報知しなかった場合

※報知動作条件

ア）設定震度以上であること。

イ）報知中に地震が来た場合、震度が高い場合は報知を更新します。

ウ）震度が同様の場合は猶予時間が短い地震を優先し報知動作をします。

② 電文の確からしさ

気象庁から配信された緊急地震速報電文の観測点数の情報を記録します。

１： 1 観測点の地震速報電文

２： 2 観測点の地震速報電文

Ｉ： 3～4 観測点の地震速報電文（IPF 法）

Ｂ： 5～6 観測点の地震電文（防災科研データ）

Ｅ： 7 以上の観測点の地震電文（EPOS 気象庁地震活動等総合監視システム）

－：キャンセル報電文

③ 気象庁からの震源地情報

電文受信日時　：　気象庁から配信された電文を受信した時刻です。

電文種別　　：　気象庁から受信した電文の種類（地震速報、地震警報、訓練報、キャンセル報など）を表示します。

地震発生日時　：　気象庁の地震計が地震発生を感知した時刻です。

震源地情報・地震の規模　：　緯度・経度・深さ・マグニチュードを表示します。

④ 演算結果（予測震度・予測猶予時間）

気象庁から配信された緊急地震速報（震源地情報）と機器の設定場所情報（位置情報）から演算した予測結果を表示します。

⑤ テスト

気象庁から配信された緊急地震速報（震源地情報）をそのまま利用しテストを行うことができます。

※履歴は 3 年間分のみ保存されます。（3 年より前の記録は削除されます。）

※テスト配信は履歴として保存されません。

■ 津波受信履歴

津波受信履歴の確認ができます。

① 発報

気象庁からの津波情報を受信し、機器が報知したかどうかが確認できます。

●： 津波情報を報知した場合

×： 報知動作条件に満たず、報知しなかった場合

※報知動作条件

ア）気象庁から発表された津波情報に設定地域が含まれていること。

イ）津波警報・注意報受信設定で選択した津波情報以上であること。（P.28 津波設定参照）

② 電文区分

津波発令 / 津波解除 / 津波取消の電文情報を表示します。

③ 種別

津波発令の場合「津波予報・波注意報・津波警報・大津波警報」の津波規模を表示します。

④ 津波発表日時・地震発生日時

気象庁からの津波電文受信日時と津波発生の原因となる地震の発生日時を表示します。

※履歴は 3 年間分のみ保存されます。（3 年より前の記録は削除されます。）

■ 端末管理

バージョン管理、パスワード管理、動作確認テスト、配信サーバー情報初期化、再起動など管理・運用するための設定になります。

① バージョンアップ管理

ウェブブラウザから機器のバージョンアップができます。

新しいバージョンがある場合はバージョンアップボタンが表示されます。

最新バージョンの場合は「最新バージョンです。」と表示し、ボタンは表示されません。

② パスワード管理

ログインする時のパスワードの変更ができます。初期値は「admin」です。

※注意

変更したパスワードを紛失し不明な状態になると、本体を工場出荷時の状態（初期化）に戻さないとログインができなくなりますので、変更した際には必ず取扱説明書、または保証書などにメモするなどパスワード管理にはご注意ください。

③ 動作確認テスト

ア）震度と猶予時間を選択して報知動作を行います。

イ）震源地情報を直接入力して報知動作を行います。

ウ）「震度 5 強　20 秒」「震度 7　20 秒」固定された結果を選択して報知動作を行います。

エ）以前発生した大きい地震から選択して報知動作を行います。

④ 津波動作確認テスト
津波を選択すると報知動作を行います。報知動作はテスト中止を押すまで続けます。

⑤ 配信サーバー情報初期化
現在接続されている緊急地震速報配信サーバー情報を初期化し、新たに配信情報を取得します。
（配信サーバーが変更された場合のみ使う機能ですので、通常は使用しません。）

⑥ ネットワーク初期化
ネットワーク設定値を初期化します。※ DHCP に設定され、再起動されます。

⑦ 本体初期化
震度や音量など全ての設定が工場出荷初期値に戻り再起動されます。
※全ての受信履歴も削除されます。

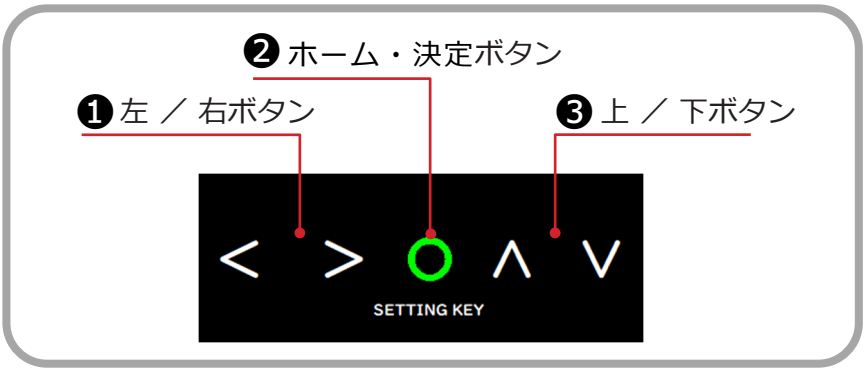
⑧ 端末再起動
端末を再起動させます。

5 画面の表示

画面の操作方法

◆ ボタン操作

前面



❶ 左「<」／右「>」ボタン

・設定メニューで「<」「>」を押すことで左右にスクロールし各項目を選択することができます。
・通常の待ち受け画面では、左「<」ボタンで地震速報の発報履歴が表示され、右「>」ボタンで受信端末の設定内容が表示されます。

❷ ホーム・決定ボタン

・約２秒長押しすることで設定画面に移動します。
・選択した項目、及び選択した設定内容を確定する際の「決定」ボタンとして使用します。

❸ 上「∧」／ 下「∨」ボタン

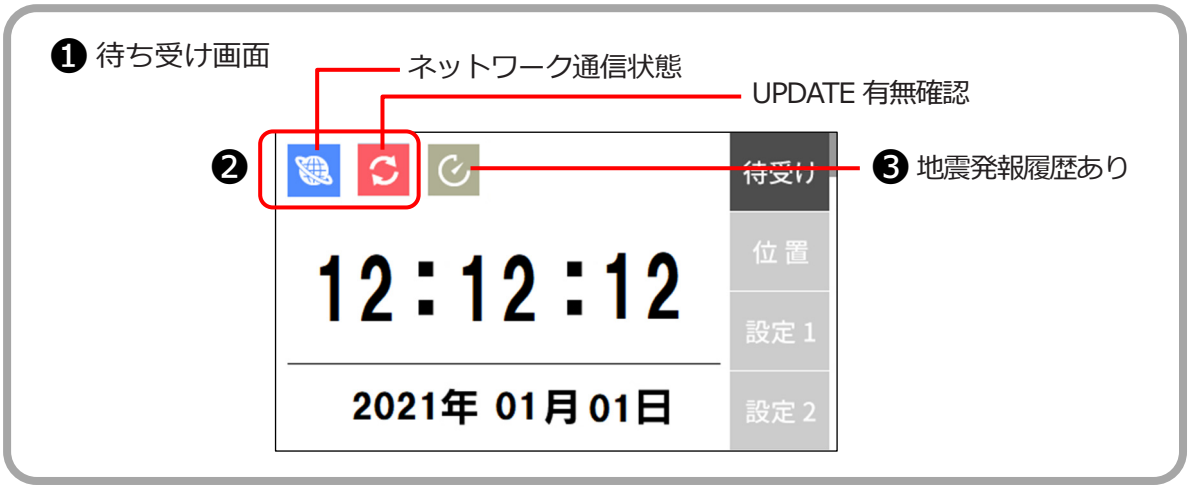
設定メニューで「∧」「∨」を押すことで上下にスクロールし各項目を選択する事ができます。

背面

❹ テスト＆クリアボタン（背面）

・約２秒長押しで、訓練報のメッセージを流します。（震度７　震度５強　を繰り返し）
・津波情報、訓練報のメッセージ送出中に約２秒長押しで、メッセージの送出を中止します。

「基本画面」表示内容



❶ 待ち受け画面

時計画面が表示されます。この画面からはネットワークの通信状態と、UPDATE 情報の有無、地震発報履歴が確認できます。

❷ ネットワーク通信状態＆ UPDATE 有無確認

本機器と地震速報電文を配信するサーバーとの接続状態を表示します。

正常通信時（青）

通信エラー時（赤）

機器の現在のソフトウェアバージョンより最新のバージョンがあった際に、赤色に反転してお知らせします。

UPDATE のお知らせ（赤）

❸ 地震発報履歴あり

アイコンが表示されていると、地震速報の発報履歴があります。履歴を確認するとアイコンは非表示に変わります。（履歴の確認は P.32、P.61 参照）

地震発報履歴あり

「地震予報」表示内容 ①

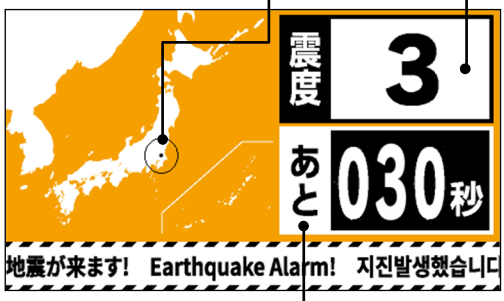
◆ 地震予報・地震警報（予報報知）

実際の地震による緊急地震速報電文を受信し、設置場所の予測震度（演算結果）が報知震度（P.48 参照）以上になったときに表示します。また、同時に音声による報知を行います。
表示画面からは、次の内容が確認できます。

- 震源位置
- 予測震度
- 地震到達までの予測猶予時間
- 地震警報の場合に「警報」の文字
  └ 強い揺れが来ることを予測すると、気象庁から地震警報が発表されます。（P.69 参照）

●震源位置　●予測震度

【通常地震の報知画面】



●地震到達までの予測猶予時間

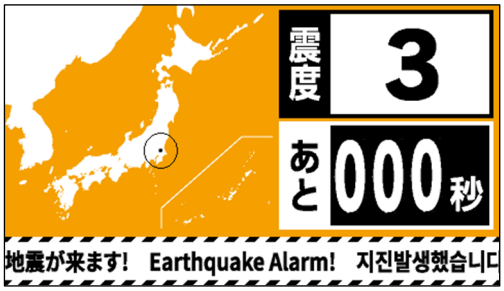
【地震警報の報知画面】

●「警報」の文字…地震警報の場合に表示されます。

◆ 地震予報終了（カウントダウン終了）後

予報内容を表示します。なお、地震情報は履歴として保存されます。（P.32、P.61 参照）

【通常地震の終了画面】



【地震警報の終了画面】

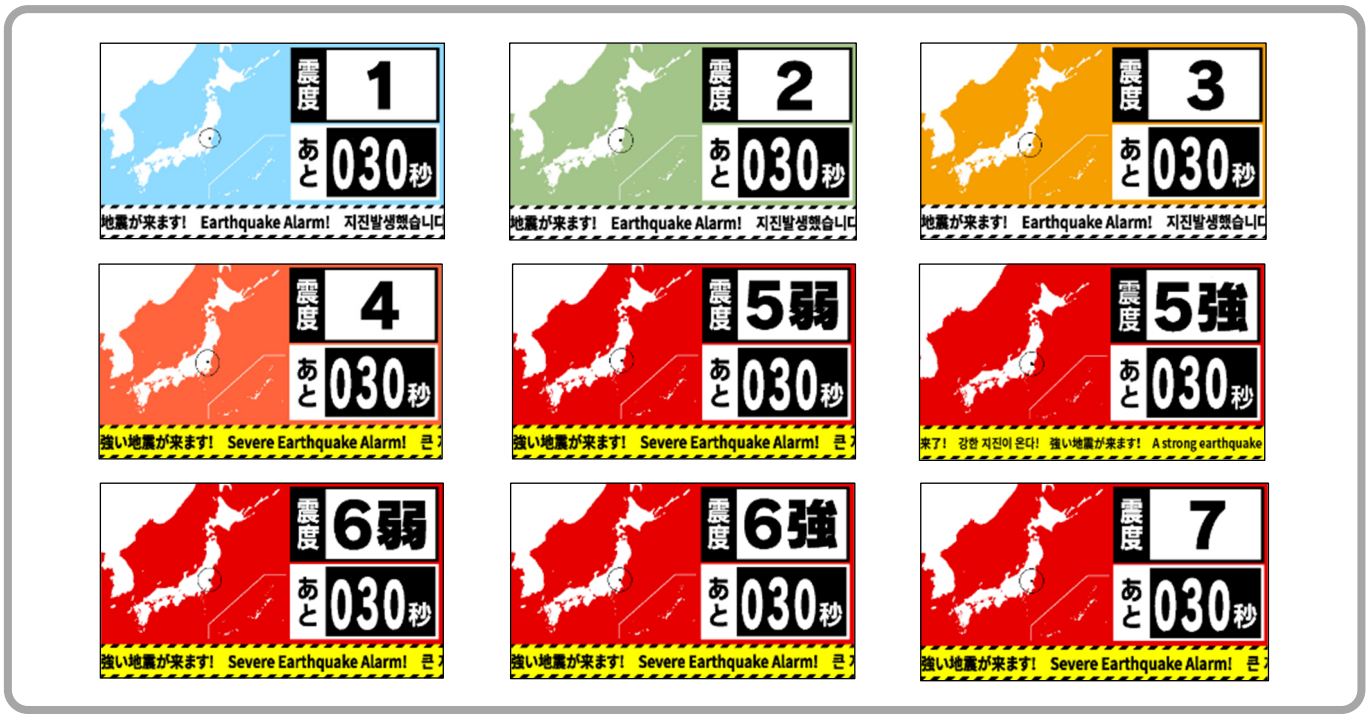
■ 「地震予報」表示内容②

◆ 地震予報画面の詳細

本機器の操作途中でも地震予報を行います。この時、音声案内は設定した表現（※１）により「地震震度Ｘ、ＳＳ秒後…」、あるいは「〇〇〇〇揺れが来ます」のように報知を開始します。

※ 1…設定した表現は、「P.21 告知サウンド設定」、「P.43 設定情報１」を参照してください。

注：地震予報の報知中は、ボタン操作ができません。



※機器の操作中であっても、機器がサーバーから地震速報を受信した場合は予報報知を行います。

◆ キャンセル報について

ごくまれに緊急地震速報を報知した後に、その速報自体をキャンセル（取り消し）する速報が気象庁から発表される場合があります。
端末はこのキャンセル報を受信すると「取り消します。先ほどの地震速報は誤報です。」という音声通知を行います。外部機器（放送連動など）を接続している場合は、直前の緊急地震速報（予報）が誤りだったと理解していただき、落ち着いた行動をとっていただきますようお願いいたします。

なお、機器はキャンセル報を「受信する / 受信しない」の選択ができます。
（設定方法は、P.18、P.70 参照）

■ 「津波予報・津波注意報・津波警報・大津波警報」表示内容

◆ 大津波警報・津波警報・津波注意報表示

気象庁から発表される津波情報の区域と、本機器の設定の津波区域が一致した場合に報知します。津波情報が発報されると、気象庁から津波解除、あるいは取消が発表されるまで長時間にわたり報知を続ける場合があります。途中で報知を止めたい場合は、本機器背面のテスト＆クリアボタンを2秒長押しすると止まります。

●津波予報

予想される津波の高さが0.2m未満の海面変動のため被害の心配はなく、特段の防災対応の必要がない場合

※津波からの影響がないと受信履歴にのみ記録しますが、**報知はできません。**

●津波注意報

予想される津波の高さが0.2m以上、1m以下の場合報知

内容：「津波注意報発令」＋ 指定の避難場所に避難してください。
「津波注意報発令」＋ 海岸沿いから離れてください。

●津波警報

予想される津波の高さが1m超え、3m以下の場合報知

内容：「津波警報発令」＋ 指定の避難場所に避難してください。
「津波警報発令」＋ 海岸沿いから離れてください。

●大津波警報

予想される津波の高さが3m超える場合報知

内容：「大津波警報発令」＋ 指定の避難場所に避難してください。
「大津波警報発令」＋ 海岸沿いから離れてください。

※非常に危険な状態を区分するために画面の色を赤で表示します。

●津波解除

最初の警報・注意報よりも津波が小さい、あるいは発生しない可能性が高いことが確認できれば、気象庁から警報・注意報の切り替えや解除の情報を受信し報知します。

内容：「発令・発表を解除します。」

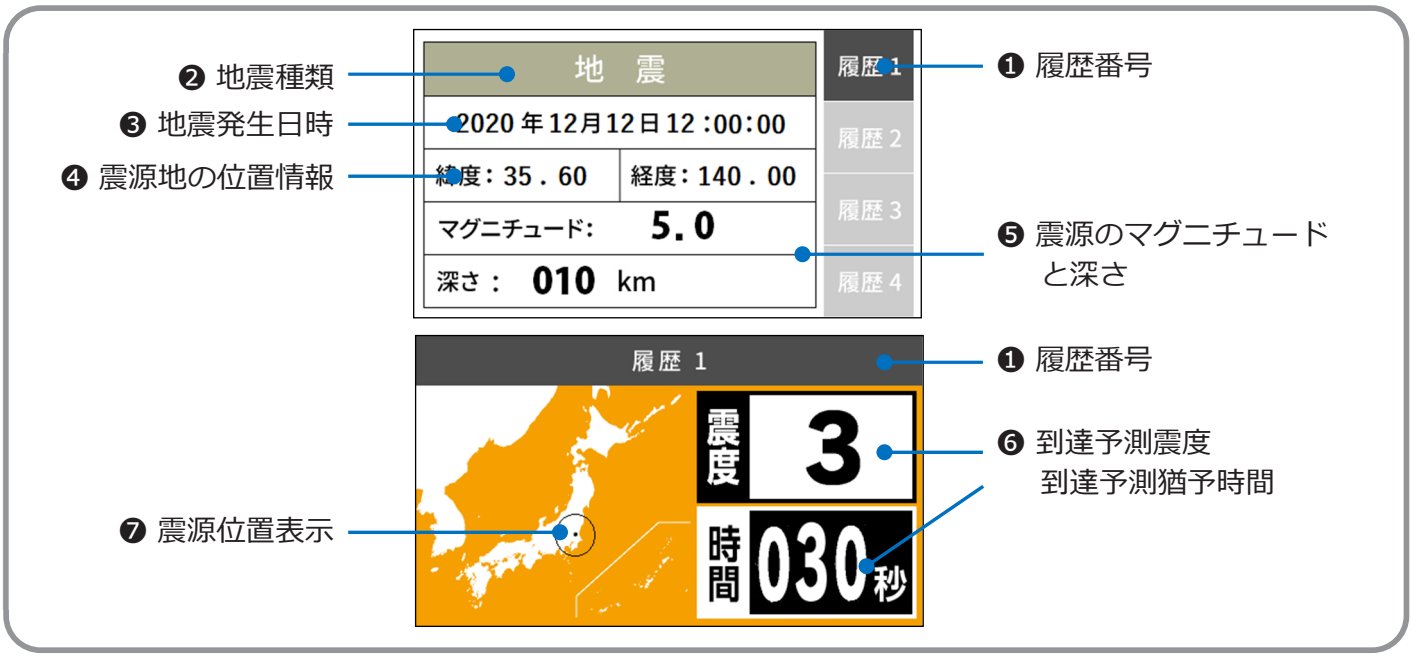
●津波取消

発表された予測津波情報が誤報と判明された場合、津波誤報の情報を受信し報知します。

内容：「取り消します。先の発令・発表は誤報です。」

「地震履歴」表示内容

本機器が報知した地震の履歴を、過去9件まで表示することができます。



❶ 履歴番号

最新の報知した予報内容を履歴番号「１」として登録します。複数件になった場合は「２→３→４」と順次表示します。履歴が９件以上になった場合は、古い履歴から削除します。
ウェブブラウザからは３年間の履歴が確認できます。

❷ 地震種類

地震の種類（地震 / 地震警報 / 通過地震 / キャンセル報/ 深発地震）を表示します。

❸ 地震発生日時

地震が発生した日時を表示します

❹ 震源地の位置情報

震源地の位置情報（緯度・経度）を表示します。

❺ 震源のマグニチュードと深さ

震源のマグニチュードと深さを表示します。

❻ 到達予測震度・到達予測猶予時間

実際に報知した予測内容を表示します。

❼ 震源位置表示

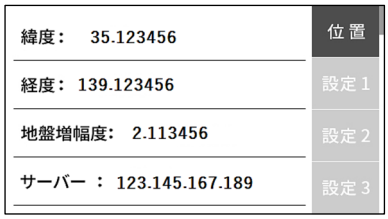
詳細情報で表示した震源地を地図上で表示します。サークルの中心が震源地になります。

「設定情報」表示内容

◆基本画面(待ち受け画面)

●時計表示
●ネットワーク通信状態のアイコン表示
●UPDATE 有無のアイコン表示
●確認していない地震発報履歴のアイコン表示

◆位置情報



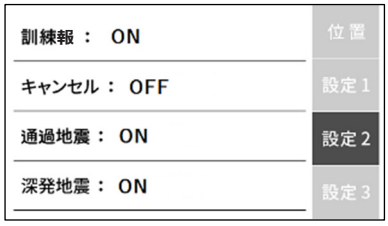
●緯度・経度・地盤増幅度・配信サーバー確認

お客様が本機器を使用するにあたり登録した住所の固有情報（緯度、経度、地盤増幅度）を表示します。
※ 設置場所情報は周期的に確認し、機器へ自動的に設定されます。
※ 本機器の設置場所情報はお客様による手動設定ができません。設置場所変更の際は、弊社までお問い合わせください。

◆設定情報 1

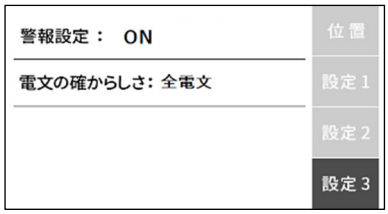
●震度レベル設定確認
演算結果が設定されている報知震度以上であるときに報知動作を行います。
●音声設定の情報確認
地震予報を報知する時の冒頭音と表現方法を表示します。
①冒頭音
無音 / REIC / NHK から設定された冒頭音を表示します。
②音声出力表現
-詳細表現 … 予報の内容を数値で表現します。
-曖昧表現 … 予報の内容を言葉で表現します。
（例：物が倒れるぐらいの揺れがまもなく来ます）

◆設定情報 2



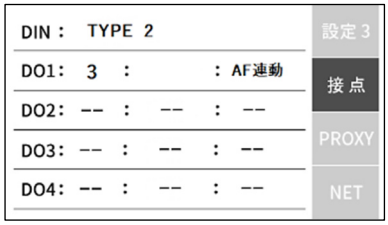
緊急地震速報の受信設定の内容が確認できます。

◆設定情報３



緊急地震速報の受信設定の内容が確認できます。

◆接点情報

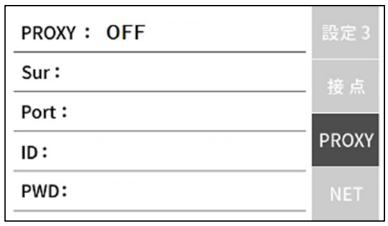


接点について出力（DO1、DO2、DO3、DO4）及び入力（DIN）の設定内容が確認できます。

DO ： 震度 / ディレー時間 / 出力時間

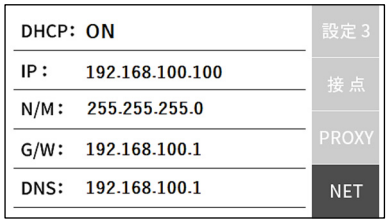
DIN：TYPE1（1 点以上入力）、TYPE2（2 点以上の入力）
　　TYPE3（3 点入力）

◆PROXY 情報



PROXY の設定内容が確認できます。

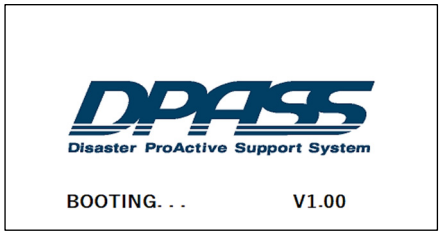
◆ネットワーク情報



本機器のネットワーク情報の設定内容が確認できます。

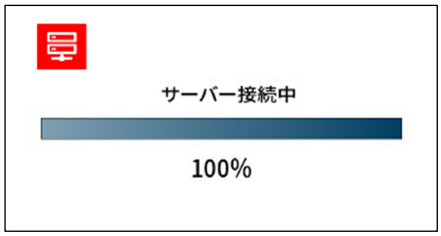
その他の表示内容

◆起動画面



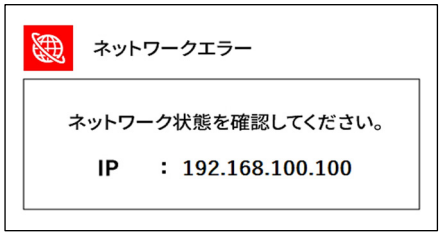
電源投入時、あるいは本機器の初期化を行っているときに表示します。

◆接続確認画面



「サーバー接続中」
初期化の後、インターネットを経由しサーバーから設定情報を受信しているときに表示します。
※ 接続ができないとエラー画面が表示されます。

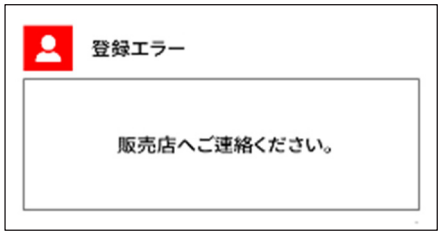
◆ネットワークエラー画面



「ネットワークエラー」
お客様のネットワーク環境に問題がありサーバーと通信できない状態が約60時間続くと表示します。
お客様のネットワーク環境を確認してください。

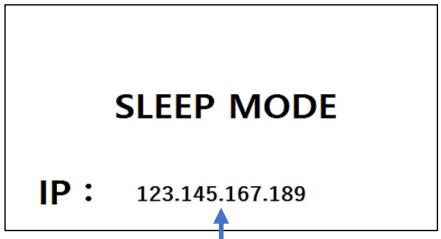
↓

◆登録エラー画面



「登録エラー」
サーバーと通信できない状態が約110時間続くと、端末は休止状態になりこの画面が表示されます。
復旧方法については、弊社までお問い合わせください。

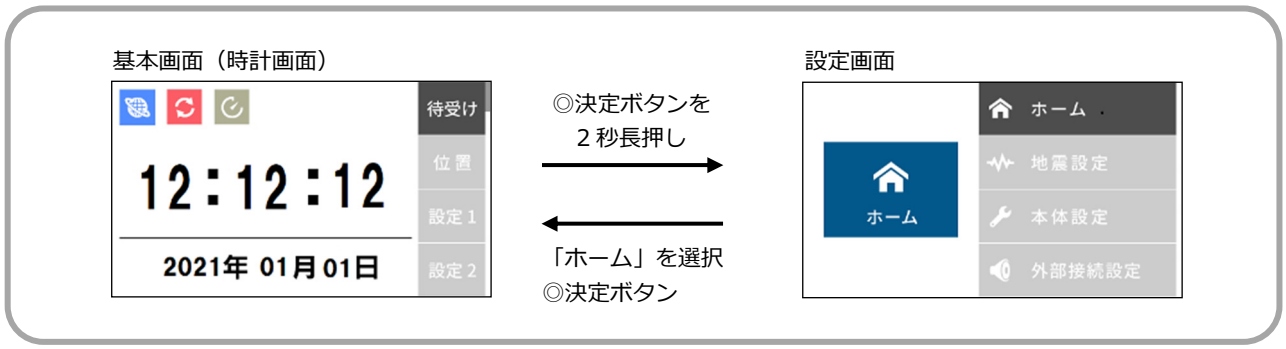
◆スリープ画面



実際には、本機器に設定されている
IP アドレスが表示されます。

「スリープモード」
ウェブブラウザから設定した曜日/時刻により、スリープモードに移行したときに表示します。
スリープモード時は端末操作ができません。スリープモードを途中で終了、または設定条件を変更したい場合は、画面に表示されているIPアドレスをウェブブラウザに入力し（P.17 参照）、ウェブブラウザから変更してください。（P.31 参照）
※再起動しても、スリープモードは終了しません。

■ メインメニュー表示



1. 地震設定

報知震度設定、訓練報、キャンセル報、通過地震、深発地震の受信設定に移動します。

2. 本体設定

本体音量、画面の明るさ、言語設定に移動します。

3. 外部接続設定

本機器の外部出力設定画面に移動します。
AF 設定、DO1～DO4、DI 設定画面に移動します。

4. ネットワーク

DHCP、固定 IP 設定画面に移動します。

5. アップデート

本機器のアップデート確認画面に移動します。

6. 初期化

ネットワーク初期化、本体初期化設定画面に移動します。

7. 端末情報

本機器の識別 ID 番号、MAC アドレス情報、バージョン情報を表示します。

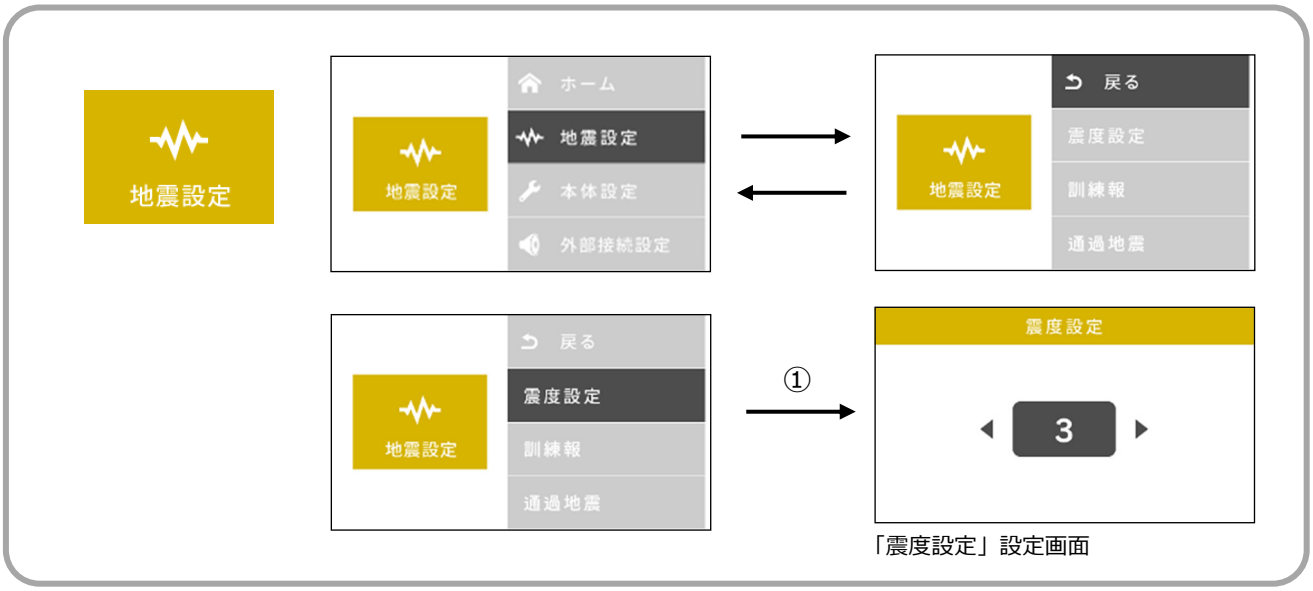
8. ラジオ　（現在使用不可）

NHK ネットラジオ ON/OFF 設定画面に移動します。

■ サブメニュー表示

1． 地震設定

報知震度、訓練報、キャンセル報、通過地震、深発地震などの受信設定に移動します。



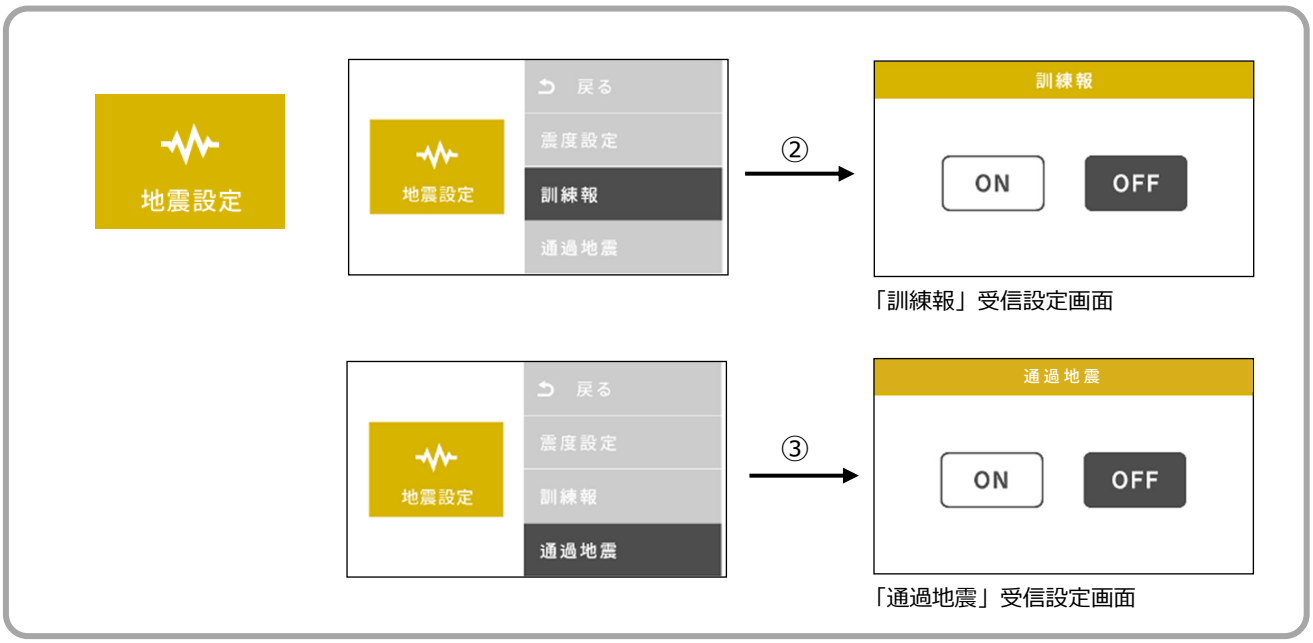
「震度設定」設定画面

① 報知震度設定

この画面に表示される震度以上の地震のみ報知動作を行います。

（ 設定方法は、P.18、P.64 参照 ）

※緊急地震速報を受信した際に、本機器の内蔵スピーカーから発報アナウンスを流す条件となる震度です。接点を出力する「地震出力レベル（震度）」とは異なります。（P.54 参照）



② 訓練報

気象庁の訓練報や配信事業者の配信システムから配信される訓練用の緊急地震速報電文を受信して機器を報知動作させるかを設定します。

（ 設定方法は、P.18、P.65 参照 ）

ON	訓練報による報知動作を行います。
OFF	訓練報による報知動作を行いません。

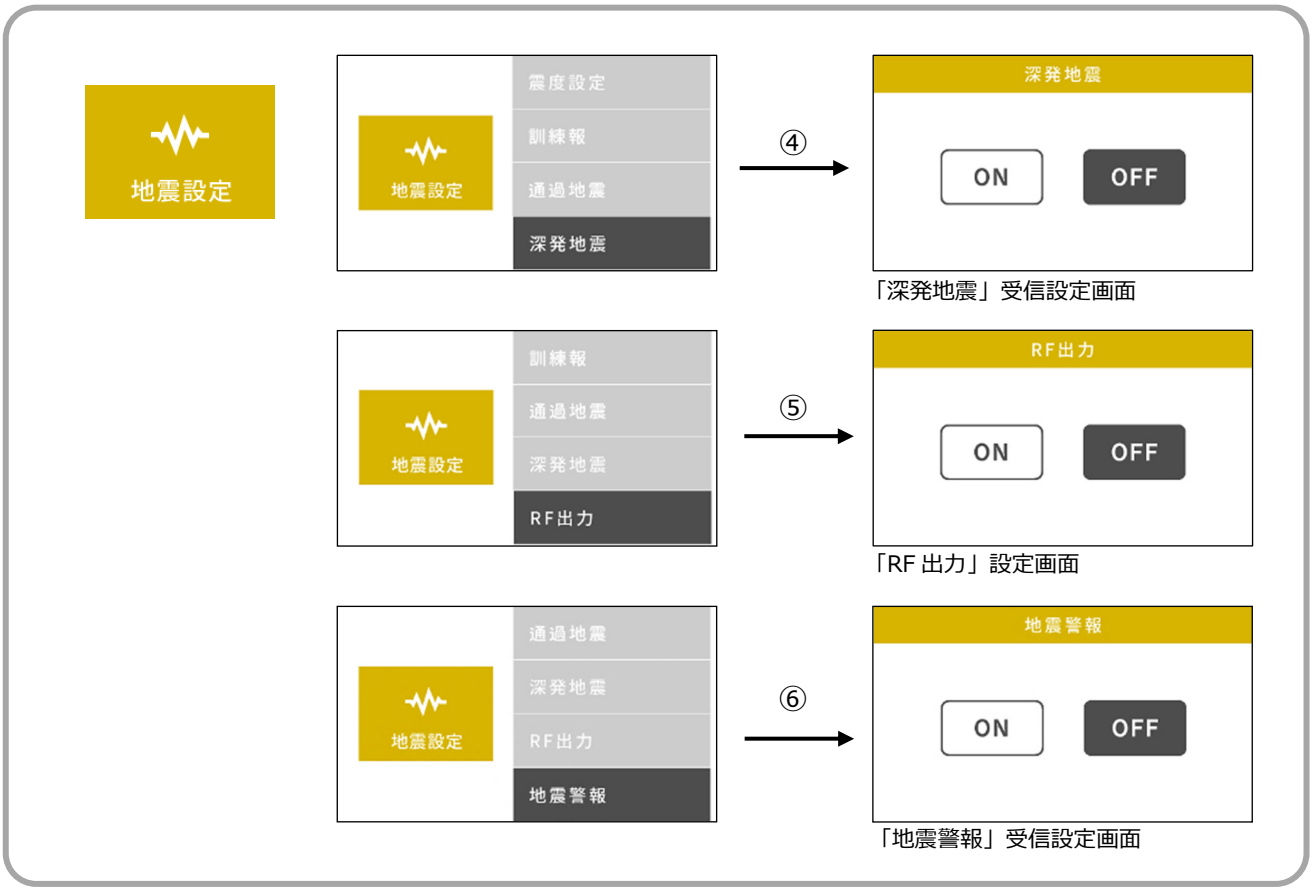
③ 通過地震

大きな揺れであるＳ波（主要動）到達までの予測猶予時間がマイナスの場合、到達済の地震に対して報知動作させるかを設定します。

（ 設定方法は、P.18、P.66 参照 ）

ON	予測猶予時間が「－10秒」までの地震に対して報知動作を行います。 報知音声はマイナス秒の場合であっても「地震　震度〇」となります。
OFF	予測猶予時間が「＋1秒」以上の地震に対して報知動作を行います。

※本機器の緯度経度設定付近で地震が発生した場合や直下型地震等ではＳ波の到達予測猶予時間が報知動作に間に合わない可能性があります。このような場合においても報知動作させたいときは通過地震設定を「ON」にすることで報知動作の許容を拡大することができます。



④ 深発地震

震源の深さが 150km よりも深い地震に対して報知動作させるかを設定します。

震源の深さが 150km 以遠の場合、予測結果に大きな誤差を含む可能性が高くなります。

（ 設定方法は、P.18、P.67 参照 ）

ON	深発地震による報知動作を行います。
OFF	深発地震による報知動作を行いません。

⑤ RF 出力

本機器から子機に対して無線電波（RF）信号出力有・無を設定します。

（ 設定方法は、P.18、P.68 参照 ）

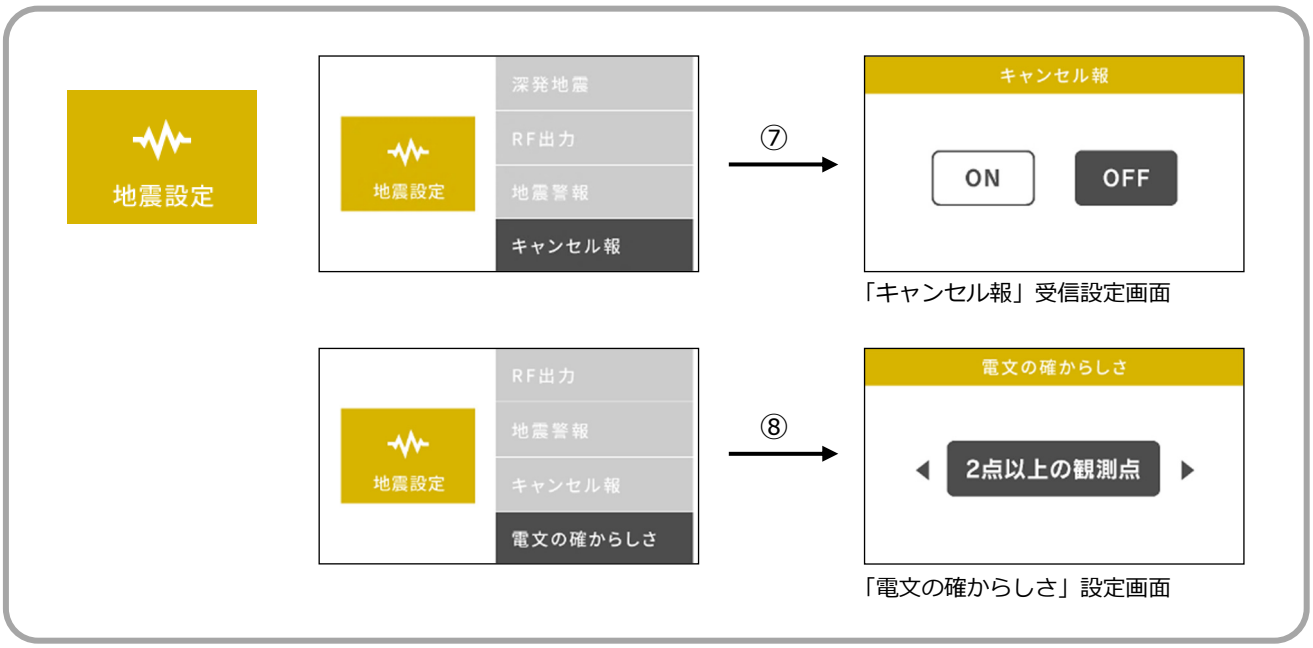
ON	子機向けの無線電波 (RF) を送信します。
OFF	子機向けの無線電波 (RF) を送信しません。

⑥ 地震警報

本機器設置場所に気象庁から地震警報が発表された場合に報知動作させるかを設定します。

（ 詳細な説明、及び設定方法は、P.18、P.69 参照 ）

ON	地震警報による報知動作を行います。
OFF	地震警報による報知動作を行いません。



⑦ キャンセル報

キャンセル報が発表された場合に報知動作させるかを設定します。

（ 設定方法は、P.18、P.70 参照 ）

ON	キャンセル報による報知動作を行います。
OFF	キャンセル報による報知動作を行いません。

⑧ 電文の確からしさ

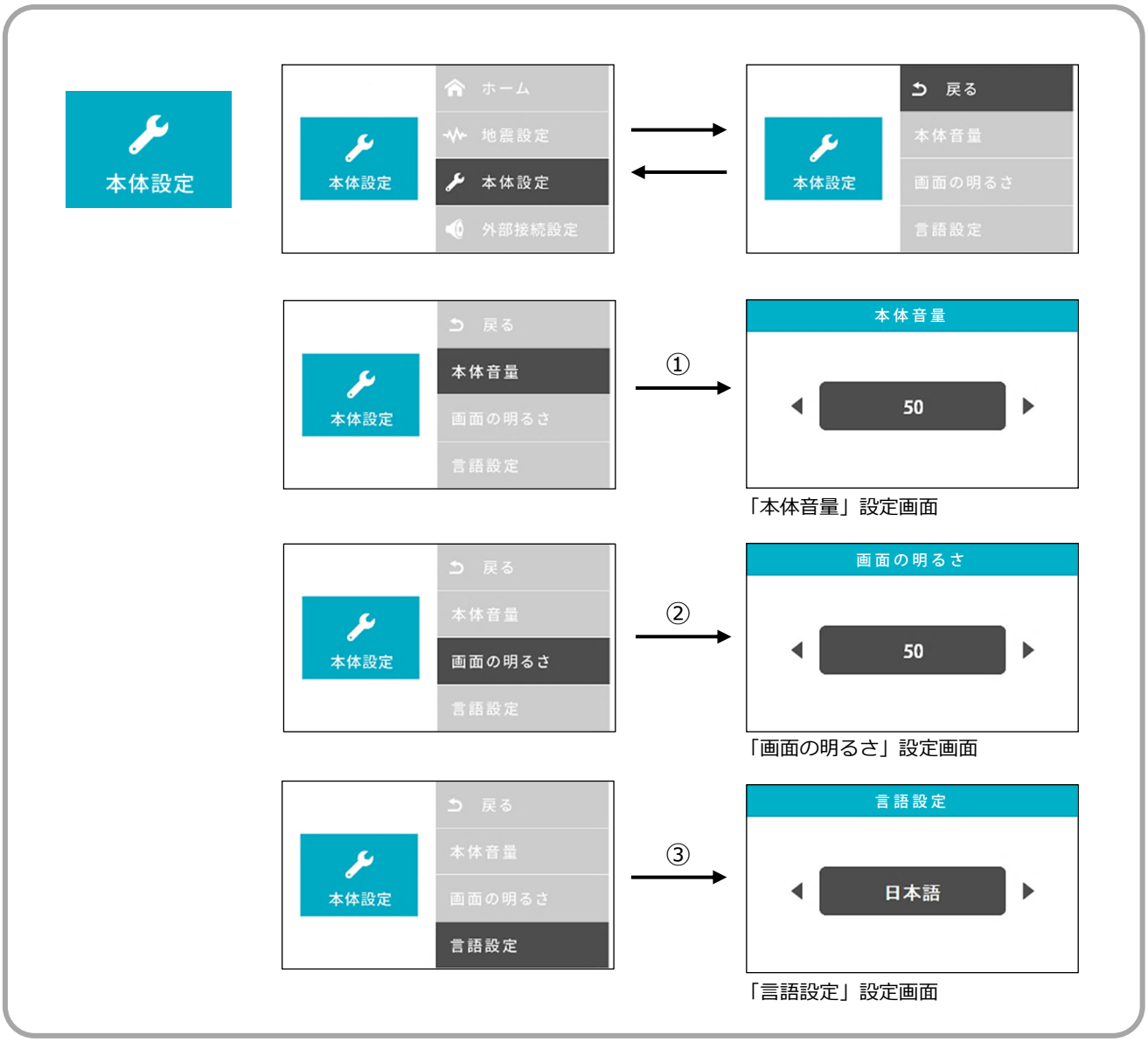
気象庁から配信される電文のうち、いくつの観測点から確認された電文で報知動作させるかを選択します。

「全電文/2 点以上の観測点」のどちらかを設定します。（ 設定方法は、P.19、P.71 参照 ）

全電文	気象庁から配信された電文を全て演算し、報知動作を行います。 ※一番初めに気象庁から配信された電文（観測点1点目）から演算し、報知動作を行います。
2点以上の観測点	気象庁から配信された電文の中から2点以上の観測点情報が確認された電文を演算し、報知動作を行います。

2．本体設定

本体音量、画面の明るさ、言語設定画面に移動します。



①本体音量

本体に内蔵されたスピーカーの音量を設定します。

0 から 100 まで、5 単位で調整できます。

② 画面の明るさ

本体画面の液晶の明るさを設定します。

明るさ 0 から 100 まで、5 単位で調整できます。

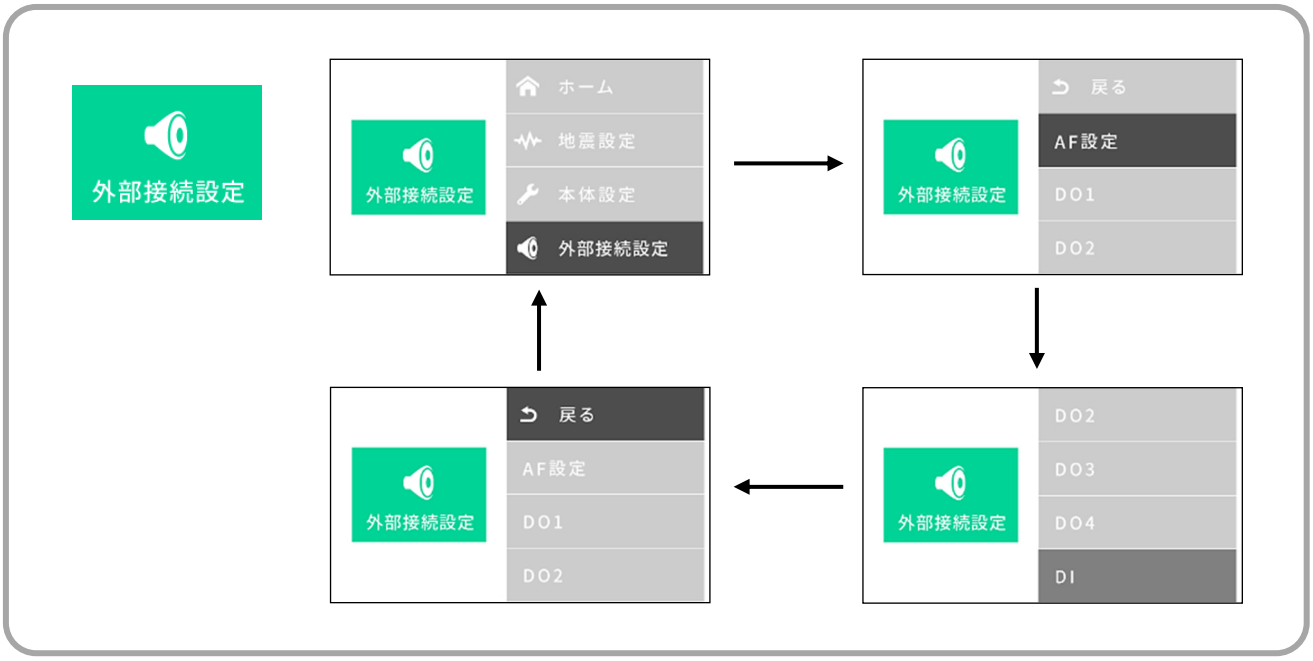
③ 言語設定

緊急地震速報、または津波情報を受信した際のアナウンス音声の言語を設定します。

6 ヶ国言語の音声設定ができます。(英語、日本語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語)

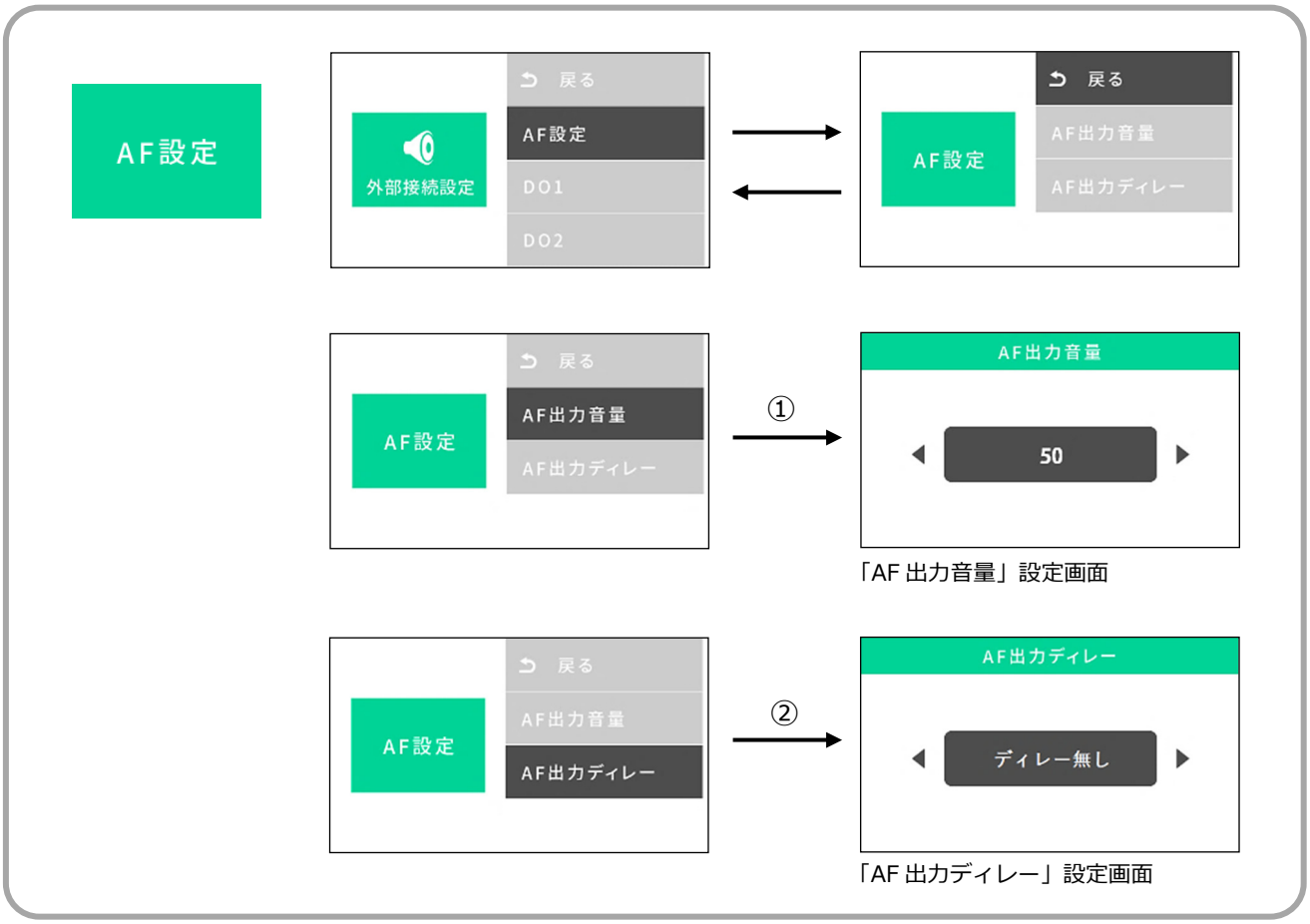
3．外部接続設定

AF 設定、DO1～DO4、DI 設定画面に移動します。



3-1.AF 設定

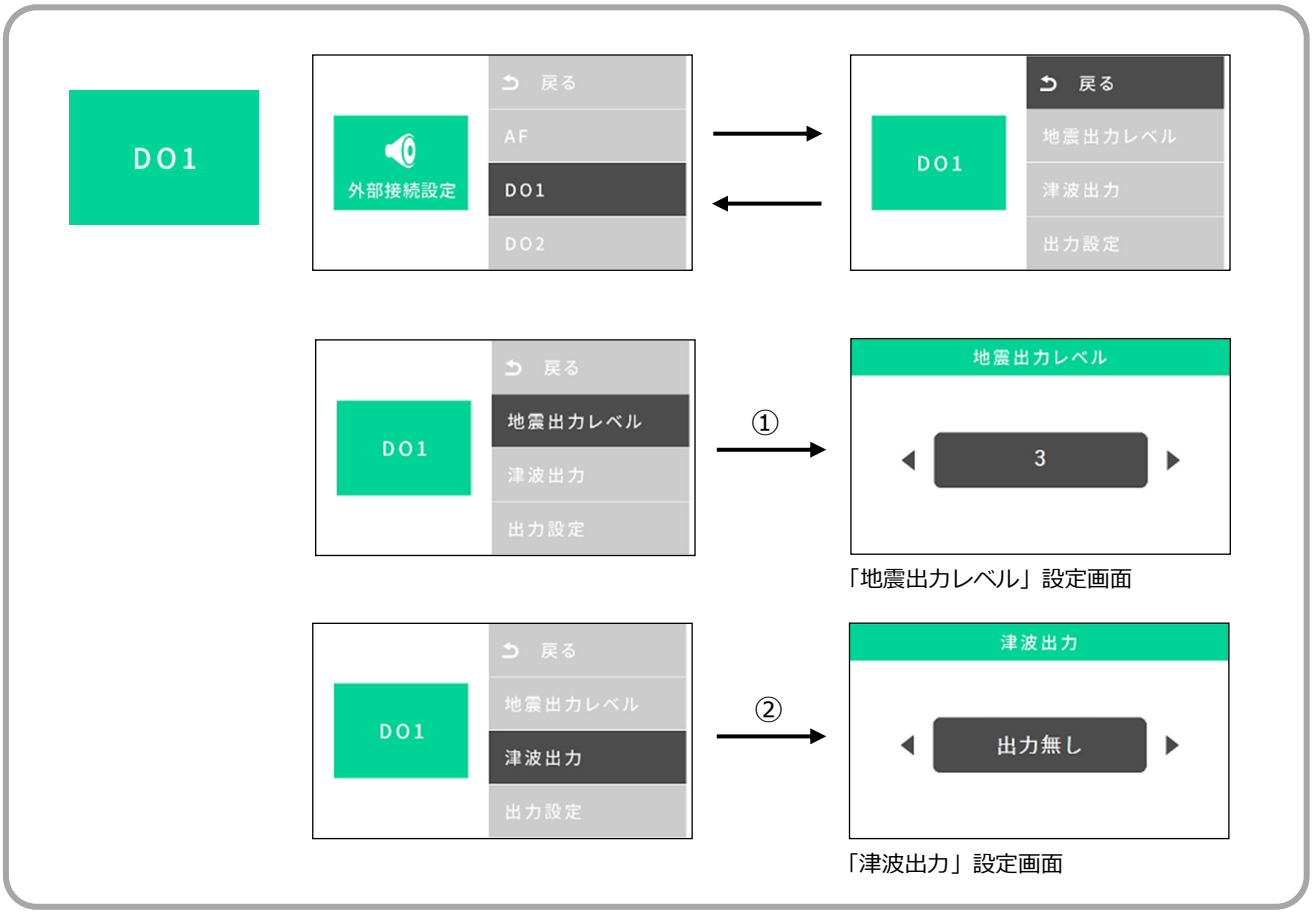
AF 出力音量、AF 出力ディレー設定画面に移動します。



① AF 出力音量設定
外部放送設備に出力する音量を設定します。
0 から 100 まで、5 単位で調整できます。

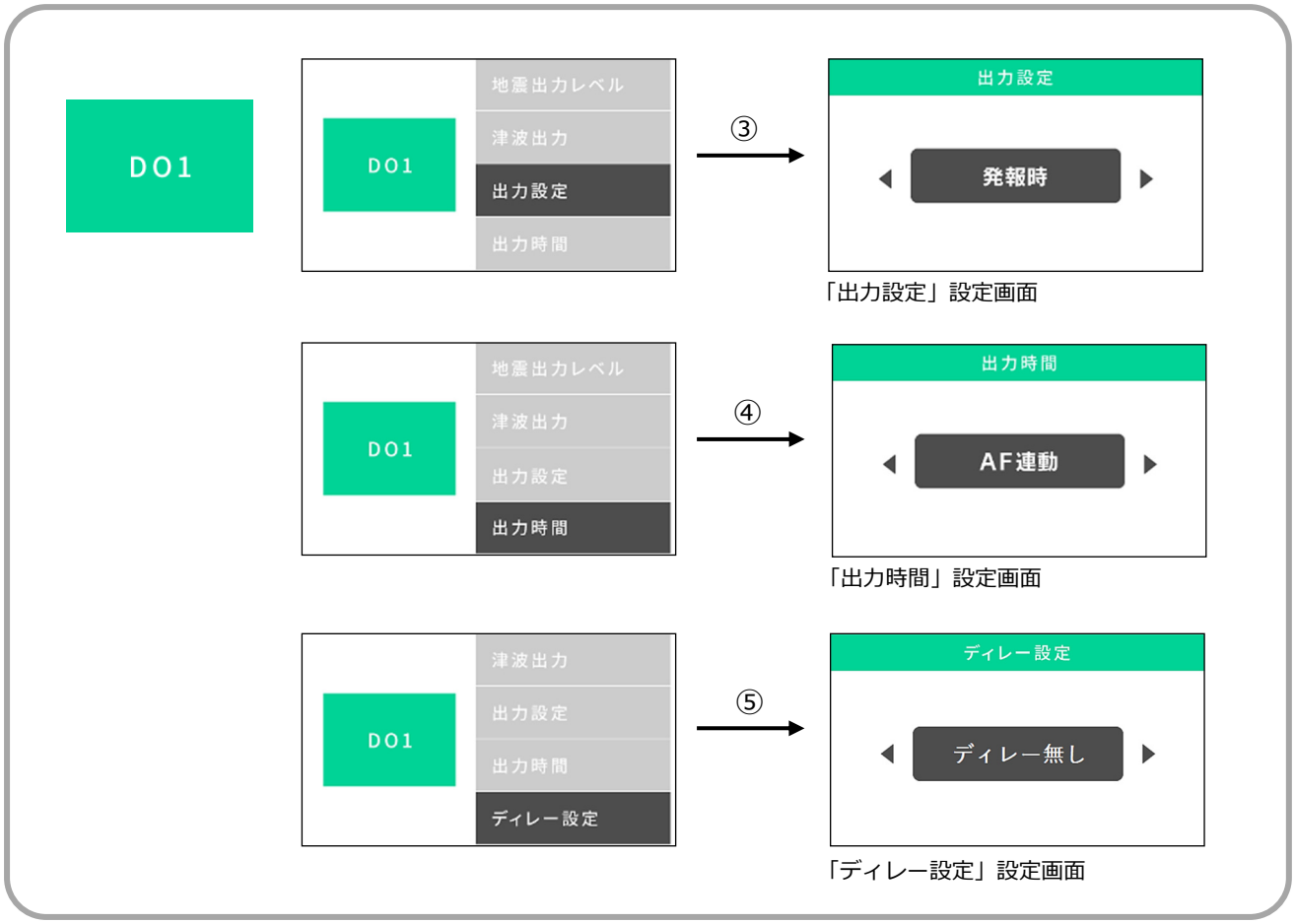
② AF 出力ディレー設定
DO の出力タイミング（発報時）に対して音声出力開始のタイミングを遅らせたい場合に設定します。
「1～10 秒」「ディレー無し」から設定できます。

3-2.DO1～DO4 設定（DO1～DO4 すべて設定方法は同様）



① 地震出力レベル
予測震度が設定した震度以上の地震のときに接点を出力します。
本機器の報知震度（P.48 参照）とは別に、「震度 1、2、3、4、5 弱、5 強、6 弱、6 強、7」から設定できます。

② 津波出力
本機器が津波報知動作（P.28 参照）をしたときの、外部放送設備などへの接点出力について設定します。
「出力無し」、「出力する」、「津波解除・取消のみ出力」から設定できます。



③ 出力設定

本機器が地震報知動作をし、予測震度が①で設定した震度以上のときに接点を出力します。

「発報時出力」、「発報後出力」、「出力無し」から設定できます。

④ 出力時間

本機器より外部放送設備などへの接点出力時間を設定します。

「200～900 ミリ秒、1～300 秒」、「連続」、「AF 連動」から設定できます。

⑤ ディレー設定

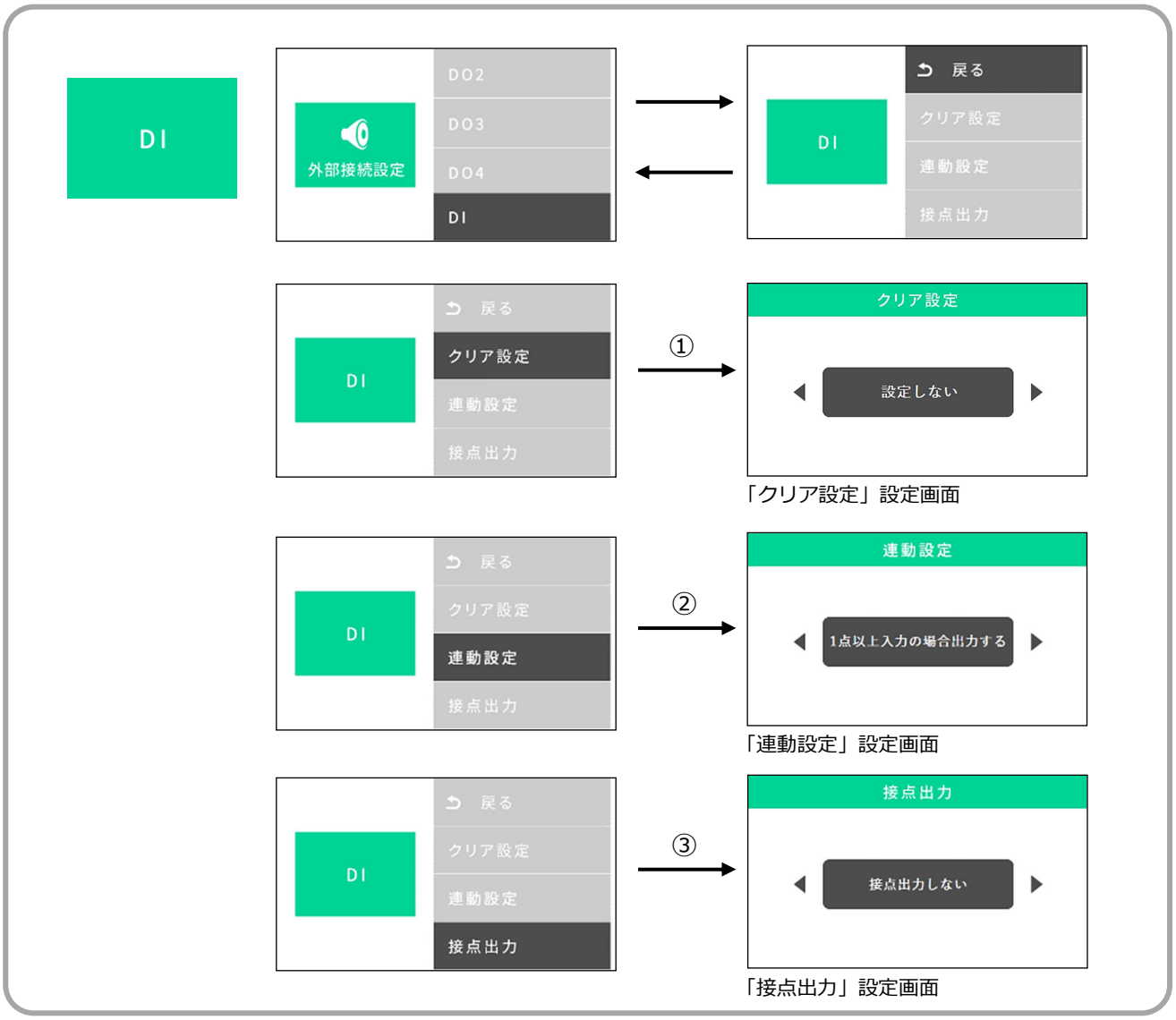
接点出力開始のタイミングを遅らせることができます。

「100～900 ミリ秒、1～10 秒」、「ディレー無し」から設定できます。

※DO2～DO4 も、設定方法は同様です。

3-3.DI 入力設定

入力の設定画面に移動します。



① クリア設定

外部接点入力端子（DI1、DI2、DI３）から入力された信号を利用し、出力中の接点をクリアさせます。

「設定しない」、「(DI1、DI2、DI3）入力時機器をクリアする」から設定できます。

② 連動設定

外部接点入力端子（DI1、DI2、DI３）からトリガー設定（1 点、2 点、3 点）以上の接点入力があった場合、指定した接点出力ポート（DO1,2,3,4）から接点を出すことができます。

「使用しない」、「(1 点以上、2 点以上、3 点）入力の場合出力する」から設定できます。

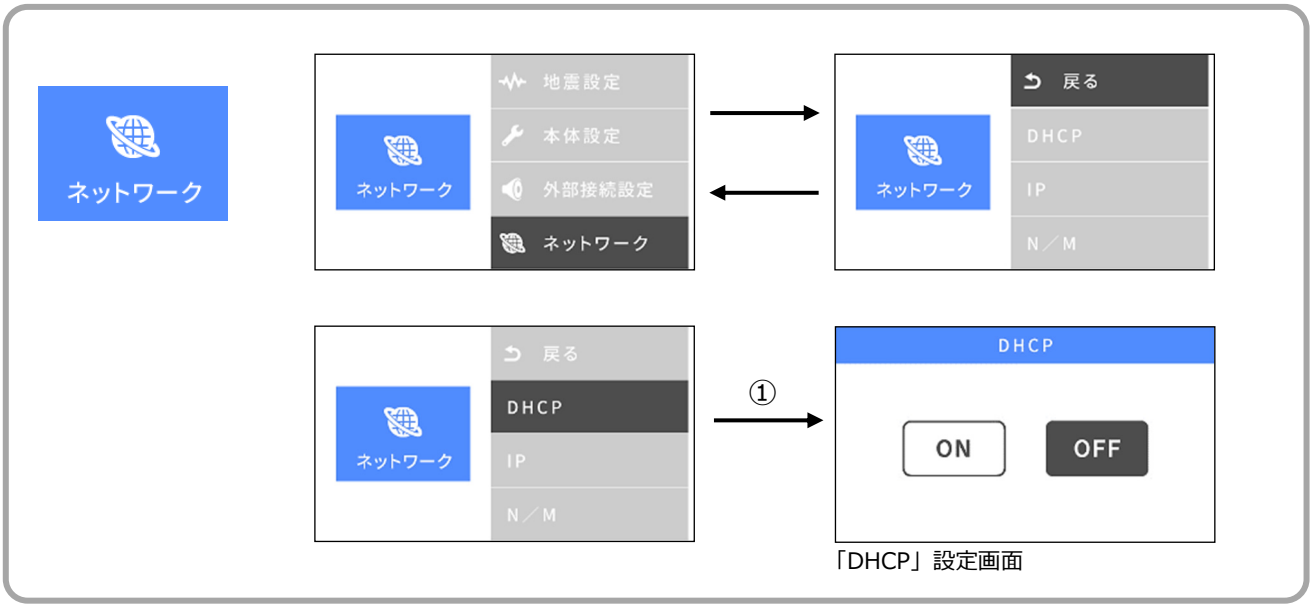
③ 接点出力

上記②DI 連動設定により、接点出力ポート（DO）を選択することができます。

「接点出力しない」、「(DO1、DO2、DO3、DO4）へ出力する」から設定できます。

4．ネットワーク設定

DHCP、固定 IP 設定画面に移動します。



「DHCP」設定画面

① DHCP 設定

本機器のネットワーク設定方法を設定します。

（ 固定 IP の設定方法については、P.20、P.72 参照 ）

ON	ネットワーク設定情報を自動取得します。
OFF	手動設定されたネットワーク情報を適用します。（固定IP設定対応）

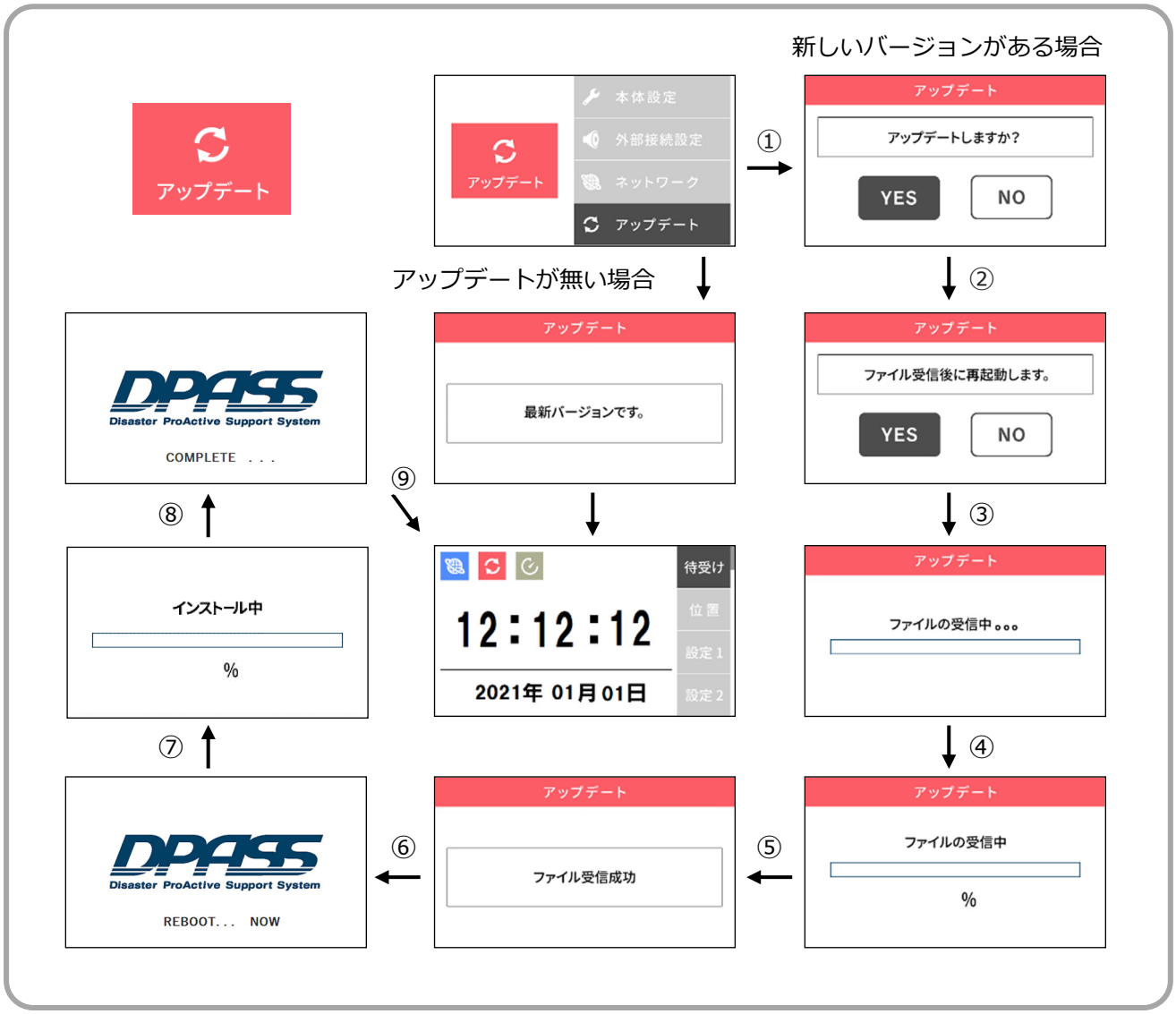
5．アップデート

本機器のアップデート確認画面に移動します。
バージョンアップは新しいバージョン情報があるときのみ実行が可能です。
アップデートする前の設定内容はそのまま維持します。

※アップデート時には機器が自動で再起動します。アップデート終了まで 2 分～3 分程度かかりますので、その間は緊急地震速報などの電文受信ができなくなり、報知することができません。
以上を確認の上、アップデートを行ってください。

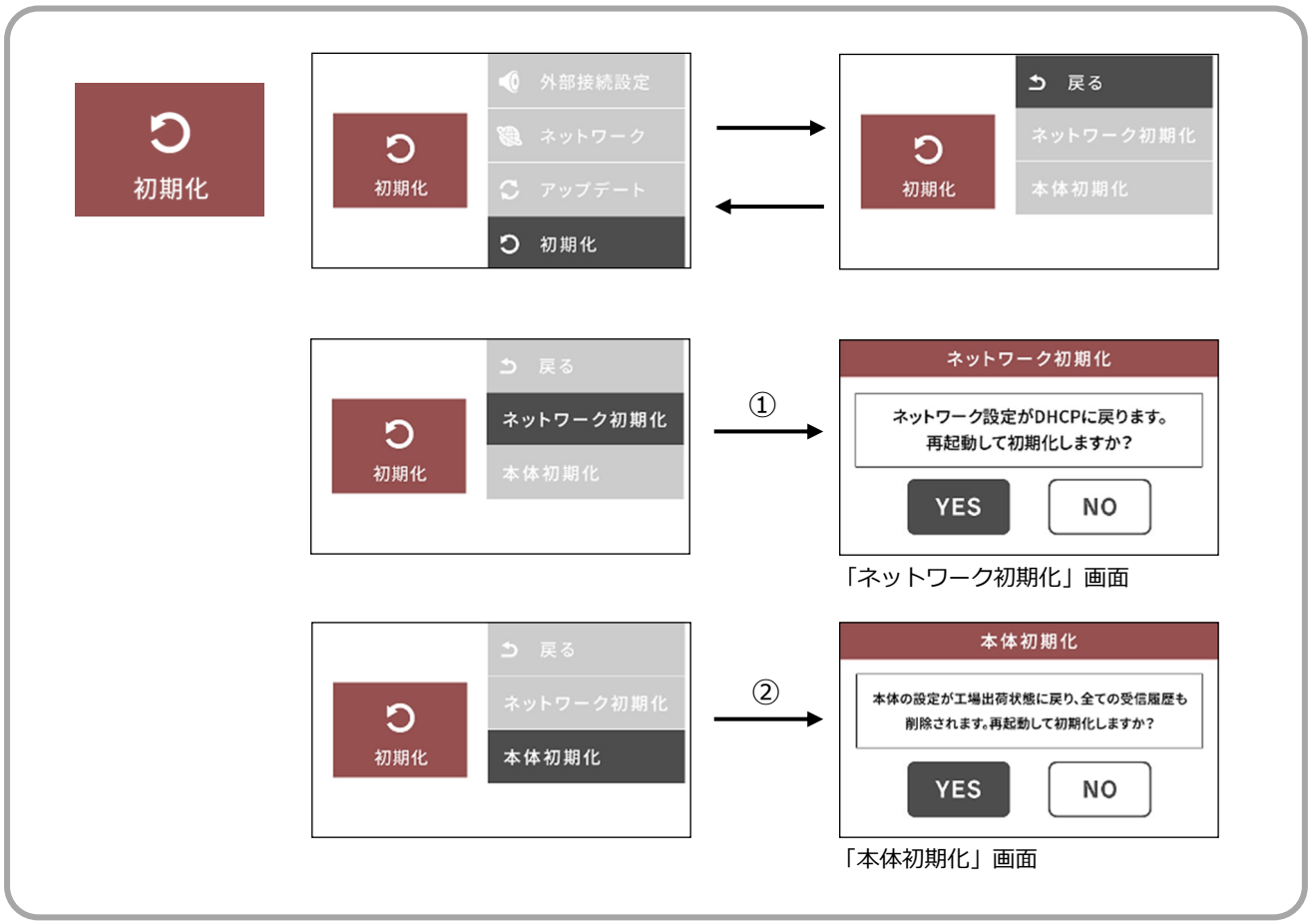
◆ アップデートの流れ

1）新しいバージョン情報の有無を、基本画面（時計画面）の左上で確認します。（P.38 参照）
2）新しいバージョン情報がある場合は のアイコンが赤色で表示されますので、◎決定ボタンを長押しして「設定画面」に移動し、「アップデート」を選択して◎決定ボタンを押してください。以降、下の図に従いアップデートを行ってください。
③以降は自動的に実行され、アップデート内容の適用後、基本画面（時計画面、待ち受け画面）に戻ります。



6．初期化

本機器のネットワーク、本体初期化画面に移動します。



① ネットワーク初期化

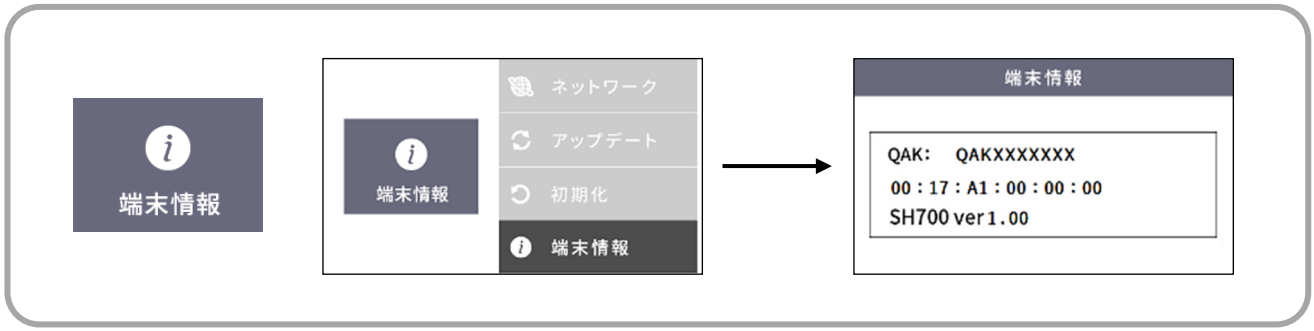
本機器のネットワーク設定を初期化をします。

② 本体初期化

本機器のネットワーク以外の設定を初期化します。

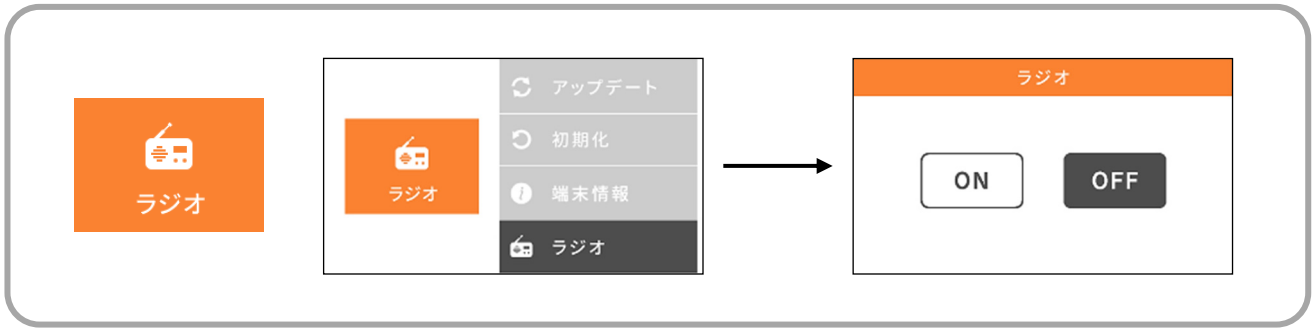
7．端末情報

本機器の識別 ID 番号、MAC アドレス、バージョン情報が表示されます。
本機器の識別 ID 番号（QAKXXXXXXX）、MAC アドレス、バージョン情報が確認できます。

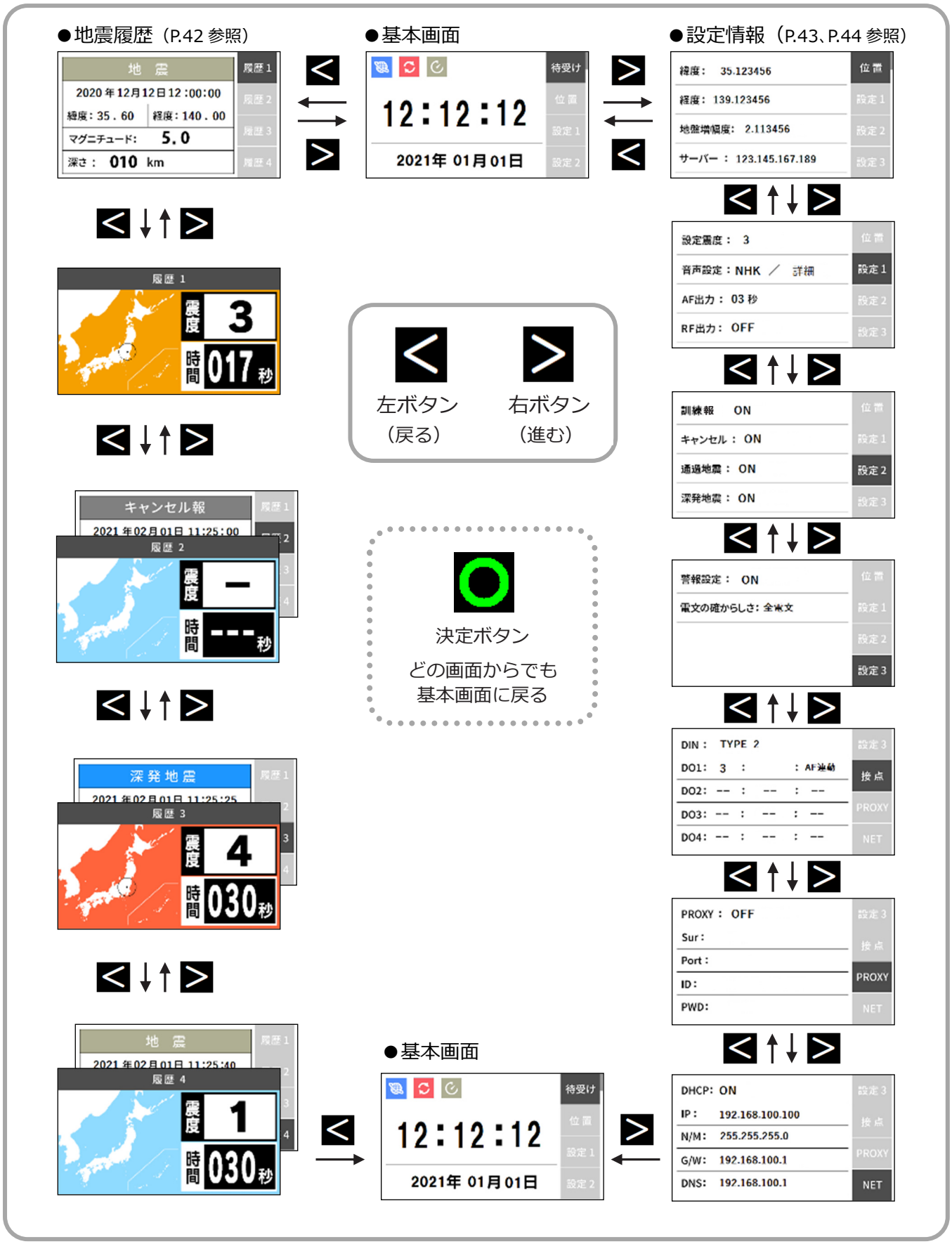


8．ラジオ

NHK ネットラジオ設定画面に移動します。（現在使用不可）

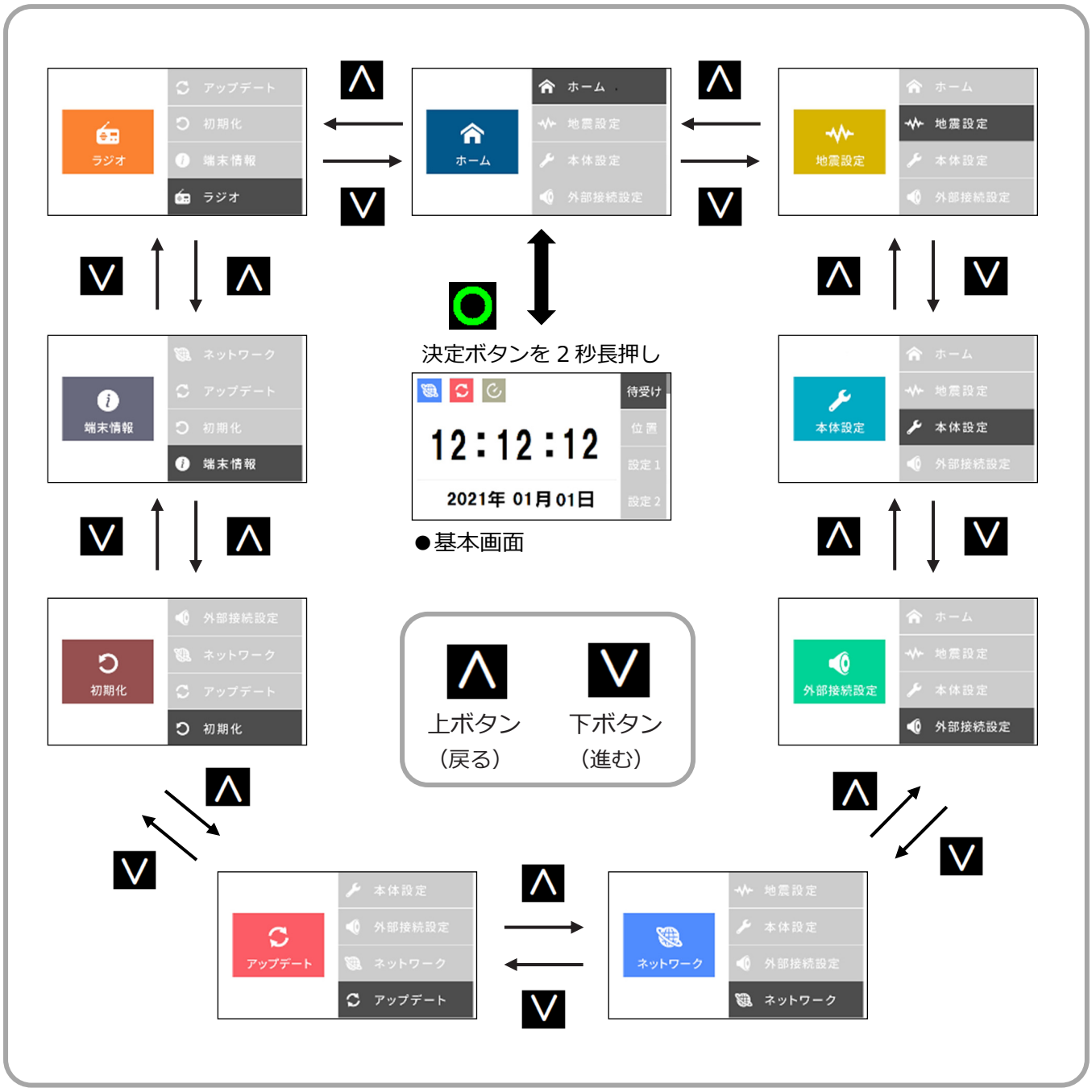


「地震履歴」&「設定情報」の参照操作の画面遷移図

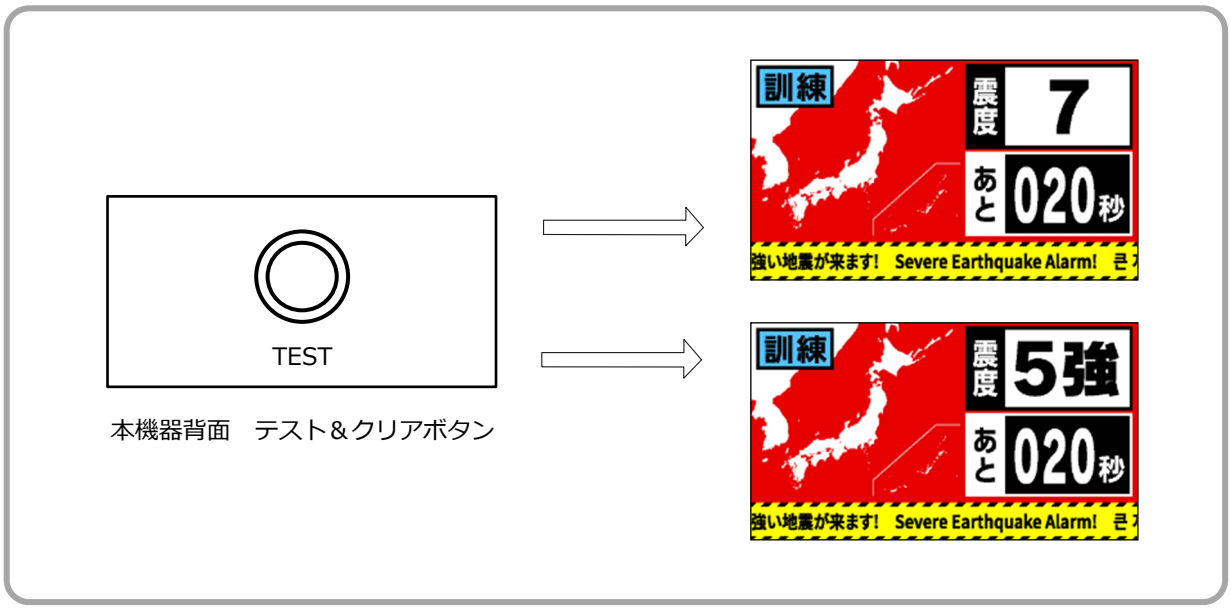


「設定画面」のメインメニューの遷移図

ボタンを 2 秒長押しすると設定画面のメインメニューに移動します。（P.46、P.47 参照）



「報知テスト」の操作



本機器背面のテスト＆クリアボタンを約２秒長押することにより、地震速報の報知テストが実行できます。一回目は震度 7、二回目は震度 5 強、三回目は震度 7 に戻り報知します。

報知テスト内容（※詳細表現選択時）

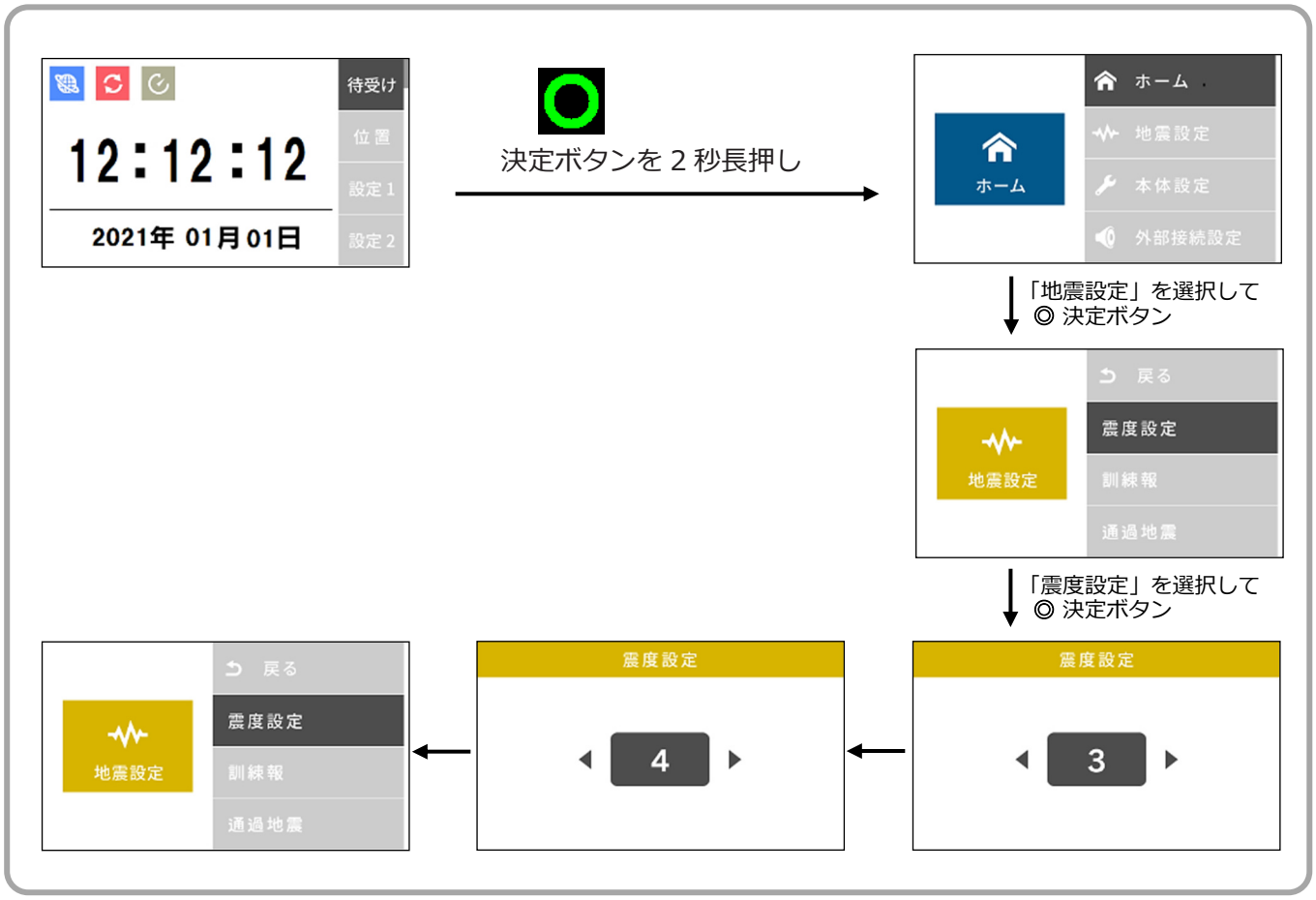
・「NHK チャイム 2 回　訓練です。震度 7、14 秒後　10、9、8、7、6、5、4、3、2、1 告知アナウンス…」

・「NHK チャイム 2 回　訓練です。震度 5 強、14 秒後　10、9、8、7、6、5、4、3、2、1 告知アナウンス…」

予測猶予時間は 20 秒ですが、冒頭音「チャイム」「訓練です」と、震度情報「震度Ｘ」報知の後、猶予時間 14 秒で報知しカウントダウンします。

※ 報知テスト中に地震速報を受信した場合は、地震速報を優先に報知動作を切り替えます。
※ 報知途中、再度テスト＆クリアボタンを長押しすると報知の停止ができます。
※ ウェブブラウザからもテストできます。（P.35 参照）

「報知震度」の設定



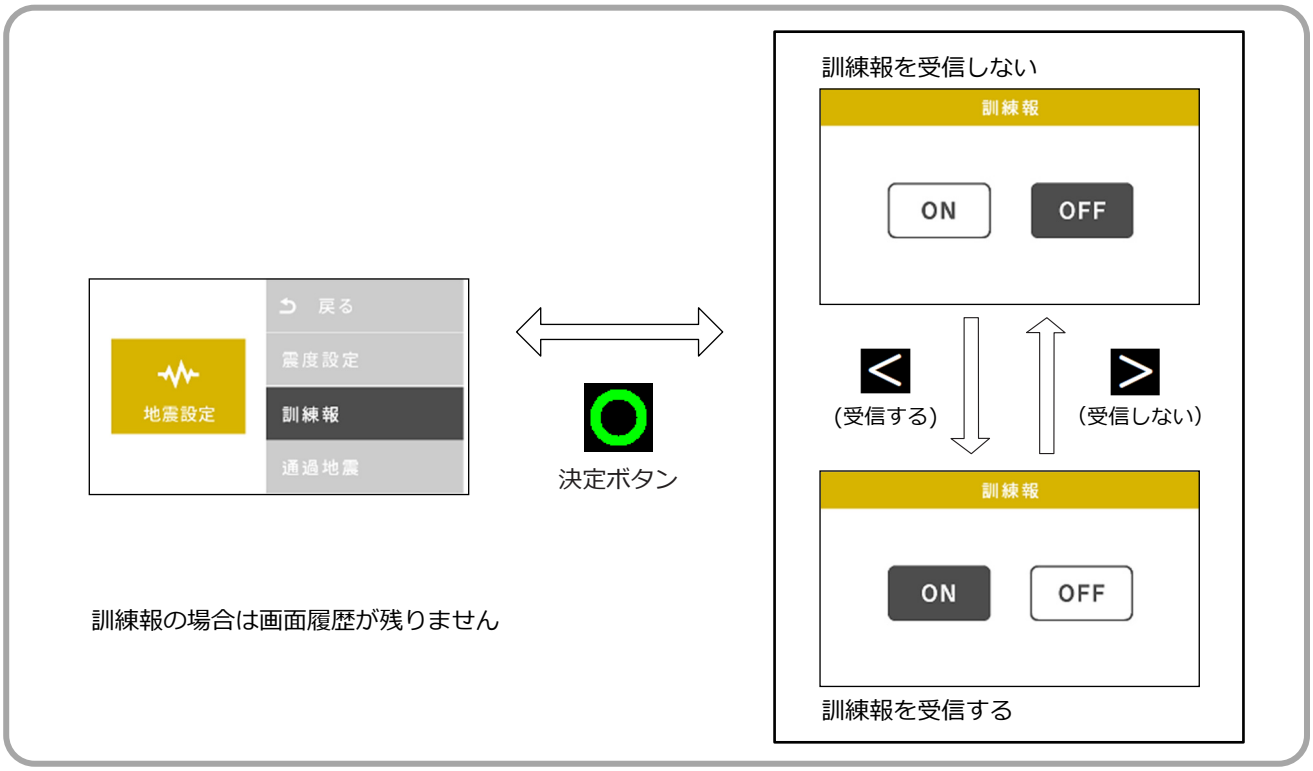
- 基本画面（時計画面）で◎決定ボタンを長押しし、「設定画面」に移動します。
- 「地震設定」を選択して◎決定ボタン、「震度設定」を選択して◎決定ボタンを押し、「震度設定」画面に入ります。

- 左 < ボタン、右 > ボタンで数値の上げ / 下げ をします。
  希望の数値に合わせた後、◎決定ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定」画面に戻ります。

- 報知震度は１～４、５弱、５強、６弱、６強、７から選択できます。

※ウェブブラウザからも設定できます。（P.18 参照）

「訓練報」の設定



- 緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかであり、その短い間に、あわてずに身を守るなど適切な行動をとるためには日ごろからの訓練が重要です。
  気象庁では、毎年 11 月 5 日津波防災の日頃に（※1）、訓練用の緊急地震速報（以下「訓練報」といいます。）を配信しますので、家庭や民間企業等の皆様は、受信端末で伝達される訓練報を見聞きすることにより、机の下に隠れるなど、身の安全を確保するための行動を試してください。この訓練では、全国的に受信端末を起動させる必要があることから、震源要素が異なる複数の訓練報を、短時間（10 数秒程度内）に連続して配信する計画です。
  お住まいの地域や受信端末の設定状況によっては、受信端末が複数回動作することがあります。訓練報を受信した際に、お持ちの受信端末がどのように動作するかについては、弊社までお問い合わせください。
  ※1…訓練報の実施日は、その年の 10 月初旬頃までに気象庁が決定しますが、地震の発生状況等により、訓練用緊急地震速報の配信を中止する場合があります。

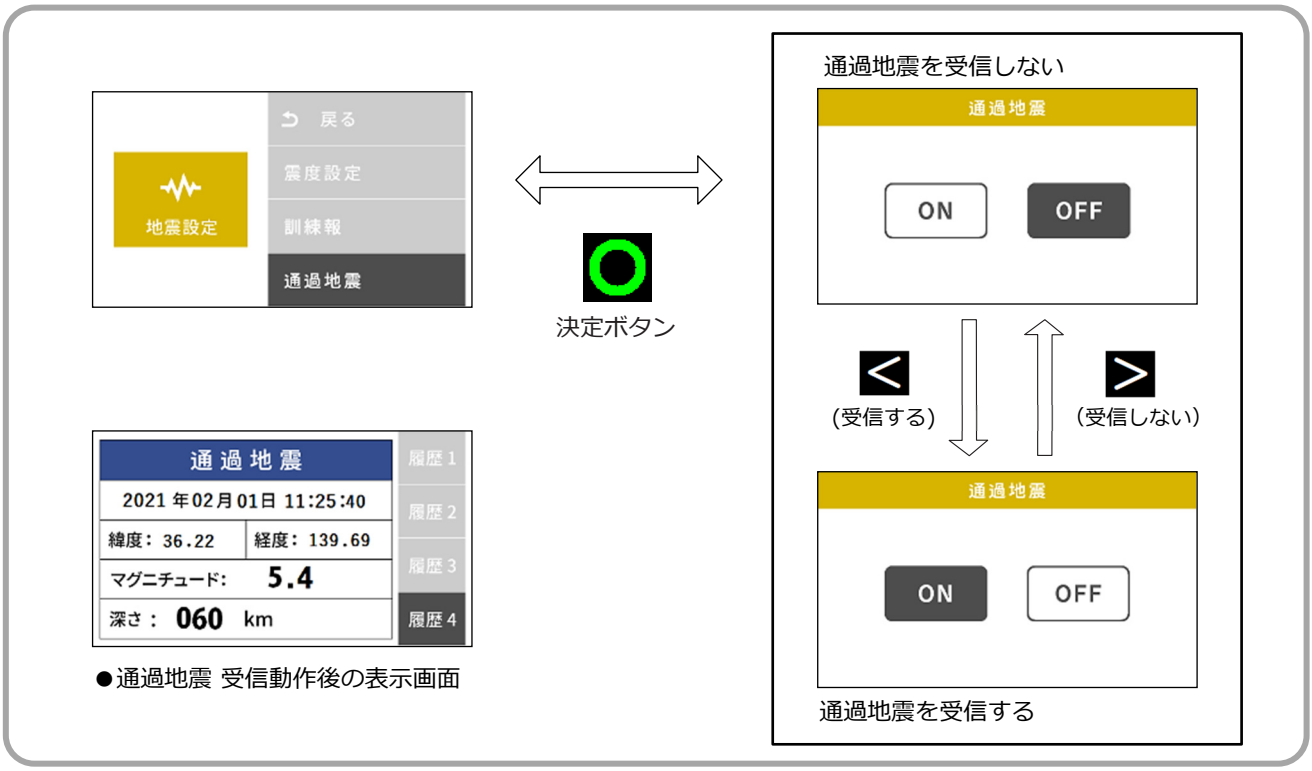
- 「地震設定」画面で「訓練報」を選択して◎決定ボタンを押し、「訓練報」の選択画面に入ります。

- 左 < ボタン、右 > ボタンで ON / OFF の選択をします。
  希望の設定に合わせた後、◎決定ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定」画面に戻ります。

- 訓練報を「ON」に設定した場合は、気象庁の訓練報、及び配信事業者からの配信テストに対して動作し、予測演算結果が設定震度以上になった場合「訓練です。震度Ｘ、ＳＳ秒後」（詳細表現選択時）と報知します。「OFF」に設定した場合は、訓練報、及び配信テストに対して動作しません。

※ウェブブラウザからも設定できます。（P.18 参照）

「通過地震」の設定



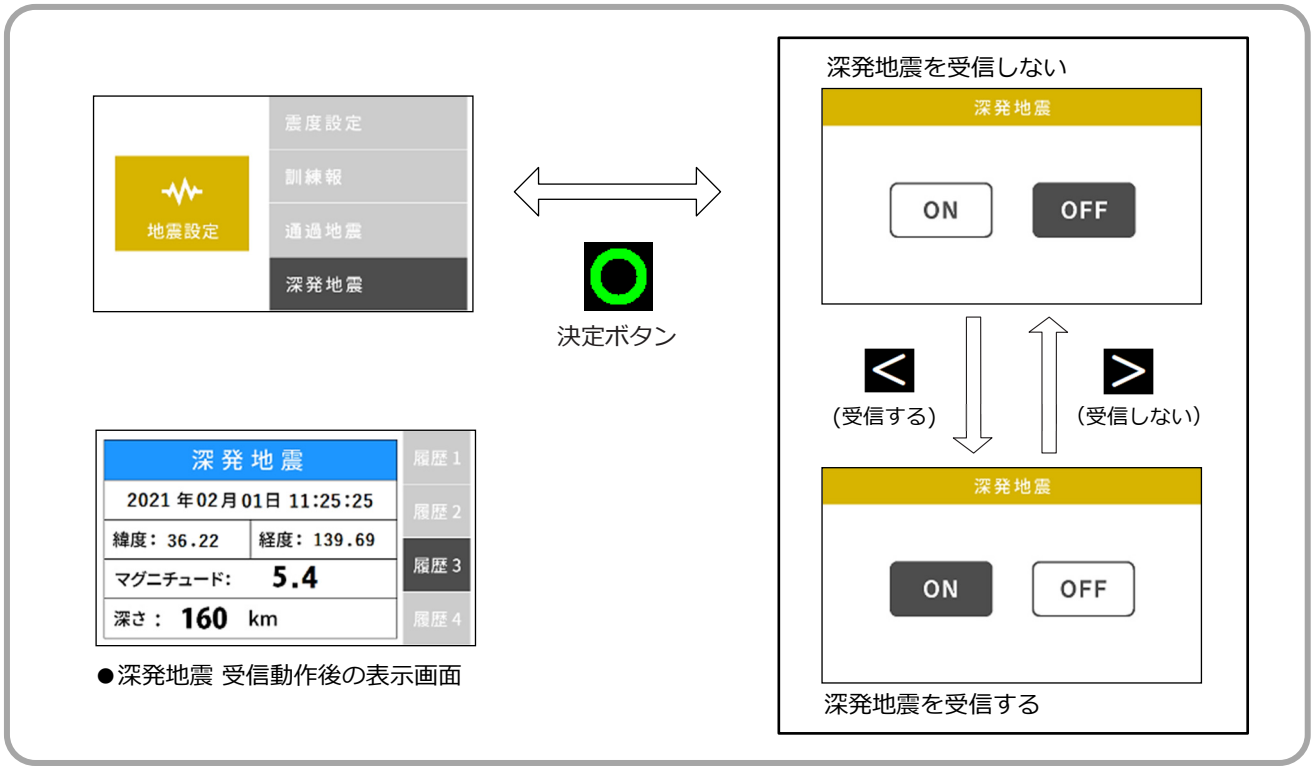
- 「地震設定」画面で「通過地震」を選択して◎決定ボタンを押し、「通過地震」の選択画面に入ります。

- 左 < ボタン、右 > ボタンで ON / OFF の選択をします。
  希望の設定に合わせた後、◎決定ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定」画面に戻ります。

- 通過地震は、地震到達猶予時間が無い（予報が間に合わない）場合（－10 秒の範囲まで）でも報知動作させたいときに「ON」にします。猶予秒数が 0 ～－10 秒の場合の報知内容は、詳細表現選択時「地震 震度 X…）となります。
- 通過地震を「OFF」選択時は、猶予秒数が－1 秒以下の場合は機器は報知動作しません。
- 通過地震を「ON」選択時でも、猶予秒数が－11 秒以下の場合は機器は報知動作しません。

※ウェブブラウザからも設定できます。（P.18 参照）

「深発地震」の設定



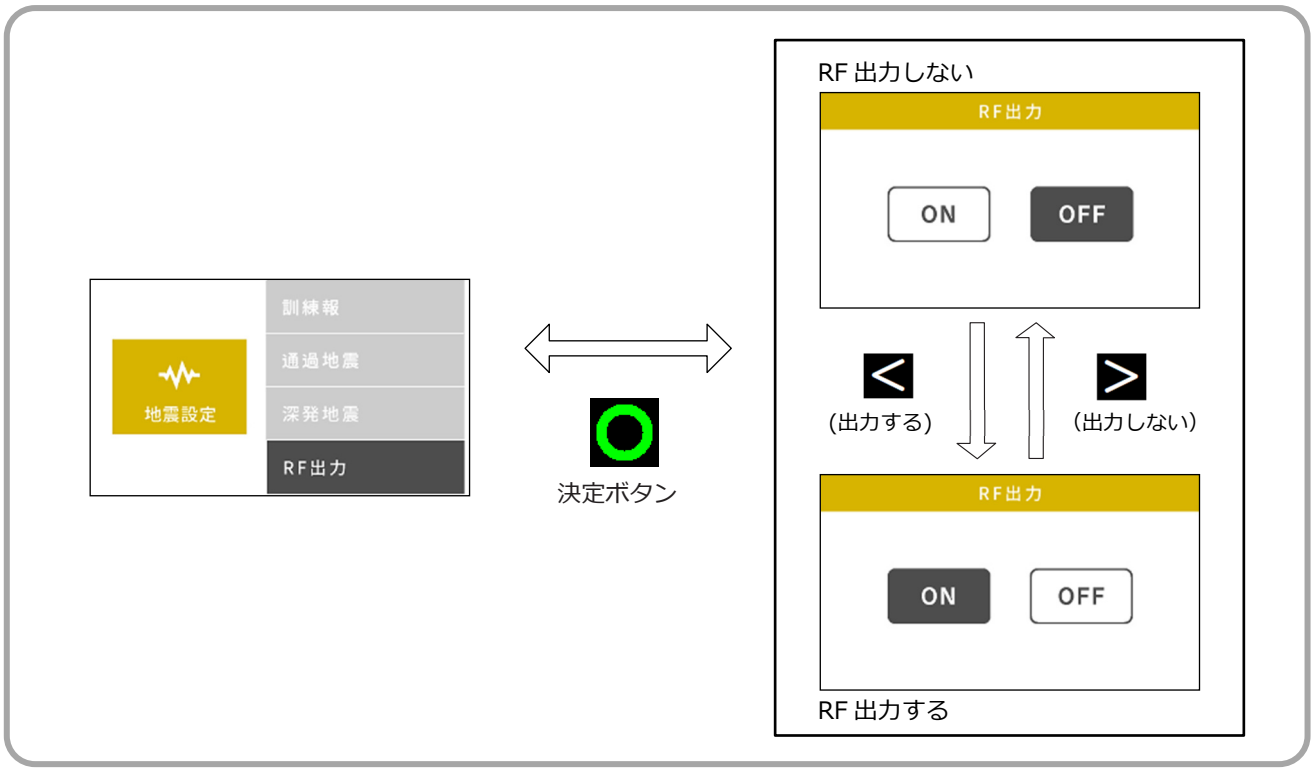
- 「地震設定」画面で「深発地震」を選択して◎決定ボタンを押し、「深発地震」の選択画面に入ります。

- 左 < ボタン、右 > ボタンで ON / OFF の選択をします。
  希望の設定に合わせた後、◎決定ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定」画面に戻ります。

- 深発地震は、震源の深さが 150km よりも深い場合、震度、及び地震到達猶予時間の予測演算結果に大きな誤差を含む可能性が高くなります。
- 深発地震「ON」に設定した場合は、震源の深さに関係なく動作します。「OFF」に設定した場合は、震源の深さが 0～150km の地震に対して動作し 150km を超える深さの地震に対しては動作しません。

※ウェブブラウザからも設定できます。(P.18 参照)

■ 子機への送信設定（「RF」の設定）



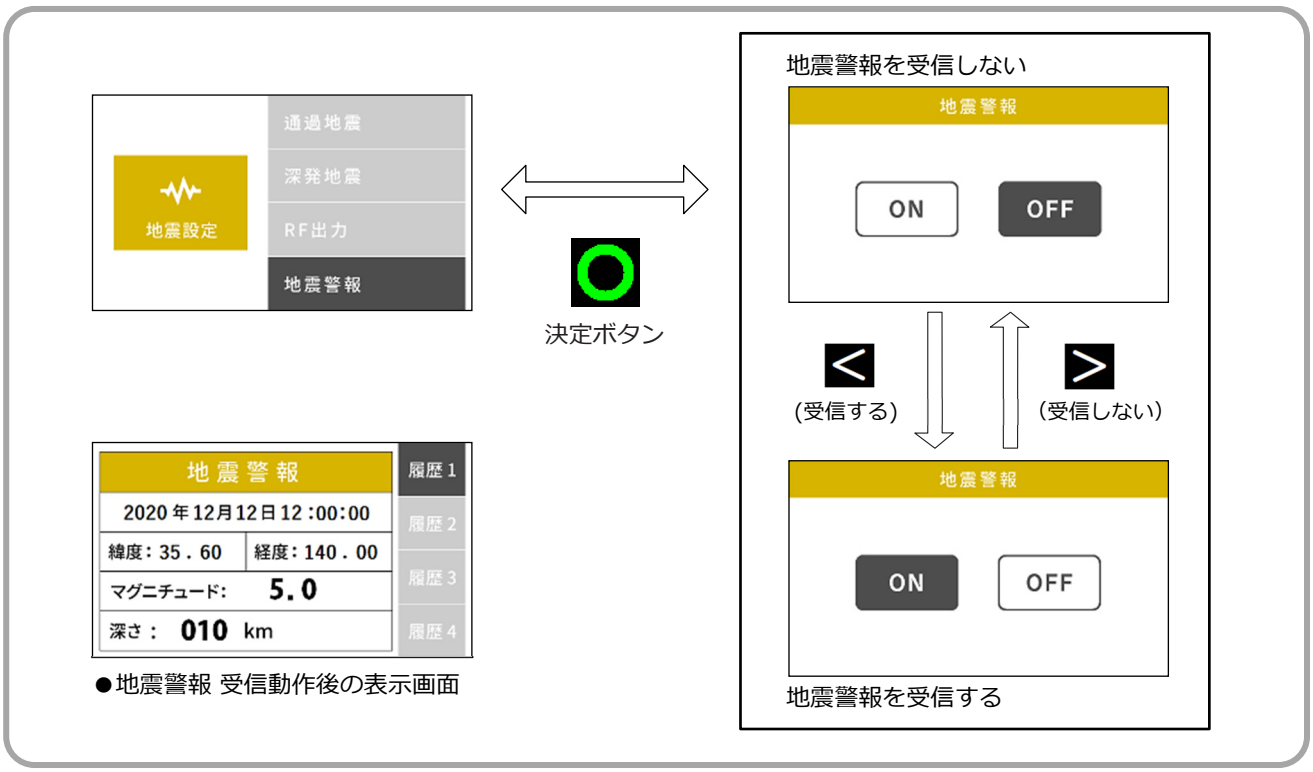
- 「地震設定」画面で「RF 出力」を選択して◎決定ボタンを押し、「RF 出力」の選択画面に入ります。

- 左 < ボタン、右 > ボタンで ON / OFF の選択をします。
  希望の設定に合わせた後、◎決定ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定」画面に戻ります。

- 子機（オプション）を使用する場合は、必ず「ON」に設定してください。（P.75 参照）

※ウェブブラウザからも設定できます。（P.18 参照）

「地震警報」の設定



- 「地震設定」画面で「地震警報」を選択して◎決定ボタンを押し、「地震警報」の選択画面に入ります。

- 左 < ボタン、右 > ボタンで ON / OFF の選択をします。
  希望の設定に合わせた後、◎決定ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定」画面に戻ります。

- 端末設置場所に気象庁から地震警報が発表された場合に、地震警報を報知する機能です。
  「ON」に設定した場合に地震警報を受信すると、本機器の報知震度（P.48 参照）、地震出力レベル（P.54 参照）にかかわらず本体が報知動作を行い、接点出力、及び AF 出力されます。

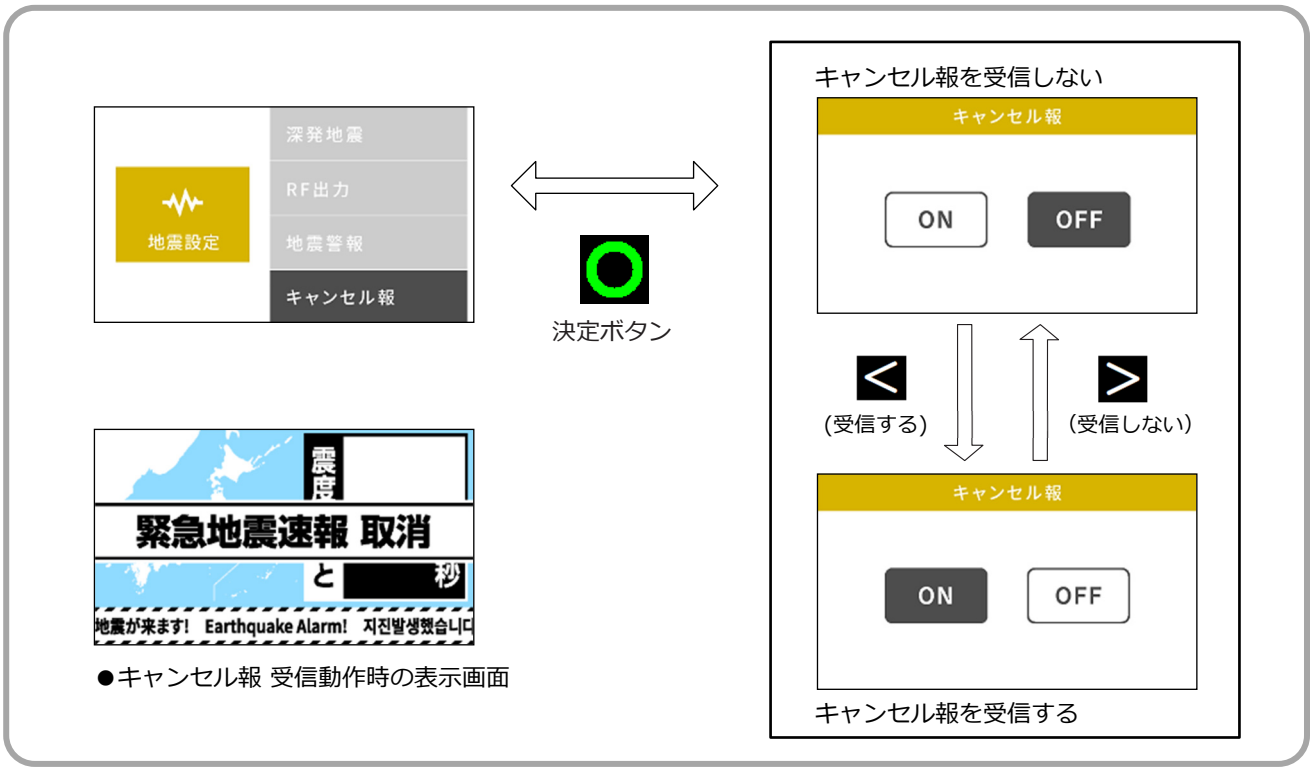
  ※ ご利用者様は「受信する / 受信しない」のみ設定できます。ウェブブラウザからも設定できます。（P.18 参照）
  ※ 地震警報区域の設定は、ユーザー登録用紙のお客様住所（市 / 都/ 区/ 町）情報に基づき、弊社、または配信事業者で設定を行います。

地震警報（緊急地震速報（警報））とは

「震度５弱以上または長周期地震動階級３以上（※1）」が予想される地震で、「震度４以上または長周期地震動階級３以上」が予想される地域がある区域（※2）に対して発表されます。

※1…長周期地震動とは、大きな地震で生じる、周期（揺れが１往復するのにかかる時間）が長い大きな揺れのこと。詳しくは気象庁ホームページを参照してください。
※2…気象庁は、複数の市町村を一つの区域とし、全国を約 200 に区分けしています。同じ区域内であっても、予測震度４の地域もあれば、予測震度２の地域もある場合があります。

「キャンセル報」の設定



- 「地震設定」画面で「キャンセル報」を選択して◎決定ボタンを押し、「キャンセル報」の選択画面に入ります。

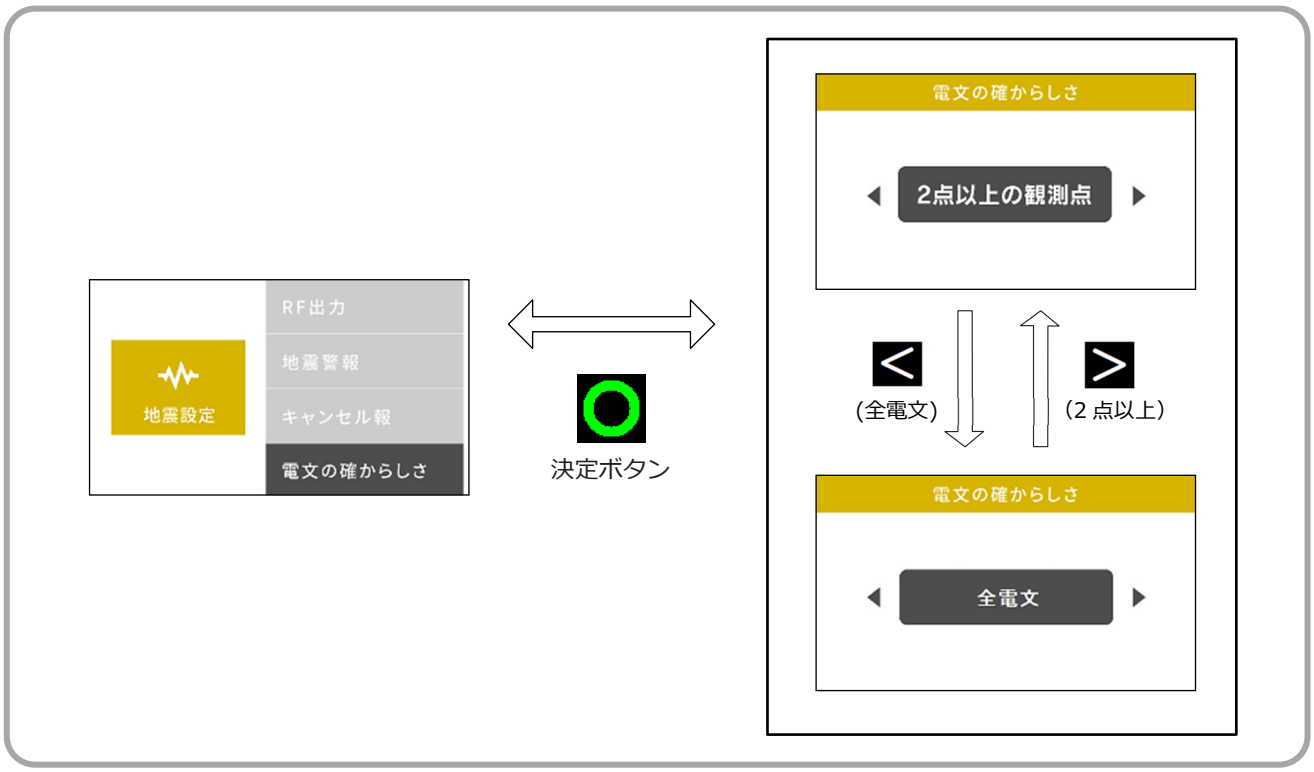
- 左 < ボタン、右 > ボタンで ON / OFF の選択をします。
  希望の設定に合わせた後、◎決定ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定」画面に戻ります。

- キャンセル報を「ON」に設定した場合は、直前に報知動作した緊急地震速報の ID と一致したキャンセル報に対して反応し、機器より「取り消します。先ほどの地震速報は誤報です。」という音声で報知動作します。「OFF」に設定した場合は、キャンセル報に対して動作しません。
- このキャンセル報を受信した際には、直前の緊急地震速報(予報)が誤りだったと理解していただき、落ち着いた行動をとっていただきますようお願いいたします。

※ 1 点の観測点のみの処理結果によって緊急地震速報（予報）を発信した後、所定の時間が経過しても 2 観測点目の処理が行われなかった場合はノイズと判断し、発表から数秒～10 数秒程度でキャンセル報を発信します。島嶼部など観測点密度の低い地域では、実際の地震であってもキャンセル報を発信する場合があります。なお、この場合には、キャンセル報の発信までに 30 秒程度がかかることがあります。

※ウェブブラウザからも設定できます。（P.18 参照）

「電文の確からしさ」の設定



- 「地震設定」画面で「電文の確からしさ」を選択して◎決定ボタンを押し、「電文の確からしさ」の選択画面に入ります。

- 左 < ボタン、右 > ボタンで 全電文 / 2 点以上の観測点 の選択をします。
  希望の設定に合わせた後、◎決定ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定」画面に戻ります。

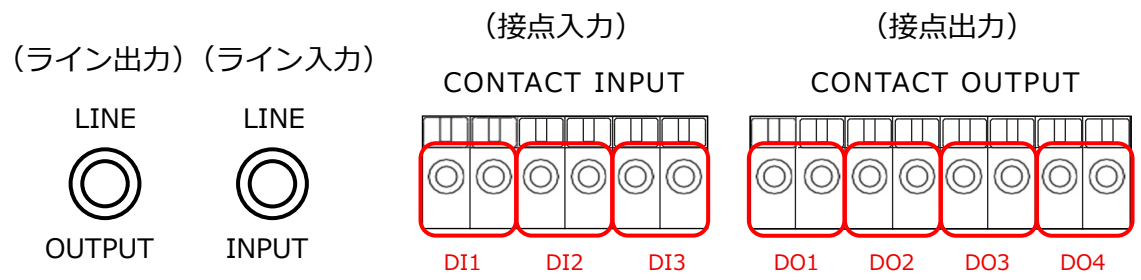
※全電文、2 点以上の観測点についての詳細は、P.51 をご参照ください。
※ウェブブラウザからも設定できます。（P.18 参照）

固定 IP 設定（DHCP OFF）

・DHCP（IP 自動取得）「OFF」にすると、ネットワーク情報（IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、DNS）の入力が可能になります。
※ウェブブラウザからも設定できます。（P.20 参照）

・左 ＜ ボタン、右 ＞ ボタンで移動しながら数字を選択し、IP / NM / GW / DNS を入力します。入力後、YES を選択して◎決定ボタンを押すと入力情報を保存し自動的に再起動します。

外部接続端子について



※DO/DI の端子はスクリューレスプッシュ式ですので、接続の際には電線の被覆剥いてそのまま挿入してください。最後まで入らない場合は、各端子のボタンを軽く押して挿入してください。
※無電圧ループ接点です。定格電圧（38V）を超える電圧は与えないでください。故障の原因となります。
※接続可能電線は CPEV 等 0.5～1.2 ㎜径程度（単線推奨）です。電線被覆剥きしろは 8～9mm です。

◆出力

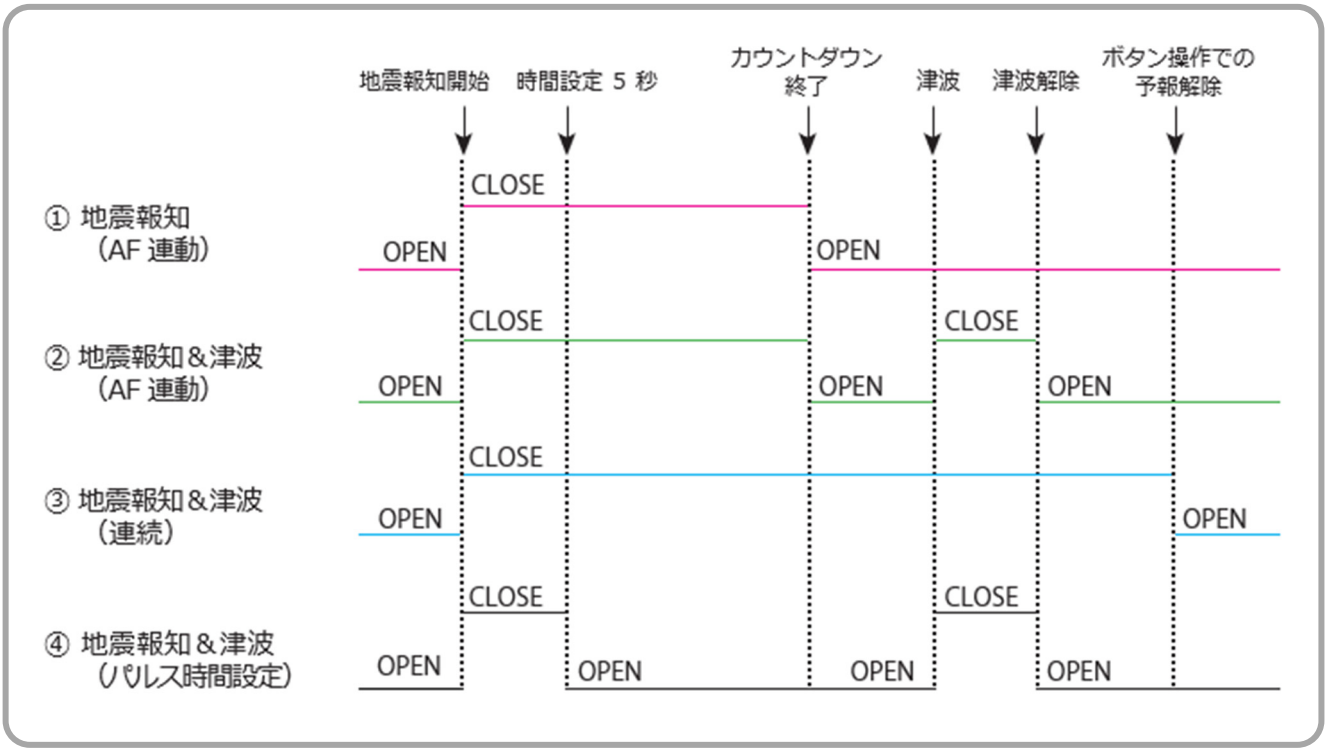
・接点出力端子 CONTACT OUTPUT（DO1/2/3/4）は、4 チャンネル 無電圧ループ出力です。
DO1/ 2 / 3 は A 接点、DO 4 は B 接点です。
誘導性負荷（モーターや機械式リレーなど）を直接接続する場合は、十分な逆起電力対策サージ吸収対策を講じてください。接点抵抗値は、OPEN 時は 600MΩ 以上、CLOSE 時は 0.7Ω 以下です。
[接点容量] 定格電圧：38V　最大電圧：60V　定格電流：1000mA　最大電流：1000mA

・接点端子の動作タイミングは報知震度設定・ディレー・AF 連動・連続・時間設定・津波など設定により開始タイミング、終了タイミング設定ができます。
（P.74 のタイミングチャートをご参照ください。）
※ 連続の場合は、地震報知後に解除（ボタン解除・気象庁からの誤報報知）するまで ON（A 接点：CLOSE、B 接点：OPEN）のまま継続します。

◆入力

・接点入力端子 CONTACT INPUT（DI 1/2/3）は、3 チャンネル 無電圧ループ A 接点入力です。
外部機器からの入力信号を本機器に入力します。震度計や外部機器との連動に利用できますが、ご利用になる場合は必ず弊社までご連絡ください。

・OPEN 時は 3.6V～4.0V の電圧が出ています。CLOSE 時の出力電圧は 5V、出力電流は 5mA です。
接続回路の抵抗は 50Ω 以下に収まるようにしてください。



外部接続端子出力タイミングチャート

■ 定期点検

本製品は常に安定稼動させるために、定期点検を行ってください。

◆日常の点検

本製品のディスプレイ「基本画面の表示内容（P.38）」で、以下の点を確認してください。

1.「時計」が正しく表示されていること。
2.「ネットワーク通信状態」が「青い地球マーク」になっていること。
3. 子機を併用している場合は、報知テスト（P.35、P.63 参照）を行い、子機から音声が適切な音量で聞こえること。

上記にかかわらず、本製品に異常が見られた場合は、ただちに弊社、または購入された販売店までご連絡ください。

◆訓練による点検

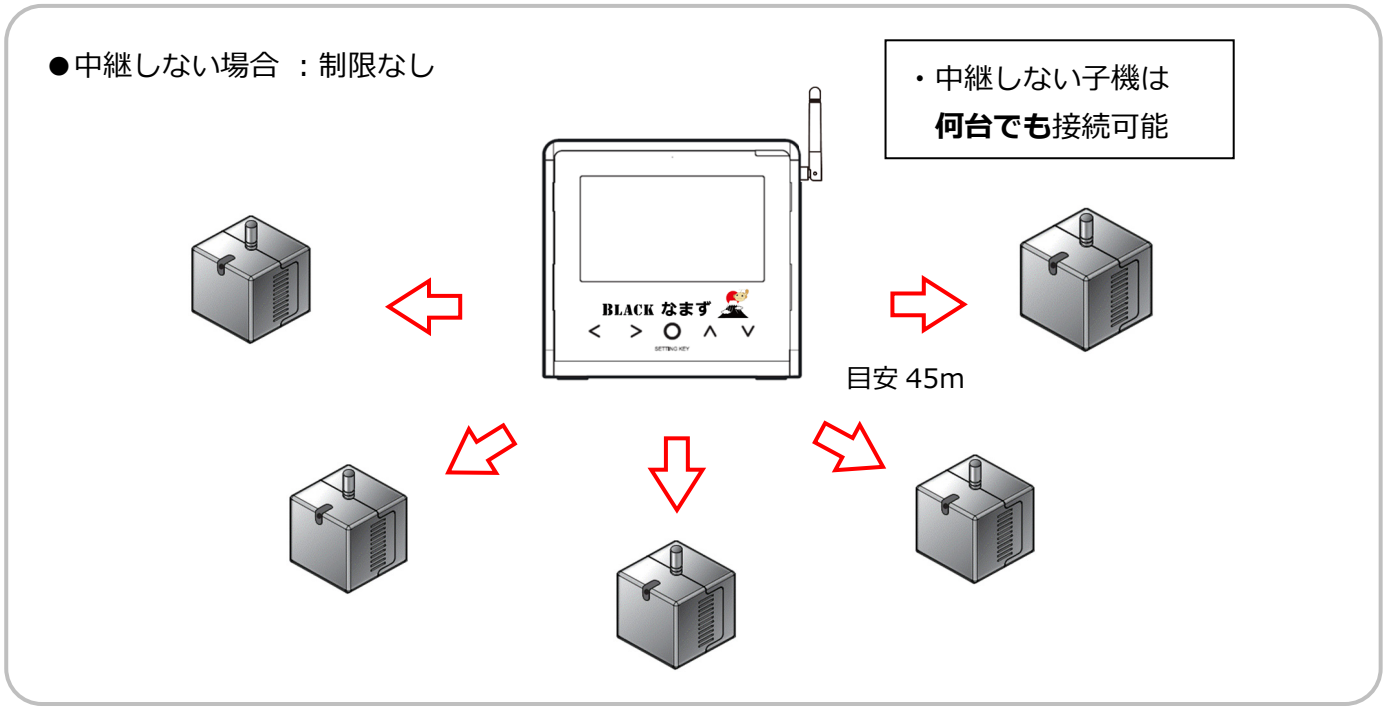
本製品の内部で使用している部品の劣化や寿命などを点検するために、最低でも 1 年に 1 回は本体による報知テストを行ってください。（P.63 参照）

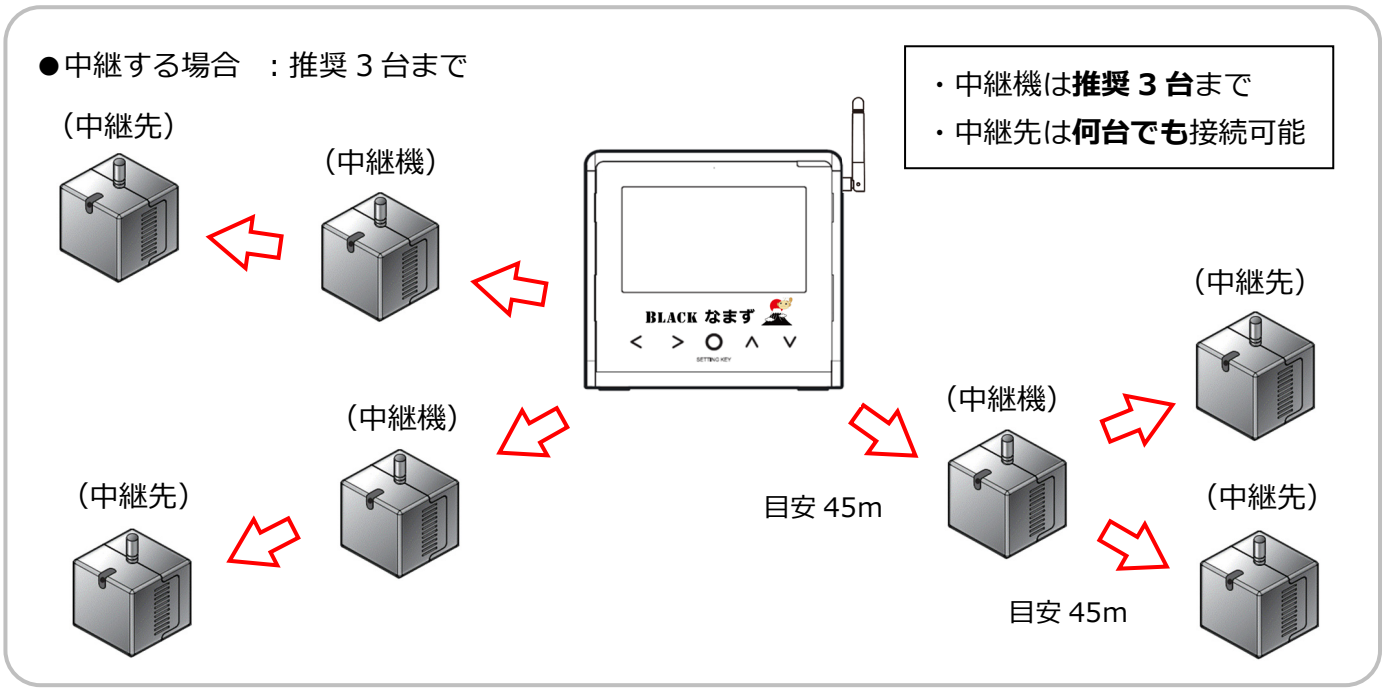
7 子機（オプション）

■ BLACK なまず 子機　型番：DN-KOKI700

オプションの子機を使用することにより、本体から離れている場所（部屋）でも、発報アナウンスを聞くことができます。（P.68 参照）
また、１台目の子機を中継機として、更に離れた場所に子機を配置することが可能です。
電波到達距離は、直線距離で目安 45mです。設置環境により短くなる場合があります。
本体のアンテナの向きにより、電波の受信感度が変わる場合があります。
詳細は弊社までお問い合わせください。

◆接続可能な子機の台数





8 仕様

仕様書

BLACK なまず 本体　DN-SH700J　製品仕様			
品名			BLACKなまず
型番			DN-SH700J
本体外形寸法			幅155mm×高さ144mm×奥行156mm (突起部除く)
重量			0.56Kg
電源電圧			DC5V ACアダプター使用(出力：DC5V、3000mA以上)
消費電力			待受 2.9W 最大 6.4W
温湿度条件（結露なきこと）			操作時：0～40℃　非動作時：-10～60℃　湿度：10～80%RH
電文受信方式			IPv4インターネット常時接続環境でのTCP/IP方式
出力	外部制御出力	(DO 1/2/3/4)	無電圧ループ接点出力（DO1～3：A接点、DO4：B接点）
			定格電圧：38V、最大ピーク電圧：60V
			定格電流：1000mA、最大ピーク電流：1000mA
	内蔵音声出力	(SPEAKER)	2W
	外部音声出力	(LINE OUT)	RCA-MONO、出力電圧(最大)：800mVp-p(＋5dBm)、 出力インピーダンス：100KΩ不平衡
	信号出力	(DEBUG)	TTLレベル、多段接続時の信号出力
	HDMI出力	(HDMI)	HDMI1.4
入力	電源	(DC IN)	AC100V (50/60Hz) DC5V-3000mA
	外部音声入力	(LINE IN)	RCA-MONO、入力電圧(最大)：800mVp-p、 入力インピーダンス：100KΩ不平衡
	ネットワーク	(RJ-45)	10/100Base-T
			配信サーバーとの通信ポート：80・9001　LAN⇒WAN開放
	外部接点入力	(DI1/2/3)	電圧ループ接点出力に対応 出力電圧：5V、出力電流：5mA
表示 / 操作音	LCD 部	(INFORMATION)	端末設定情報、及び電文受信内容他を表示
	赤 LED	(POWER)	電源供給状態、及びハードウェア接続状態の確認
	緑 LED	(STATUS)	ネットワーク接続状態、及び電文受信の確認
	ブザー		ボタンの操作確認音
接続コネクター	電源		外径：6mm、内径：2mm
	LINE OUT		RCA ピンジャック
	LINE IN		RCA ピンジャック
	HDMI出力		出力解像度1920×1080
	DO		スクリューレス 3.5mm ピッチ
	DI		スクリューレス 3.5mm ピッチ

BLACK なまず　DN-SH700J　　機能仕様	
通信障害　遠隔監視 （メール・電話連絡）	24 時間　配信サーバーと本体の通信障害を遠隔監視 連続 10 分以上切断の時、メールで随時連絡 連続 15 分以上切断の時、電話で随時連絡 ※メール及び電話での連絡は、弊社営業時間内で対応
発報震度レベル設定	気象庁震度階級　1～7 の間で設定 ※外部制御出力 DO に限り、キャンセル報での動作選択も可能
発報表現設定	詳細・曖昧 1（カウントダウン有）・曖昧 2（カウントダウン無）
発報履歴の管理	本体ボタン操作から、過去 9 件 （震源地・端末発報内容が本体から確認可能） WEB 画面から、過去 3 年分の受信履歴確認可能
地震の確からしさ（告知精度選択）	1 点観測、2 点以上観測によるテリトリー法告知レベルの設定が可能
訓練報受信（する・しない）設定	本体ボタン操作及び WEB 画面から設定が可能
キャンセル報受信（する・しない）設定	本体ボタン操作及び WEB 画面から設定が可能
通過地震の受信（する・しない）設定	本体ボタン操作及び WEB 画面から設定が可能 通過地震- 10 秒まで対象
深発地震の受信（する・しない）設定	本体ボタン操作及び WEB 画面から設定が可能
RF 出力（する・しない）設定	本体ボタン操作及び WEB 画面から設定が可能　子機連動時に設定
端末動作確認テスト	本体ボタン操作から、震度レベル 2 段階（7→5 強→7→5 強　ループします）　猶予時間 20 秒固定にてテスト配信可能 WEB 画面から、詳細テスト条件設定可能
固定 IP の設定	本体ボタン操作及び WEB 画面から設定が可能
プロキシ接続の設定	WEB 画面から設定が可能（SOCKS4／SOCKS5）
告知アナウンス設定機能	カウントダウン 0 後、注意喚起・避難誘導音声の設定可能
津波注意報・警報受信機能	津波注意報・警報　受信可否設定が可能　受信地域の設定可能
端末動作停止機能	7 曜日指定　0～23 時（00 分固定）
LINE OUT ディレー機能	0 秒～10 秒　選択可能
外部制御出力 設定機能	ディレー：無し・100～900 ミリ秒・1～10 秒 出力時間：無し・200～900 ミリ秒・1～60 秒・ 2 分・3 分・4 分・5 分・連続・音声連動 出力方式：発報時出力・発報後出力
音声スルー・音声切換機能	通常時：LINE IN 音声を LINE OUT へスルーパスする機能 発報時：LINE IN 音声を遮断し警報音声に切換え 発報動作が終了すると通常時に戻る
時報機能	時報サウンド 4 種　0～23 時（00 分固定）
バージョンアップ機能	本体ボタン操作及び WEB 画面からバージョンアップ可能

※緊急地震速報配信業者：株式会社ドリームウェア（地震動の予報業務許可事業者 許可第 148 号）

9 困ったときは

トラブルシューティング

電源を入れても画面に何も表示されません。	1．本体正面の右側の電源ランプ（PWR：赤）が点灯しているかお確かめください。 2．本機器付属のACアダプターかお確かめください。 ※ ACアダプターはAC100Ｖ、50/60Hz専用です。 ※ 変圧機等を使用している場合、その機器の仕様をもう一度お確かめください。
本体のSTATUSランプ及びディスプレイがＯＮ/ＯＦＦを繰り返します。	本機器はSTATUSランプを点滅させることによって異常が発生していることをお伝えします。サーバーとの通信ができない場合、約30秒単位で通信リトライを行い、10分経過しますと自動的に再起動をします。接続できるまで通信リトライと再起動を繰り返します。 ネットワークエラーによるサーバーと通信できない時間が110時間続き、本機器が休止状態になった場合は、弊社までご連絡ください。 ●サーバーとの接続ができないときは以下を確認 ・ネットワーク環境（ルーター、LANケーブルなどの接続状態・設定内容など） ・セキュリティポート・ポリシー ・IPアドレス
ディスプレイ画面のネットワーク通信状態（地球マーク）が赤のままです。	本機器はお客様のご使用のネットワーク環境からプロバイダーの通信回線を経由して弊社のサーバーへ接続されます。時により不具合が生じることでネットワーク通信状態（地球マーク）が赤になるときがあります。 1．電源を入れ直してその変化をお確かめください。 2．LAN ケーブルが正しく接続されているかお確かめください。 3．ハブ、ルーター、インターネットプロバイダーの設定をお確かめください。 4．使用しているネットワーク機器（ルーター、ハブ）の電源を入れ直してください。 5．ルーターセキュリティ設定のTCP「80・9001」ポートの制限を許可してください。 6．パソコンやネットワーク機器が機器と同じIPアドレスを使っていないかお確かめください。 7．回線業者（プロバイダー）からのメンテナンスなど回線障害があった場合、ルーターの再起動が必要なケースもあります。
パソコンから本機器のウェブブラウザにログインできません。	1．ログイン画面が表示されない場合 入力したIPアドレスと機器のIPアドレスが一致しているかお確かめください。 2．ログイン画面からログインができない場合 入力しているパスワードが正しいかどうかお確かめください。 出荷時のパスワードは「admin」となります。

ボタンの操作ができません	1．報知後は、地震受信画面のままでは機器の操作は一切できません。報知の内容を確認後、テスト＆クリアボタンを押して基本画面に戻してください。 2．地震予報が報知している最中はボタンの操作はできません。 3．本機器に電源を入れて基本画面が出てくるまで操作はできません。 4．サーバーとの通信ができない状態が約10分続くと、自動的に再起動しますが、この時にもボタンの操作ができなくなります。
画面の文字が見えません	本体の電源を入れ直してください。 復旧しない場合は、弊社までお問い合わせください。
その他	その他の疑問点や本機器の不具合がありましたら、弊社までお問い合わせください。 ※お問い合わせの際には、必ずお客様が使用している本機器の識別ID（QAKから始まる10桁の英数字）をお伝えください。
修理の受付	本機器の不具合等による交換を希望の方は、ご連絡いただく前に、設置方法や設定等が正しいか再度ご確認ください。正しく設置や設定を行っているにもかかわらず不具合が改善されない場合は、弊社までご連絡ください。 ●保証期間中の場合 保証書の記載に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証規定をお読みください。 ●保証期間後の場合 ご要望により有料で対応させていただきます。

問い合わせ窓口

株式会社 Jコーポレーション

TEL **0742-53-7833**

弊社営業日　平日 9：00～18：00
（土・日・祝日・夏季・年末年始を除く）

保証書

保証期間内に、正常なる使用状態において、製造上または部品が原因で異常が発生した場合には、弊社の責任において保証します。
保証期間内に異常が発生し、検査が必要となった場合は、保証書をご提示の上、お問い合わせ窓口にご依頼ください。
機器の検査や修理を依頼する時の脱着作業費、それらに伴う交通費および送料等の諸経費は、お客様のご負担となります。
また、検査や保証修理等で使用できない期間、地震速報を受信できなかったことを原因とする一切の損害費用の補償はしません。
本製品は、登録した場所に設置した場合のみ上記事項に定めた保証をします。
また外部制御機器の間違った取付や、その他の改造等をした場合は、保証対象外となります。
下記の事項については保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

①ユーザー登録が行われていない場合、および本保証書のご提示がない場合。
②保証書の所定事項の未記入、または字句を書き換えられた場合、および購入時に登録した使用者、設置住所に変更がある場合。
③取扱説明書に記載された内容とは異なる方法で使用した場合の、事故や故障および損傷。
④取扱説明書に記載されてある、注意事項の不徹底により発生した場合の、事故や故障および損傷。
⑤ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、落下、水没）または改造し設置した場合の、事故や故障および損傷。
⑥本製品と併用して使う外部制御機器の異常が原因による、事故や故障および損傷。
⑦使用により生じた、傷や塗装などの外見上の変化、および化学薬品の付着による表面処理の、変化や変質。
⑧お買い上げ後の輸送や移動時の落下・衝撃などによる、事故や故障および損傷。
⑨火災・地震・風水害・落雷その他の天変地異、および公害・煙害・異物混入・塩害・盗難などによる、事故や故障および損傷。
⑩有寿命部品や消耗品の自然消耗、腐耗、劣化等により部品の交換が必要になった場合。
⑪故障および損傷原因が製品以外にある場合。
⑫消耗品および付属品。
⑬お客様の過失による損傷や故障があったとみなされる場合や、弊社の責に帰すことができない原因により生じた事故や故障および損傷。

本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。
本製品の故障に起因する他への影響（本製品以外の損傷・事故や、地震速報を受信できなかったことによる損傷等）に付きましては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
本保証書は、日本国内において使用することのみ有効です。

●本保証書は、いかなる場合においても再発行しませんので、紛失なさらないように、大切に保管してください。
●本製品に関しては保証期間中においても出張修理は行いません。
●本保証書は、登録されたお客様に対してのみ有効となります。そのため、個人情報も記載されていますので、保証書の保管はお客様の責任において行ってくださいますようお願いします。
●本保証書は、本保証書に記載された内容により、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
●本製品の仕様、外観とも、改良等により予告なく変更する場合があります。
機器故障時の代替機器の無料貸出（郵送にて商品をお届けします。 設置工事は含まれません。）
保証期間の5年以内に機器が故障した場合、無料にて修理いたします。

本書は、記載内容の範囲で無料修理させていただくことをお約束するものです。

<table>
<tr><td>対象機種</td><td colspan="3">品名 BLACKなまず　　型番 DN-SH700J</td></tr>
<tr><td>保証期間</td><td colspan="3">製造番号
年　　月末日まで</td></tr>
<tr><td rowspan="4">契約者名
（捺印は認印で可能）</td><td colspan="2">会社名　（印）</td><td>担当者名</td></tr>
<tr><td colspan="2">（ふりがな）</td><td>（ふりがな）</td></tr>
<tr><td colspan="3">住所　〒</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話番号</td><td>FAX</td></tr>
<tr><td>代理店・販売店名</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>